2025 Handbook Hanshin

2025

ハンドブック阪神

阪神電気鉄道120周年

目　次

社長挨拶 1
経営理念 2
経営の基本方針 3
価値創造プロセス 4
ステークホルダーとの価値共創ストーリー 6
グループのブランド価値経営 8

TOPICS 10
2024年8月～2025年7月の主な動き 11
阪神電気鉄道開業120周年 12
都市交通事業TOPICS 14
不動産事業TOPICS 16
スポーツ・エンタテインメント事業TOPICS 17
情報・通信事業TOPICS / ホテル事業TOPICS 18

都市交通事業 19
安全・安心な毎日の運行を支える体制 20
災害・事故に備える 22
お客さま・地域住民を守るために 23
全ての人が使いやすい鉄道に 26
駅務機器等の設置状況 27
より快適にお客さまにご利用いただくために 28
鉄道運行を支える施設・設備 32
便利でお得な切符・サービスの提供 36
環境に配慮した駅・車両 38
親しみを持っていただける鉄道 39
駅別乗降人員・駅所在地 40
輸送実績 42
運賃改定・混雑時の推移等 43
サービス・バリアフリー施設の整備状況 44
立体化 46
踏切道一覧 48
踏切道数等・信号保安設備・ATS 50
主な保線用機械・線路 51
主なグループ会社 52

不動産事業 55
不動産賃貸 56
環境への取組み 60

スポーツ・エンタテインメント事業 65
阪神甲子園球場～施設概要～ 66
阪神甲子園球場～歴史と伝統、野球の聖地甲子園～ 68
阪神甲子園球場～年譜～ 70
阪神甲子園球場～環境への取組み～ 71
甲子園歴史館 72
ゼロカーボンベースボールパーク～環境への取組み～ 74
ゼロカーボンベースボールパーク～施設概要～ 75
甲子園テニスクラブ 76
六甲山 77
主なグループ会社 79

情報・通信事業 81
情報サービス事業 82
あんしん・教育事業 83
放送・通信事業 85
地域BWA事業 86

ホテル事業 87
ホテル事業 88

建設・環境事業 89
建設・環境事業 90

魅力あふれる沿線へ 93
沿線活性化の取組み 94

サステナビリティの取組み 97
環境保全活動 97
子ども向けの取組み / 社会貢献活動 98
健康経営の取組み 99
コンプライアンス / リスク管理 100

資料：会社の概要等 101

資料：沿革・歴代社長・年譜 111

資料：事業所一覧・グループ会社等 131

付録
営業キロ程表・大人普通旅客運賃表・
定期旅客運賃表・列車種別・停車駅

注）「2025ハンドブック阪神」の内容については、特に日付けを明示しないものは、2025年3月31日現在のものです。

社長挨拶

代表取締役・社長
久須 勇介

2025年7月

平素から当社グループの事業活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、本年4月12日に開業120周年を迎えました。開業以来、戦災や風水害、震災、コロナ禍といった幾多の困難を乗り越えて今日を迎えられましたのも、お客さまや沿線住民の方々、取引先等のステークホルダーの皆さまのご支援の賜物でございます。厚く御礼申し上げます。

現在は、阪急阪神ホールディングスグループの中核会社として、30社以上のグループ会社とともに、お客さまに「安心・快適」そして「夢・感動」を提供する事業を多岐にわたって展開しています。

都市交通事業では、本年4月から脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、列車運行及び駅施設などで使用する全ての鉄道用電力を再生可能エネルギー由来の電力（再エネ電力）に置き換え、実質的にCO_2排出量ゼロとする「カーボンニュートラル運行」を実施しています。また、大阪・関西万博の開幕に先立ち、2月にダイヤ改正を実施し、「快速急行」の増発・所要時間を短縮、深夜時間帯の「特急」を新設するなど、お客さまの利便性の向上に努めています。これらを通して、バス・タクシー事業を含めた安心・快適な都市交通ネットワークの実現を目指しています。

不動産事業では、本年3月に尼崎駅前 中央公園をリニューアルするなど、沿線での魅力あるまちづくりを推進し、豊かで充実した地域社会の実現に貢献しています。

スポーツ・エンタテインメント事業では、本年3月に尼崎市内に阪神タイガースのファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」を開業しました。また、昨年、100周年を迎えた阪神甲子園球場では、銀傘（内野の一部座席を覆う屋根）をアルプススタンドまで拡張することとし、新たな100年に向けて、野球の聖地としての歴史を次世代につないでいく取組みを進めています。このほか、ビルボードライブ等の音楽事業、六甲山上のレジャー事業などを通して、多くの皆さまに夢・感動をお届けしています。

情報・通信事業では、企業等のDX（デジタルトランスフォーメーション）需要に対応した様々なサービスやCATV事業、地域BWAを活用した自治体向けの各種サービスなどを提供しています。また、アイテック阪急阪神㈱が2024年10月に経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定事業者」に認定されるなど、お客さまとの共感を重視した一歩先の便利さを実現する取組みを推進しています。

このほか、「フォーブス・トラベルガイド」において大阪のホテルで“初”そして“唯一”の五つ星を3年連続で獲得したラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」のホテル事業や、土木工事、電気設備工事、造園工事、グラウンド整備等を通して「信頼され、選ばれ続ける建設・環境パートナー」を目指す建設・環境事業を営んでいます。

当社グループは、各事業部門が一体となって、ブランド価値経営を基盤としたサステナブル経営を推進しています。信頼と期待のその先を見据え、「“たいせつ”がギュッと。」をブランドスローガンとして、“阪神らしい”価値（あたたかさ・ほんまもん・先進性）を創造・提供することを通して、あらゆるステークホルダーへの貢献とグループの中長期的な発展の両立を図ってまいります。

今後とも、一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

経営理念

●経営理念

使命（Mission）

私たちは何のために集い、何をめざすのか

「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

価値観（Values）

私たちは何を大切に考えるのか

お客様原点

すべてはお客様のために。これが私たちの原点です。

誠実

誠実であり続けることから、私たちへの信頼が生まれます。

先見性・創造性

時代を先取りする精神と柔軟な発想が、新たな価値を創ります。

人の尊重

事業にたずさわる一人ひとりが、かけがえのない財産です。

行動規範（Principles）

「価値観」を守り、「使命」を果たしていくために、
私たちはどのように行動するのか

私たちは、出会いを大切にし、お客様の立場に立って最善を尽くします。

私たちは、法令遵守はもとより、社会的責任を自覚して行動します。

私たちは、仕事に責任と誇りを持ち、迅速にやり遂げます。

私たちは、目先のことのみにとらわれず、中長期的な視点で考えます。

私たちは、現状に満足することなく、時代の先を見据えて取り組みます。

私たちは、思いやりの心を持ち、お互いを認め合います。

私たちは、活発にコミュニケーションを行い、風通しのよい職場をつくります。

私たちは、グループ全体の発展のために、力を合わせます。

（注）2006年10月1日に策定された「阪急阪神ホールディングスグループ　グループ経営理念」を当社の経営理念として共有しています。

経営の基本方針

［阪急阪神ホールディングスグループにおける阪神グループの役割］

阪急阪神ホールディングスグループの基盤となる事業エリアである阪神間を中心に、阪神グループが一体となって、企業の社会的責任（CSR）を果たしつつ、社会と共有する価値を創造すること（CSV）を通じて、サステナブル経営を推進することにより、阪神グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現を両立し、阪急阪神ホールディングスグループの企業価値向上を図っていきます。

阪神グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立に当たっては、各事業がグループビジョンに基づく価値を創造・提供し、SDGsを初めとする社会課題の解決に主体的に取り組むことで、阪神グループの持続的成長に繋げていきます。

〈グループビジョン〉

■基盤となる価値観　身近な存在として寄り添うことで培ってきた“徹底した顧客志向”

■3つの提供価値　つながりが生む「あたたかさ」、プロフェッショナルが生み出す「ほんまもん」、共感から生まれる「先進性」

■ブランドストーリー　「スローガン」“たいせつ”がギュッと。阪神グループ～信頼と期待のその先へ～

〈ありたい姿〉

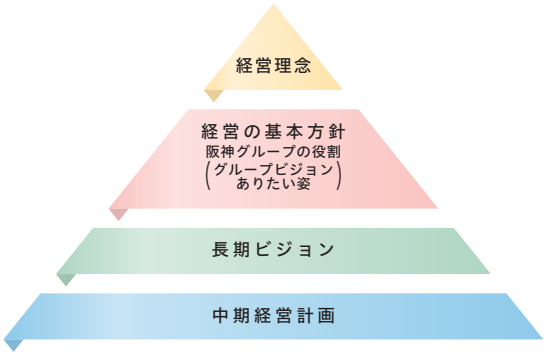
■ 沿線の姿　阪神沿線は「住んでよかった街」、「働いてよかった街」、そして「訪れてよかった街」であり続けます。

■ 会社の姿　沿線で暮らすお客様に、事業を通じて利便と快適を提供し、社会に貢献していきます。沿線を舞台にブランド・技術・ノウハウを培い、そこにとどまらず沿線外においても積極的に事業を展開していきます。
事業を通じて社員を育てることで、社員とともに成長していきます。

■ 社員の姿　創業の精神に則り、変革と創造に挑戦する風土を形成していきます。
誠実と堅実に誇りを持ち、次世代に承継していきます。

■ 社会の姿　全ての人々が豊かさと喜びを実感でき、未来世代が夢を持って活躍できる社会の実現を目指していきます。

経営理念、経営の基本方針の位置付け



価値創造プロセス

インプット | 重要命題 | 経営の基本方針 | 事業活動（長期ビジョン・中期経営計画） | アウトカム

持続的な価値創造

有形・無形の経営資源

- 人的資本
- 知的資本
- 物的資本
- 財務資本
- 社会関係資本
- 自然資本

重要命題

- 持続的成長
- 社会課題の解決

経営の基本方針

サステナブル経営※

ブランド価値経営

グループビジョン

共感から生まれる
“先進性”

基盤となる価値観
身近な存在として寄り添うことで培ってきた
“徹底した顧客志向”

つながりが生む
“あたたかさ”

プロフェッショナル
が生み出す
“ほんまもん”

ブランドストーリー
“たいせつ”がギュッと。阪神グループ
～信頼と期待のその先へ～

ありたい姿

- ■ 沿線の姿
  - ・住んでよかった街
  - ・働いてよかった街
  - ・訪れてよかった街
- ■ 会社の姿
  - 沿線を舞台にブランド・技術・ノウハウを培い、沿線外においても積極的に事業展開
- ■ 社員の姿
  - ・変革と創造に挑戦
  - ・誠実と堅実に誇りを持ち、次世代に承継
- ■ 社会の姿
  - 全ての人々が豊かさと喜びを実感でき、未来世代が夢を持って活躍できる社会を目指す

※ サステナブル経営：企業の社会的責任（CSR）を果たしつつ、社会と共有する価値を創造すること（CSV）を通じて、阪神グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立を図る経営

事業活動（長期ビジョン・中期経営計画）

債権者 | 投資家 | 取引先 | 従業員 | 未来世代 | お客様 | 地域社会

全ての人々が豊かさと喜びを実感でき、
未来世代が夢を持って活躍できる社会

“阪神らしい”価値
の創造・提供

企業価値の向上

沿線：プラットフォーム

魅力あふれる沿線の創造

- 良質なサービスや生活インフラの提供
- 外部連携を中心とした沿線活性化

沿線外への展開

デジタル：事業推進のツール

デジタル技術によるビジネスモデル・業務プロセスの変革

グループビジョンに基づく事業展開

定量目標（2030年度）

経営管理指標

営業収益3,000億円超、営業利益400億円超、EBITDA650億円超、有利子負債/EBITDA倍率5倍未満、ROE9%水準

非財務KPI

6つの重要テーマに基づく非財務KPI、ありたい姿に関する非財務KPI（顧客満足度等）

アウトカム

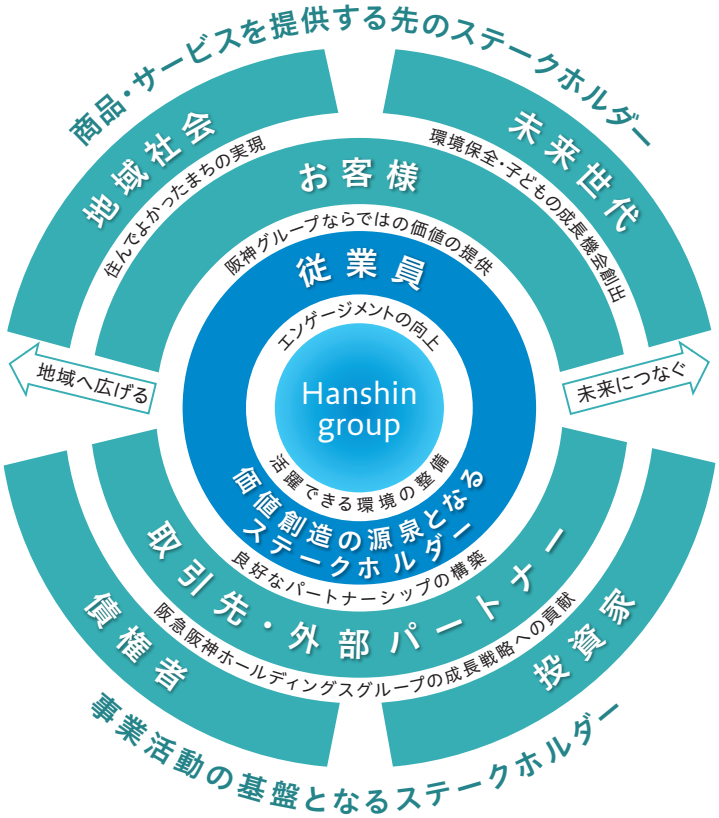
当社グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立

経営理念　「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

ステークホルダーとの価値共創ストーリー

ステークホルダーに提供する代表的な価値の整理を通じて、“ステークホルダーとの価値共創ストーリー”を策定しました。

私たちは、日々の事業活動を通じて、様々なステークホルダーとともに価値を創造し、持続的な成長を図ります。



ステークホルダーとの価値共創ストーリーに込めた思い

・阪神らしい価値（あたたかさ、ほんまもん、先進性）を創造し、お客様にお届けするのは従業員であることから、従業員を「価値創造の源泉となるステークホルダー」として関係図の中心に配置しています。

・図の下から上へ向かって「事業の流れ」を表しています。

【事業の流れ】
→資金調達（債権者、投資家）
→資産の調達、事業活動に対する協力・支援・外部取引（取引先・外部パートナー）
→サービスの提供（従業員）　→お客様の満足・信頼（お客様）
→地域社会への波及（地域社会）、未来世代へのつながり（未来世代）

《阪神グループとしてステークホルダーに提供する価値》

価値創造の源泉となるステークホルダー

従業員	～価値創造の源泉である「従業員」をたいせつにし、その能力を最大限発揮できる環境を整備する～ 「**人の尊重**」という経営理念の下、従業員一人ひとりが「ありたい姿」を体現するための能力・経験・意欲を向上させる環境を整備し、やりがいや働きがいを高めます。

商品・サービスを提供する先のステークホルダー

お客様	～阪神グループならではの価値の提供～ グループの提供価値である「**あたたかさ**」「**ほんまもん**」「**先進性**」をもとに、阪神グループだからこそお届けできるサービス・コンテンツの“らしさ”を磨くことで、より多くのお客様に**安心・快適**な暮らしと、魅力あるコンテンツによる**夢・感動**をお届けします。
地域社会	～住んでよかったまちの実現～ 人口減少社会にあっても、まちの個性を磨き、魅力あふれる沿線づくりに取り組むことで、一人ひとりが**住みやすく、心地よく、自分らしく**暮らせる沿線を目指します。
未来世代	～豊かな沿線の環境を守り、子どもたちの夢があふれる社会を描く～ 人と自然が調和する豊かな沿線の環境を守り、**“将来にわたり住みたいまち”**を実現するとともに、未来社会を担う**子どもたちが夢を持って健やかに成長する機会を創出**します。

事業活動の基盤となるステークホルダー

取引先 外部パートナー	～信頼関係に基づく良好なパートナーシップの構築～ サプライチェーンを担う取引先や自治体等との信頼関係を築き、事業活動を通じて、ともに**社会課題の解決**に取り組みます。また、災害時においても関係機関等と協力し、**社会的使命を果たしうる体制を構築**します。
債権者 投資家	～阪急阪神ホールディングスグループの成長戦略への貢献～ 阪急阪神ホールディングスグループとして**財務の健全性を維持**し、資本市場の評価を得て持続的な成長を実現するために、中核会社としての役割を果たすべく、安定的な資金創出力を確保し、**利益向上や資本効率の向上**を図ります。

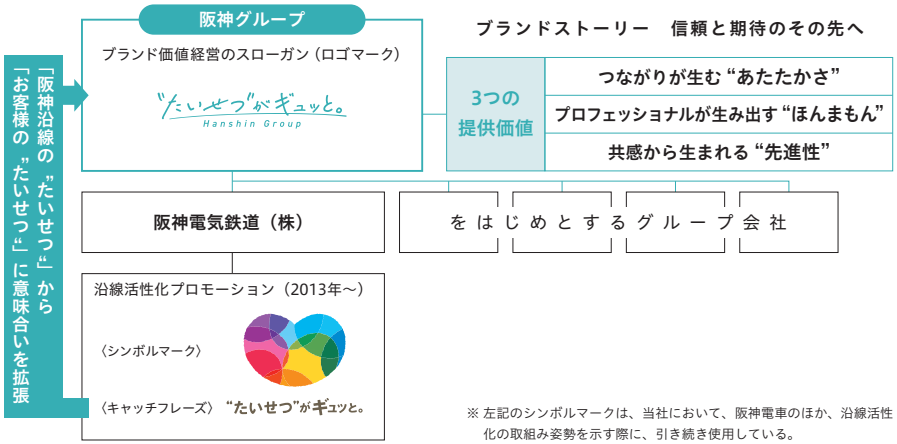
グループのブランド価値経営

阪神グループでは、「“たいせつ”がギュッと。」のスローガンの下、グループとしてのつながりや一貫性をお客様にしっかりとお伝えしていくとともに、グループ総合力を発揮して、阪神らしさを表す3つの提供価値(あたたかさ・ほんまもん・先進性)を実体化した様々な商品・サービスを皆さまにお届けする**ブランド価値経営**を推進しています。

●スローガン「“たいせつ”がギュッと。」について

このスローガンを掲げたグループロゴは、「阪神らしさ」を軸に多様な事業が集まった「阪神ブランド」を表します。「“たいせつ”がギュッと。」のスローガンに、阪神グループの提供価値を反映させ、字体は「阪神グループの商品・サービスは、“あたたかさ”を持った“ほんまもん”である」という印象を与える手書きの表現とし、色は“先進性”を感じさせるブルーグリーンを採用しています。

また、白を基調とする背景に直線を交差させ虹色のグラデーションで表現したデザインは、“阪神らしさ”を軸に多様な事業がつながり集まった「阪神ブランド」を色と形で象徴的に伝えるものです。



※ 左記のシンボルマークは、当社において、阪神電車のほか、沿線活性化の取組み姿勢を示す際に、引き続き使用している。

●グループビジョン（グループのブランドビジョン）

基盤となる価値観

身近な存在として寄り添うことで培ってきた“徹底した顧客志向”

3つの提供価値

つながりが生む“あたたかさ”

阪神グループには、「移動する、学ぶ、楽しむ、安らぐ」ための様々な施設があります。そこに多くの人々の営みがある中で、多様なニーズに応える真摯なサービスによって、人と人、人と社会をつなぎ、誰もが活き活きと暮らせる社会を目指しています。

〈取組みの一例〉
- ●都市交通におけるサービス介助士資格の取得
- ●阪神タイガース新ファーム施設が実現する「ゼロカーボンベースボールパーク」
- ●沿線の自治体、企業、学校等と連携して行う沿線活性化の取組み など

プロフェッショナルが生み出す“ほんまもん”

阪神グループは、そこでしか味わえない「本物のコンテンツ」を数多く提供しています。スポーツ、エンタテインメントは言うに及ばず、鉄道運行やシステム構築などの分野においても、プロだからこそ生み出せる「喜び」や「安心」をお届けしています。

〈取組みの一例〉
- ●最高の舞台を用意する阪神園芸の整備技術
- ●数々のドラマを生んできた、野球の聖地「阪神甲子園球場」
- ●安全運行を支える鉄道技術部門の保守・整備 など

共感から生まれる“先進性”

阪神グループは、これまで利用者視点で新しいことに柔軟に取り組み、いくつもの業界初を実現してきました。この先も、お客さまに共感することで生まれる、かゆいところに手が届くサービスを提供していくことを目指しています。

〈取組みの一例〉
- ●家族の心配を技術で解決する「ミマモルメ」
- ●アイテック阪急阪神が省人化と自動化に貢献した鉄道の運行支援システム
- ●先端の学びの場を提供する「プログラボ」 など

●ブランド価値経営の浸透活動

従業員一人ひとりが、グループビジョンに沿って策定した自社(事業)のブランドビジョンの具体的なカタチ(目指す姿)をありありと頭に思い浮かべながら、お客様との接点で実体化して届けていけるよう、グループ全体で浸透活動を推進しています。

また、お客様の“たいせつ”に向き合い育んできた「阪神らしさ」を「阪神“たいせつ”ストーリー」(P.13参照)として、ポスター・HP等でご紹介しています。

＜ブランド価値経営　対象会社＞

アールワークス／アイテック阪急阪神／ウエルネス阪神／エフエム・キタ／大阪阪神タクシー／神戸高速鉄道／神戸六甲鉄道／システム技研／中央電設／西大阪高速鉄道／日本プロテック／ハックス阪神／阪神園芸／阪神ケーブルエンジニアリング／ハンシン建設／阪神コンテンツリンク／阪神車両メンテナンス／阪神ステーションネット／阪神タイガース／阪神タクシー／阪神電気鉄道／阪神バス／ BAN－BAN ネットワークス／ピーアンドピー浜松／姫路ケーブルテレビ／ベイ・コミュニケーションズ／ミマモルメ／ユミルリンク／ ROC ／六甲山観光

TOPICS

2024年8月～2025年7月の主な動き

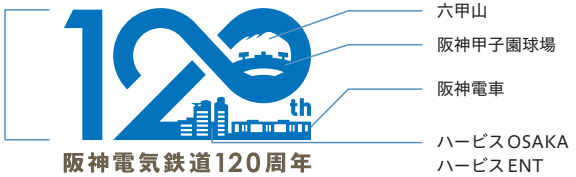
2024 （令和６）	8. 1	阪神甲子園球場開場 100 周年
	9.	阪神甲子園球場・枝川橋梁 「土木学会選奨土木遺産」に認定
	10. 1	アイテック阪急阪神　経済産業省が定める「DX 認定事業者」に認定
	10. 21	「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」 環境省「自然共生サイト」に認定
	10. 29	阪神電気鉄道　クレジットカードなどのタッチ決済による乗車サービスを開始
	11. 8	エフエム・キタ 第 26 回 JCBA 近畿コミュニティ放送賞 娯楽番組部門 最優秀賞受賞
2025 （令和７）	1. 19	神戸高速線の鉄道駅バリアフリー料金収受開始
	1. 19	神戸三宮駅－元町駅間に設定している特定運賃を変更
	2.	ゼロカーボンベースボールパーク内施設における ZEB 認証を取得
	2. 10	青胴車（普通用車両 5001 形）運行終了
	2. 13	文化庁と日本遺産オフィシャルパートナーシップを締結
	2. 20	阪神タイガース新ファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」竣工
	2. 22	阪神電気鉄道　全線のダイヤ改正を実施
	3.	阪神電車内防犯カメラの 8000 系を除く全営業車両への設置完了
	3. 1	阪神タイガース　ファーム（2 軍）本拠地「日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎」開業
	3. 5	阪神コンテンツリンク　THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA 「クールジャパン・プラットフォームアワード 2025」優秀賞受賞
	3. 21	阪神電気鉄道　タッチ決済時の各駅自動改札機の対応完了
	3. 29	阪神電気鉄道ほか　尼崎駅前 中央公園リニューアルオープン
	4. 1	阪神電気鉄道・阪急電鉄の鉄道全線で CO_2 排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル運行」開始
	4. 12	阪神電気鉄道　開業 120 周年
	4. 13	神戸六甲鉄道　六甲ケーブル線の運賃改定を実施
	5. 22	急行用 8000 系車両「赤胴車」デザイン運行開始
	7. 2	阪神電気鉄道　傘のシェアリングサービス「アイカサ」を全線に拡大

阪神電気鉄道開業 120 周年

当社は、1905年4月12日に大阪(出入橋) ～神戸(三宮)間で鉄道営業を開始して以来、2025年4月12日で開業120周年を迎えました。これを記念したロゴマークを制定し、各種広告媒体、印刷物などに使用することでお客さま、沿線の皆さま、関係先の皆さまに謝恩の気持ちをお伝えしています。

【記念ロゴマーク】

軌道を表すラインの
つながり全体で沿線を象徴



「お客さま」と「街」と「私たち」がともに歩んだ120年、
そしてこれからともに歩んでいく「未来」。
阪神電車・阪神甲子園球場・六甲山など特長となるモチーフを採用し
お客さまに寄り添い、沿線とともに歩んできた企業姿勢や、
今後150年、200年、更にその先を見据え走り続ける意志を「無限∞」で表現しています。

●主な記念施策

運輸部係員のバッジ佩用(はいよう)

2026年3月まで、運輸部の係員が名札の下に、記念ロゴマークをデザインしたバッジを佩用しています。

記念副標の掲出・オリジナルグッズの販売

今後150年、200年、更にその先の未来を見据え走り続ける気持ちをお伝えするため、開業時とほぼ同じ区間を運行する普通用車両に、記念副標を掲出し運行しています。さらに、記念副標をデザインしたアクリルキーホルダーを販売しています。

記念ウオーキングを開催

開業120周年の要素(過去の史跡をめぐるなど)を取り入れたウオーキングイベントを開催しています。

2027年春の「新型急行用車両3000系」導入と座席指定サービス開始を発表

開業120周年を機に、当社の急行用車両として長年愛されてきた、「赤胴車」のイメージを受け継ぐ「Re Vermilion(リ・バーミリオン)」をエクステリアカラーとした新型急行用車両の導入を決定しました。運行開始は2027年春を予定しています。

特設サイトを開設

「阪神電気鉄道 開業120周年特設サイト」を2025年3月10日に開設しました。年譜やコラムのほか、クイズなどを通して120年の足跡を広く深く、そして楽しく知ることができる、期間限定の特設サイトです。

特設サイトURL：
https://www.hanshin.co.jp/120th/

阪神電気鉄道　開業120周年特設サイト　キービジュアル

阪神グループブランドと連動したポスターを展開

阪神グループが掲げる3つの提供価値(あたたかさ・ほんまもん・先進性)に、当社のアーカイブ写真と現在の阪神グループ写真をコラボしたポスター企画「阪神“たいせつ”ストーリー」を展開しています(シリーズ15まで制作予定)。

特設サイトのキービジュアルによる認知拡大

開業120周年特設サイトのキービジュアルを活用し、主要駅構内などにサイネージやシート貼りポスターを掲出、開業120周年を当社及び当社グループを利用されるお客さまに訴求しています。

また、本社の1階ロビーにキービジュアルと当社のアーカイブ写真を使用したパネルを展示し、来社されるお客さまや当社及びグループ会社従業員の開業120周年の機運を高めています。

神戸新聞「阪神電気鉄道120周年」特集

沿線にゆかりの深い著名人や沿線市長に語っていただいた、阪神電車や阪神グループ、阪神沿線についてのインタビュー特集紙面を2025年2月～4月(計4回)にわたり神戸新聞に掲載しました。

パネル展「写真と新聞記事でたどる　阪神電気鉄道120年のあゆみ」を開催

当社が所蔵する歴史的な写真と、創刊から127年を数える神戸新聞に掲載された当時の記事・広告をパネル化し、当社のあゆみを振り返るパネル展を開催しています。本展は沿線諸施設を巡回予定です。

●全線カーボンニュートラル運行を開始

脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、2025年4月1日から阪神全線の列車運行及び駅施設などで使用する全ての鉄道用電力を再生可能エネルギー由来の電力(再エネ電力)に置き換え、実質的にCO_2排出量ゼロとする「カーボンニュートラル運行」を開始しました。そして同日に、カーボンニュートラルをイメージしたラッピング列車の運行を開始し、大阪梅田駅で出発式を行いました。

●ダイヤ改正を実施

お客さまのご利用状況を踏まえ、大阪・関西万博開幕に先立ち、2025年2月22日にダイヤ改正を実施しました。①平日昼間時間帯の「快速急行」を20分間隔に増発②昼間時間帯の「快速急行(神戸三宮行き)」の所要時間を短縮③昼間～夕方時間帯の阪神なんば線「普通」(準急・区間準急を含む)の10分間隔化(現行7～13分間隔)及び尼崎における本線接続列車の「急行」(一部は快速急行)への統一④大阪梅田24時00分発の「急行」を「甲子園行き」から「御影行き」に延長、大阪梅田24時15分発の「特急　神戸三宮行き」を増発しました。

ポイント	改正前	改正後
平日昼間時間帯の「快速急行」(大阪難波～神戸三宮間)	1時間あたり2本(30分間隔)	1時間あたり3本(20分間隔)
大阪難波～神戸三宮間の所要時間	平均43分	平均41分
昼間～夕方 阪神なんば線の「普通」の運転間隔	7～13分間隔	概ね10分の等間隔
平日・土休日深夜神戸三宮までの最終電車	大阪梅田23時45分発 大阪難波23時33分発	大阪梅田24時15分発 大阪難波23時55分発

●大阪・関西万博に向けた取組み

大阪・関西万博の機運を盛り上げるべく、その開催500日前となる2023年11月30日から、大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」などのデザインをまとったラッピング列車の運行を開始しました。また、阪神バス㈱では、大阪・関西万博の会期中(2025年4月13日～10月13日)、会場と①JR尼崎駅・阪神尼崎駅②大阪国際(伊丹)空港③関西国際空港をそれぞれ結ぶシャトルバスを運行しています。

●高架化工事等の推進

沿線各都市の都市計画事業として、踏切の立体交差化(高架化又は地下化)を進め、交通渋滞の緩和と列車運行の安全性向上に努めています。

青木駅

立体化率は本線で95%、阪神なんば線で90%、神戸高速線では100%と、非常に高い水準を誇っています。現在も阪神なんば線出来島駅～千鳥橋駅間で高架化工事を進めており、この工事が完了すれば、阪神なんば線の立体化率が100%になります。

《本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事》

神戸市の都市計画事業として、1991年度に事業認可を受け、工事を施工しています。

2015年12月に高架下り線に切り替え、2019年11月に高架上り線に切り替えて、現在は高架下の残工事や、神戸市による側道等の整備工事を行っています。

施工延長	4,015m
除却した踏切道	11か所
高架化された駅	青木駅・深江駅
事業期間	1991年度～2025年度

《阪神なんば線淀川橋梁改築工事》

国土交通省の河川改修事業及び大阪市の立体交差事業として、2018年12月から工事を施工しています。

阪神なんば線淀川橋梁は、両端の線路部分が堤防の高さより低く、高潮時等に防潮鉄扉を閉鎖するなどの対応が必要ですが、今回の改築工事で、淀川橋梁を架け替えることで、桁下高を上げ防潮鉄扉を廃止するとともに、橋脚を減らし、洪水や高潮等の被害防止を図ります。また、同時に都市計画道路福町十三線と線路の立体交差化も行います。

さらに、この改築事業の内容や意図、工事の様子を、沿線にお住いの方や阪神電車を利用するお客さまに向けて情報を発信するため、工事を担当する社員のインタビュー動画も交えて紹介する特設WEBサイトを開設しています。

＜紹介ページのURL＞https://www.hanshin.co.jp/safety/yodogawa-k/

施工延長	約2,400m
除却する踏切道	5か所
高架化する駅	福駅・伝法駅
事業期間	2018年度～2032年度

不動産事業 TOPICS

尼崎駅前 中央公園　リニューアルオープン

尼崎市と当社が阪急阪神不動産㈱とともに、公園を中心とした地域の新たな魅力創出や活性化を目的として工事を行ってきた尼崎駅前の中央公園が、2025年3月にリニューアルオープンしました。リニューアルにあたっては、都市再生特別措置法に規定された「都市公園リノベーション協定制度」を関西で初めて活用しました。新たに幅広い滞在ニーズに応える飲食店2店舗が開業したほか、特徴のある3つの広場やモニュメントベンチ、縁台を設けるなどして、オープンから多くのお客さまにご利用いただき、賑わいあふれる空間となりました。

アバリーナ千船　リニューアルオープン

当社と阪急阪神不動産㈱、阪急阪神ビルマネジメント㈱は、阪神千船駅の高架下商業施設(「千船阪神ビル」「アバリーナ千船」)の大規模リニューアルを完了し、2024年6月に施設全体を「アバリーナ千船」としてオープンしました。日常生活をもっと便利で心地よくする14店舗が新たにオープンし、照明演出やナチュラルテイストの素材使用による明るくにぎわい感のある空間を創出しています。

スポーツ・エンタテインメント事業 TOPICS

阪神甲子園球場が開場100周年記念事業を展開するとともに、銀傘をアルプススタンドまで拡張することを発表

2024年8月1日に開場100周年を迎えた阪神甲子園球場では、2022年8月から2024年12月にかけて「KOSHIEN CLASSIC ～感謝を、伝統を、次の100年へ～」をコンセプトに、国内外の皆様に野球の聖地としての歴史と伝統を知っていただくとともに、次の100年に向けて、次世代育成や環境保全にもつながる事業を積極的に推進しました。さらには、最高峰のスポーツ・エンタテインメントを誘致・開催するなど、野球に限らないスタジアムの新たな可能性を広げていくことで、「日本が世界に誇れる聖地」を目指して、様々な記念事業を展開しました。また、観戦環境を改善することで高校野球文化の継承を図り、高校野球の聖地として進化を続けることを目的とし、銀傘(内野の一部座席を覆う屋根)をアルプススタンドまで拡張する計画を固めました。2024年11月から準備工事を行い、2025年11月から本格工事に着工、2028年3月に竣工予定です。

阪神タイガースが球団創設90周年を迎え、数々の90周年記念事業を展開

阪神タイガースは、2025年12月10日に球団創設90周年を迎えることを記念し、これまでの歴史を重んじながら、野球という文化を次世代に繋いでいくため、年間を通して90周年記念事業を展開しています。「鼓動を鳴らせ。虎道を進め。」というキャッチコピーのもと、各世代の阪神タイガースレジェンドOB9名を公式アンバサダーに迎え、4日程に及ぶ”Tigers Legends Day”の開催やグランフロント大阪・うめきた広場でのイベントの実施、ラッピングトレイン・ラッピングバスの運行など、様々な取組みを実施しています。

「神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond」において過去最多のアーティスト作品を展示

「神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond」ビジュアル

2010年から当社及び六甲山観光㈱が毎年開催している「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」はこれまでに延べ520組以上のアーティストが参加しており、15回目となった2024年度は、名称を「神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond」に改め、神戸を象徴する山として六甲山の自然とアートをより一層楽しんでいただける芸術祭を目指し、「新しい視界 Find new perspectives.」をテーマに内容を拡充して開催しました。会期は2024年8月24日～ 11月24日で、参加アーティストは招待・公募を合わせて過去最多の61組になりました。

情報・通信事業 TOPICS

アイテック阪急阪神㈱が経済産業省の定める「DX認定事業者」に認定

2024年10月1日付で、経済産業省が定めるDX認定制度に基づくDX認定事業者にアイテック阪急阪神㈱が認定されました。

DX認定事業者とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、経済産業省が定める「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応して、デジタルによって自らのビジネスを変革する準備ができている事業者を国が認定するものです。

「大阪・関西万博PR　ブロンズパートナー」として、大阪・関西万博会場のLIVEカメラ映像を配信・CM放送を実施

㈱ベイ・コミュニケーションズは、公益財団法人2025年日本国際博覧会協会と広報・プロモーション協賛の契約を締結し、「大阪・関西万博PR　ブロンズパートナー」として、大阪・関西万博の機運醸成に取り組んでいます。

活動内容は、大阪府咲洲庁舎に設置した定点カメラでEXPO2025大阪・関西万博会場の風景を撮影し、放送及びWEB配信を実施しています。さらに、プロモーション動画CMを、地域情報チャンネル「ベイコムチャンネル(111ch・121ch)」で放送しています。

ホテル事業 TOPICS

●関西地方の宿泊施設として初めてグリーンキー（Green Key）を取得 2024年実施の客室改装も完了

㈱阪神ホテルシステムズが経営する「ザ・リッツ・カールトン大阪」では、環境に配慮したホテル・レストランなどに付与される国際的なエコラベル「グリーンキー」(Green Key)を、2024年11月に関西地方の宿泊施設として初めて取得しました。

また、2024年4月から実施していた客室改装が、同年10月22日に全て完了しました。コンセプト「承継と新生」の下、ヨーロピアンクラシックの上質な優雅さを持ち合わせた邸宅感を継承し、現代的に洗練させた新たなデザインや機能性を融合させることで、更に快適で心地のよい空間を実現しました。

都市交通事業

都市交通事業では、鉄道、バス、タクシーなどの都市交通輸送を担い、阪神間を中心に安全・快適で利便性の高い輸送サービスの提供に取り組んでいます。
このうち、鉄道事業では、本線・阪神なんば線・武庫川線・神戸高速線の4路線を51駅（他社との共同使用駅2駅を含む。）・48.9kmで営業しており、大阪の2大ターミナルである梅田・難波に乗り入れています。

安全・安心な毎日の運行を支える体制

●方針と目標

安全方針

当社では、鉄道事業の安全確保への取組みに関して、「安全方針」を定めています。

2006年に制定後、「携行カード」携行の義務化、各職場への掲示を行うなど、鉄道部門の社員への周知に努めています。2022年には携行カードを刷新し、従来の安全方針に“異常時における対応の手引き”を追加しました。

※ 2024年4月1日に当社が六甲ケーブルの第三種鉄道事業者となったことに伴い、当社の安全管理体制に鋼索線を追加しました。

携行カード(抜粋)

安全目標

当社では、「責任事故ゼロの継続」を安全目標として定めており、1985年4月以降、責任事故皆無を継続しています。

●安全運行を支えるハード面での整備

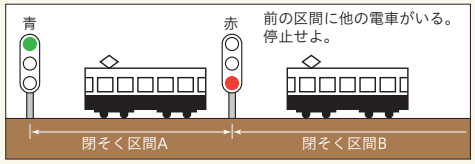
PTCによる運行管理

PTC（Programmed Traffic Control）とは、コンピューターを使った列車運行管理システムのことで、コンピューターに記憶された全列車の全駅における情報(出発時刻、番線、行先、会社種別、車両種別等)に基づいて、信号の表示やポイントの切替えから、プラットホームにおける案内表示や放送までの全てが自動的に行われるシステムとなっています。

2006年2月に更新した現在のシステムは、運行計画をベースに制御、管理するPTC計算機を3重系とし、ダイヤ乱れ時などにダイヤグラムを変更したり、信号機を手動で制御する運行操作卓を5卓(1卓につき3面のディスプレイ)配置するシステム構成となっています。また、運行計画管理・自動進路制御・運行監視・ダイヤ変更・運転整理・運行記録・システム状態監視などの機能強化を図ったほか、訓練シミュレーションを行うことができる機能があります。

豆知識　閉そく方式と信号機

当社では、全路線を一定の区間に分割し、一つの区間に一列車以上走らせないことにより、安全を確保する閉そく方式を採用しています。分割した一区間は閉そく区間といい、その入口に信号機を設置し、進入の許可及び制限速度を示すことで、安全で正確な運転を確保しています。



自動列車停止装置(ATS)の整備

自動列車停止装置(ATS)は、列車が信号機の現示等に基づいた制限速度以上で走行した場合、自動的にブレーキがかかり、減速・停止させる安全装置です。

当社では、速度の制限を5段階に分け、制限速度と列車速度を連続的に照合するシステムを採用し、全線に整備しています。

●安全運行を支えるソフト面での体制

安全啓発施設「安全繋心室(けいしんしつ)」

都市交通事業本部では、社員の安全確保への意識向上と確固たる安全管理体制の構築・維持を目指し、2024年4月1日に安全啓発施設「安全繋心室」を本社内に開設しました。

同施設は「原点回帰」「鉄道の歴史」「事故といのち」「災害と初動対応」の4つのスペースで構成され、安全啓発研修を通して、当社の社員が過去の重大事故や自然災害とその教訓を振り返るとともに現在の鉄道のルールや保安設備が整備された経緯を学んでいます。

安全啓発施設「安全繋心室」

線路の保守・点検

レールについては、定期的に更換等を行い、常に健全な状態を維持しています。また、日々の巡視のほか、軌道検測車による軌道変位の検測、列車動揺の検測等の軌道検査を定期的に実施しています。なお、検測したデータとレール、まくら木等の敷設状況を総合的に把握できる「軌道総合管理システム」を運用しています。

豆知識　レールの搬入場所

更換用レールなどの軌道材料については、堀切基地(西宮市川西町14番11号。3700㎡)から、搬出入を行っています。また、この基地には、軌道モーターカーなどの保線用車両も留置しています。

車両の検査

車両の安全を保つため、定期的に尼崎車庫・工場で検査を実施しています。具体的には、電車の各部の状態及び性能を検査する列車検査(10日を超えない期間ごと)、状態・機能検査(3か月を超えない期間ごと)のほか、動力発生装置・走行装置・ブレーキ装置等について行う重要部検査(4年又は60万kmを超えない期間のいずれか短い期間ごと)、全般検査(8年を超えない期間ごと)を行ってます。

運転士・車掌・駅係員の養成

運転士・車掌は、所定の経験を積んだ社員から社内登用試験によって選抜しています。教習所において、座学や、運転シミュレーターを用いた学科教育を行った後、営業列車において指導員が添乗の下、操業する技能講習を経て、試験に合格すれば、運転士・車掌に任用されます。また、駅係員の養成では、券売機や自動改札機等の実際に使用する機器を用いた研修を実施し、迅速かつ丁寧な接客を行えるよう指導しています。

運転士訓練状況

服務規律

乗務員の出勤点呼では、アルコールチェックなどの健康状態の確認や、安全綱領の唱和、当日の運行に関する注意事項の確認などを行っており、安全な運行に対する準備を行っています。

その他の取組み

上記のほか「ヒヤリハット・安全気づき情報」の収集や「過去の事故に学ぶ週間」の実施、テロ対応訓練、駅間停車時の避難誘導訓練などを実施しています。

災害・事故に備える

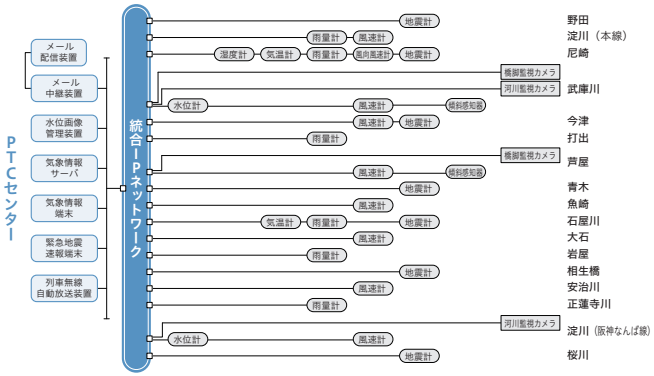
●システム整備

気象情報システムによる運行管理

気象観測計器を沿線に設置し、地震、雨量、風速、河川水位等の観測データを監視しています。観測データは運転指令室に集められ、規定値を超えた場合は、警報を鳴らして指令員に知らせることにより、運転規制の判断に活用しています。

震度4以上の地震を地震計で感知した場合又は緊急地震速報受信端末で予測した場合には、即座に列車無線を通じて運行中の各列車に非常停止指令の放送を自動的に行う機能を有しています。

気象情報システム構成図



●施設改良

駅・高架橋・トンネルなどの耐震補強の実施

耐震性の確保を目的として、高架橋柱の耐震補強工事を計画的に実施しています。

2024年度は、住吉駅、大物駅～杭瀬駅間等の耐震補強工事を実施しました。

●その他の取組み

避難地図・避難梯子などの整備

津波発生時に、お客さまが安全に避難できるよう、各駅に掲出している駅周辺地図に、津波避難場所を明記しています。

また、阪神なんば線の新淀川橋梁上では、災害時、橋梁上に停止した列車からお客さまの避難誘導を円滑に行うため、列車から線路へ降りるための梯子を設置しているほか、橋梁上での避難方向と距離が分かるように距離標を設置しています。

距離標

災害や事故に備えた訓練の実施

本部内の全部署が参加し、旅客対応や脱線復旧、軌道・架線補修などを連携して行う「鉄道非常事態対応総合訓練」を実施しています。また、各部においても自然災害や事故を想定した訓練を実施しています。

鉄道非常事態対応総合訓練

お客さま・地域住民を守るために

● ホーム・踏切の安全対策

ITV（車掌確認用モニター）

曲線ホームなど、車掌がお客さまの乗降を確認しにくいホームに設置しています。

ITV

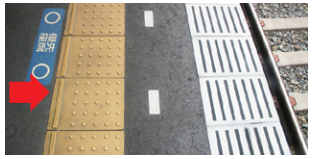
ホームドア及び転落防止柵の設置

ホームからの転落防止対策と列車との接触防止対策として、大阪梅田駅、神戸三宮駅、尼崎駅(1・2番線)、甲子園駅(1・4番線)にホームドアを、御影駅(2番線側のプラットホーム)、高速神戸駅、武庫川線武庫川駅の列車が止まらない箇所に転落防止柵を、それぞれ設置しています。お客さまにより安全に電車をご利用いただくため、全駅へのホームドア又は転落防止柵の整備を推進しています。

尼崎駅(2番線)ホームドア

内方線

視覚障がい者をはじめとするお客さまのホームからの転落を防止するため、全駅の点状ブロックに内方線(ホームの内方側が認識できる線状のブロック)を併設しています。


内方線付きJIS規格ブロック

発光式列車接近表示器

神戸三宮駅の各ホームでは、ホームからの転落防止対策及び列車との接触防止対策として、ホーム床面の光で、列車の接近・発車をお知らせするLEDによる発光式の列車接近表示器を設置しています。

ホーム床面発光式列車接近表示器

待避用ホームステップ

ホーム下等への避難が困難な箇所において、お客さまがホームから転落した場合に、速やかにホーム上へ待避できるよう一定間隔で待避用ホームステップを取り付けています。

待避用ホームステップ

非常通報装置・非常停止ボタン

軌道内に敷設した検知マットや、ホーム上の非常停止ボタンにより、乗務員・駅係員にお客さまの転落などの異常を知らせて、事故を防止するようにしています。非常停止ボタンは、全線全駅の全ホームに設置済みです。

また、列車が出発する際の異常を乗務員に伝えるための進行方向のホーム端部への表示灯を設置しています。

踏切障害物検知装置と踏切支障報知装置（非常ボタン）の設置、踏切支障ATSの整備

発光信号器　2D式水平レーダ・垂直レーダ

車が通行する全ての踏切に踏切障害物検知装置を設置しています。この装置には、光を発する発光器とそれを受ける受光器で光線が一定秒数以上遮断された場合に障害物を検知するレーザー光線式と、レーダから平面的に光を発して物体から反射する光を検知して、一定秒数以上反射があった場合に障害物として検知する2D式があります。

さらに、これまで踏切障害物検知装置を設置していなかった車両通行禁止の踏切道（本線2か所）にも、2025年3月に2D式の踏切障害物検知装置を設置し、本線全ての踏切道（9か所）に設置が完了しました。

踏切内の障害物を検知した場合や遮断棒が完全に降下しない場合には、踏切手前の発光信号器が点灯し、運転士に異常を知らせます。

踏切支障報知装置（非常ボタン）は、営業路線の全ての踏切（21か所）に設置しています。

また、本線、阪神なんば線の踏切（14か所）で異常が発生した際に、列車のブレーキを自動的に動作させ減速させる踏切支障ATSを整備しています。

運転指令室への警報の移報と列車向け自動音声通告システムの運用

ホームでの非常通報装置や踏切道での踏切支障報知装置の動作時において、運転指令室へ警報を移報するとともに、列車無線により列車に対し自動音声通告を行うシステムを構築しています。これにより、ホーム及び踏切道での異常発生時に各列車への迅速な注意喚起を行うことができ、更なる安全性の向上を図っています。

列車種類選別装置の設置（遮断時分の適正化）

列車の安全運行と踏切道を通行する人や車の安全を確保できるよう、全踏切に列車種類選別装置を設置しています。これにより、全ての踏切において遮断時分を適正に制御しています。

車上子

列車種別情報

地上子

列車種別情報

踏切道

運転士が運転台に設置された設定器で列車種別を設定すると、その情報は車上子（車上アンテナ）に伝えられます。

地上子（地上アンテナ）から電波を車上子に当て、その反射により地上の識別装置が列車種別を識別します。

識別された列車種類に応じて、遮断開始のタイミングを変えています。

豆知識

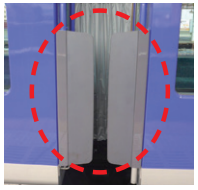
「列車種類選別装置」のこんな使い道

列車種類選別装置は、駅の誤通過防止にも役立っています。本線・阪神なんば線では、この装置の情報（神戸高速線ではPTCのダイヤ情報）を利用して、停止列車が駅に接近してくると列選S標が点滅し、それに連動したATSにより列車の入駅速度が制限されます。これにより、停車駅にもかかわらず、駅を通過させるという人為的ミスを防いでいます。

列選S標

●車両の安全対策

転落防止ほろ・転落防止放送装置の設置


転落防止ほろ

お客さまがホームから車両の連結間へ転落する事故を防止するため、ゴム製の外ほろを、先頭部同士の連結間を除く全ての車両に設置しています。

なお、車両の連結・解放を行う先頭部同士の連結部（1000系車両）には、音声で注意を促す転落防止放送装置を設置しています。

非常通報装置の設置

車内には、非常事態が発生した場合に、乗務員に通報することができる非常通報装置を設置しています。フタを開けて乗務員室に通報するタイプと、乗務員との通話が可能なタイプを全ての車両に設置しています。

運転士異常時列車停止装置の設置

運転士の体調が急変した場合など、不測の事態が発生した際にも安全を確保できるよう、列車走行中にハンドルのスイッチから手が離れると、自動的に非常ブレーキがかかる装置を全運転台に設置しています。

全ての人が使いやすい鉄道に

●駅のサービス施設

券売機

現在は、ICカードへのチャージや音声案内に対応した券売機を、東鳴尾駅・洲先駅を除く全駅(阪神線)に設置しています。

自動定期券発売機

2003年以降、新規定期券も購入可能なタイプのものを、梅田、尼崎、甲子園、三宮、西九条の各駅に設置し、2008年からICカードによる購入、2009年からクレジットカードによる購入も可能としました。現在は野田、西宮、芦屋、魚崎、御影、大阪難波、新開地を加えた合計12駅に設置しています。

改札機

1996年に通路の幅が900㎜（通常550㎜)の車いす対応改札機を姫島駅に関西で初めて導入し、2025年3月末現在で48駅に73台を設置しています。

車いす対応改札機

駅務機器年譜

1962（昭和 37）	11. 10	梅田駅に初めて自動券売機を設置
1971（昭和 46）	8. 3	本線、西大阪線全駅の出札業務の自動化が完了(券売機、光学式乗車券印刷発行機を設置)
1972（昭和 47）	10. 5	尼崎駅に初めて自動改札機(11台)を設置
1973（昭和 48）	10. 18	梅田駅と尼崎駅に初めての定期券印刷発行機を設置、使用開始
1982（昭和 57）	2. 28	改集札業務の自動化が完了
1987（昭和 62）	3. 31	本線・西大阪線の全駅・全改札口に他社線への連絡乗車券も発行できる券売機と改札機の設置を完了
1987（昭和 62）	10. 31	駅務管理システム新設工事が完成(同年11.1稼働開始)
1988（昭和 63）	3. 26	プリペードカード「ハープカード」の発売開始(1996.3.19まで発売)
1988（昭和 63）	4. 27	ハープカード対応の券売機を本線、西大阪線の全駅に設置完了
1988（昭和 63）	11. 18	高額紙幣対応の券売機を導入(関西民鉄界初)
1992（平成 4）	5. 26	梅田駅に初めて自動定期券発売機を設置
1996（平成 8）	3. 20	ストアードフェアシステムを導入(「スルッとKANSAI」を導入)、同システム対応のプリペイドカード「らくやんカード」の発売を開始(2017.3.31まで発売)
2005（平成 17）	10. 18	ICカードに対応した改札機を全駅(東鳴尾駅・洲先駅はIC専用簡易改札機)に設置
2006（平成 18）	2. 1	ポストペイサービスによるICカードシステム(PiTaPa)を導入(同年7.1、IC定期乗車券サービスを開始)
2007（平成 19）	4. 1	IC連絡定期券の発売を開始
2007（平成 19）	9. 1	IC連絡定期券のエリアを拡大
2009（平成 21）	1. 20	ICカードへのチャージに対応した精算機を導入
2022（令和 4）	7. 31	磁気定期券の発売終了
2024（令和 6）	6. 17	QRコード※を活用したデジタル乗車券サービスを開始
2024（令和 6）	10. 19	クレジットカード等のタッチ決済による乗車サービス開始
2025（令和 7）	3. 21	タッチ決済に対応した改札機を全駅(東鳴尾駅、洲先駅は専用端末)に設置

駅務機器等の設置状況

	駅名	券売機	改札機(注1)	精算機
本線	大阪梅田	14	28③	5
	福島	4	5②	2
	野田	2	7①	1
	淀川	2	3①	1
	姫島	2	4①	1
	千船	2	4①	1
	杭瀬	2	4①	1
	大物	2	3①	1
	尼崎	6	9②	3
	出屋敷	4	5②	2
	尼崎センタープール前	3	4①	1
	武庫川	9	14④	3
	鳴尾・武庫川女子大前	3	6①	1
	甲子園	10	27④	7
	久寿川	2	3①	1
	今津	3	5①	1
	西宮	5	10②	3
	香櫨園	2	3①	1
	打出	4	6②	2
	芦屋	4	8①	2
	深江	2	4①	1
	青木	2	4①	1
	魚崎	3	5①	1
	住吉	2	2	1
	御影	2	5①	1
	石屋川	2	3①	1
	新在家	2	3①	1
	大石	2	3①	1
	西灘	2	3①	1
	岩屋	2	4①	1
	春日野道	4	5①	2
	神戸三宮	8	13②	5
	元町	4	9②	4
	小計	33駅 122台	33駅 221㊼台	33駅 61台

	駅名	券売機	改札機(注1)	精算機
阪神なんば線	大阪難波	17	27③	9
	桜川	2	3①	1
	ドーム前	6	8①	3
	九条	4	6②	2
	西九条	5	9②	3
	千鳥橋	2	3①	1
	伝法	2	3①	1
	福	4	6②	2
	出来島	2	3①	1
	小計	9駅 44台	9駅 68⑭台	9駅 23台
武庫川線	東鳴尾		2	
	洲先		4	
	武庫川団地前	2	3①	1
	小計	1駅 2台	3駅 9①台	1駅 1台
神戸高速線	西元町	4	4②	2
	高速神戸	5	8②	3
	新開地(注2)	4	8②	3
	大開	4	5②	2
	高速長田	4	7②	2
	西代	3	3①	1
	小計	6駅 24台	6駅 35⑪台	6駅 13台
	合計	49駅 192台	51駅 333㉓台	49駅 98台

（注1） ○内の数字は「車いす対応改札機」（内数）の設置台数を示します。
（注2） 新開地は南北線の施設を除きます。

大阪難波は近鉄との共同使用駅、西代は山陽との共同使用駅、高速神戸は阪急との共同使用駅、新開地は阪急・神鉄との共同使用駅です。

より快適にお客さまにご利用いただくために

●CS向上に向けた取組み

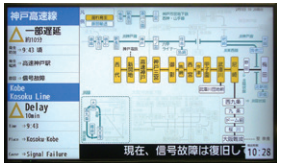
阪神電車サービスセンター

沿線や周辺の観光案内など、お客さまのニーズに応じた幅広いサービスを行っています。また、英語力のあるスタッフの常駐化やタブレット端末を利用した韓国語及び中国語の通訳サービスを行うことで、インバウンドの受入体制を強化しています。

阪神電車サービスセンター（神戸三宮駅）

情報案内ディスプレイ・案内検索端末

駅の改札口に情報案内ディスプレイ及び案内検索端末を設置し、列車の運行状況を文字情報や路線図等を組み合わせて分かりやすく表示するなど、お客さまに的確かつ迅速に情報を提供できるようにしています。2025年3月末現在、情報案内ディスプレイは29駅に、案内検索端末は25駅に設置しています。



情報案内ディスプレイ

案内検索端末

全駅係員・全乗務員がサービス介助士の資格を取得

当社では、高齢者や障がい者のお客さまに少しでもお役に立てるよう、サービス介助士の資格取得を推奨しており、鉄道事業に従事する全ての駅係員と乗務員が、サービス介助士を取得しています。

トイレの改良

トイレのリニューアル工事を実施し、洋式化は、2024年3月末に全ての駅において完了しました（関西大手私鉄初）。温水洗浄便座及び便座クリーナーも設置しています。

改札口インターホンの改良

駅係員不在時にご利用いただいている改札口インターホンを改良し、従来の音声通話機能に加えて、カメラによる乗車券類の確認機能、ICカード処理機能、筆談や資料案内ができる双方向の画像表示機能を新たに搭載しています。

インターホン

阪神アプリ

阪神アプリを通じて、お客さまからのニーズが高い運行情報のほか、列車走行位置、各駅における列車行先案内などの情報を「正しく」「迅速に」提供できる体制の構築を図っています。

また、運行異常時におけるプッシュ通知機能や、各駅の駅構内図、時刻表、ホーム出口案内を閲覧できる機能のほか、阪神バス・阪急バス・阪神タクシー・シェアサイクルなどの情報や、相互直通運転を行っている他社（近畿日本鉄道㈱・山陽電気鉄道㈱）や乗換接続している他社（西日本旅客鉄道㈱・阪急電鉄㈱・南海電気鉄道㈱）のアプリとも連携しています。

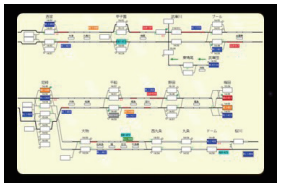
異常時運行情報

列車行先案内

列車走行位置

駅係員と車掌に対して支援端末を配備

駅係員や車掌の業務を支援し、お客さまへの情報提供をより円滑に行うため、駅係員と車掌にタブレット型の支援端末を配備しています。列車の運行情報をリアルタイムに確認できることに加えて、地図案内や乗換案内、外国語翻訳、障がい者の方とのコミュニケーション支援、多言語自動放送などの各種アプリを導入しています。



タブレット端末

また、お客さまへの情報提供を正確かつ迅速に行うため、各駅間での情報連携にチャットアプリを使用しています。

公式SNSで運行情報等を配信

運行情報専用の阪神電車公式SNSアカウントを開設し、列車の運行情報を配信しています。本アカウントでは、毎日7時及び17時に運行情報を定期配信することに加え、列車の遅れや運行見合せが発生した際には、適宜、運行情報や振替委託情報を配信しています。

●バリアフリーの取組み

駅のバリアフリー化

障がいのあるお客さまや、小さいお子さまを連れたお客さまもご利用しやすいよう、駅へのエレベーターの設置や、多機能トイレの整備を積極的に進めています。このほかにも、点字などで駅構内図を表示する触知図式案内板、階段や触知図の位置を音で知らせる誘導チャイム、点字運賃表等の整備も進めています。

深江駅

車両のバリアフリー化

車いす・ベビーカースペース

全編成に設置しており、原則として、先頭車・最後尾以外の中間車両の神戸寄りの扉横に設けています。8000系(一部)、1000系、5500系、5550系、5700系では、編成の全車両に設置しています。

車いす・ベビーカースペース

扉開閉予告ブザー・扉開閉予告灯・誘導鈴

扉事故を防止するため、扉の開閉時に警告音が鳴る扉開閉予告ブザーを全ての車両に設置しています。

なお、8000系(一部除く)、1000系、5500系、5550系、5700系にはブザーと同時に点滅するLED式の扉開閉予告灯及び目の不自由な方に扉の位置をチャイム音で知らせる誘導鈴を併せて設置し、2025年3月末現在、252両に設置しています。

車内案内表示装置

視覚的に情報を提供するため、車内案内表示装置を全ての車両の扉の上部(1両当たり3か所)に設置し、列車種別、停車駅、営業案内などの文字情報を表示しています。

車内案内表示装置(5700系)

なお、5700系及び5500系では、32インチハーフサイズの液晶式のフルカラー式の表示器を設置し、停車駅・乗換案内・運行状況などの情報を、イラストや大きな文字を用いて分かりやすく表示できるようにしているほか、4か国語(日・英・中・韓)対応もしています。

車内乗車位置表示板

扉の内側に凸形記号及び点字により「号車・扉番号」を表示する車内乗車位置表示板を設置しています。2025年3月末現在、8000系、9300系、5500系(一部除く)、5550系、5700系の220両に設置しています。

車内乗車位置表示板

●インバウンドに向けた取組み

多言語自動放送を導入

車内での多言語放送は、2019年3月から訪日外国人のお客さまのご利用増加が顕著な阪神なんば線に導入し、2020年3月からは本線を運行する直通特急・特急(ともに阪神車両)、急行列車においても実施しています。通常時に加え、異常時における案内の一部も多言語化することにより、訪日外国人のお客さまへのサービス向上を図っています。また、プラットホームでも2020年3月から順次、大阪梅田、尼崎、甲子園、神戸三宮、西九条、九条の6駅で通常時の多言語放送を開始しています。

[放送言語] 日本語、英語(一部中国語、韓国語も放送)

翻訳アプリを搭載した端末を導入

訪日外国人のお客さまと駅係員のコミュニケーションツールとして、全有人改札口に翻訳アプリを搭載したタブレット端末を配備しており、一部の主要駅には翻訳専用端末を導入しています。音声認識技術による翻訳文をタブレットや端末画面に表示し、更に機械音声で文章を読み上げることにより、駅での列車案内や観光案内のほか、お忘れ物のお問合せや異常時の案内にも幅広く対応できるようになりました。

●台湾からの旅客誘致の取組み

台湾デー

阪神甲子園球場では、2014年に台湾で阪神甲子園球場を題材にした映画が流行した影響もあり、台湾からのインバウンド需要が高まっているため、2016年から阪神タイガース公式戦開催日に「台湾デー」を開催しています(2020～2022年は中止)。台湾デーでは、台湾人旅行客の観戦誘致を行うとともに当社沿線の魅力を発信する一方、日本人来場者には台湾の魅力を発信することで、相互の文化交流に繋がる取組みを行っています。

桃園メトロとの連携協定

2019年1月に、沿線にプロ野球球団が本拠地とする野球場があり、観客輸送を行っているという共通点をきっかけに、日本台湾間の更なる相互送客の実現を目指して、台湾の桃園大衆捷運股份有限公司(桃園メトロ)と相互連携協定を締結しました。連携の一環として、2019年3月に阪神線で桃園メトロ沿線の特色をデザインしたラッピング列車の運行を開始したほか、同年5月には阪神線と桃園メトロ線の鉄道乗車券をセットした企画乗車券を発売するなど、お互いの沿線のPRに取り組んでいます。

桃園メトロ連携記念ラッピング列車の出発

阪神電車 × 桃園捷運

鉄道運行を支える施設・設備

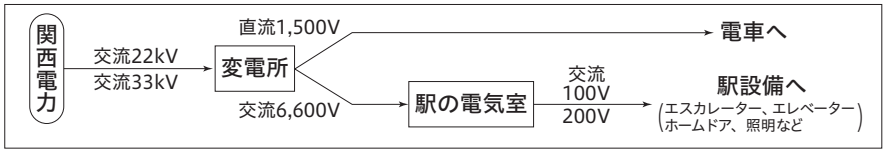
●電力関係設備

変電所

鉄道で使う電力は、電車を動かす運転用電力と、駅の照明、エスカレーター、信号機、ホームドアなどに使う付帯電力に大別されます。当社は関西電力から交流22kV又は33kVの特別高圧を沿線7か所(淀川・大物・今津・青木・春日野道・相生橋・九条)の変電所で受電し、運転用電力の直流1,500Vと付帯電力の交流6,600Vに変換し、全線に電力を供給しています。

なお、変電所は全て無人で、尼崎にある電力指令所から遠隔制御を行っています。電力指令所は、安定した電力供給と迅速な事故対応が可能なように、コンピューターの機能をフルに生かした変電所集中管理システム(CSC)で運用しています。

電力供給の仕組み

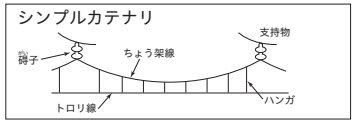


電路設備

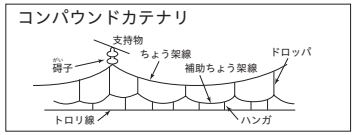
電線路の支持物は、ほとんどが門型の鉄柱ですが、最近は耐震性を考慮して鋼管柱を採用しています。また、電車に電気を送り込む電車線の架設方法は、シンプルカテナリ、コンパウンドカテナリ、剛体電車線の3種類を採用しています。

また、電車線の張替作業や点検作業の効率化のため、軌道専用の「架線作業車」と一般道・軌道両方を走行できる「軌道自動車」を導入し、電路設備の保全に活用しています。

〈ちょう架方式〉

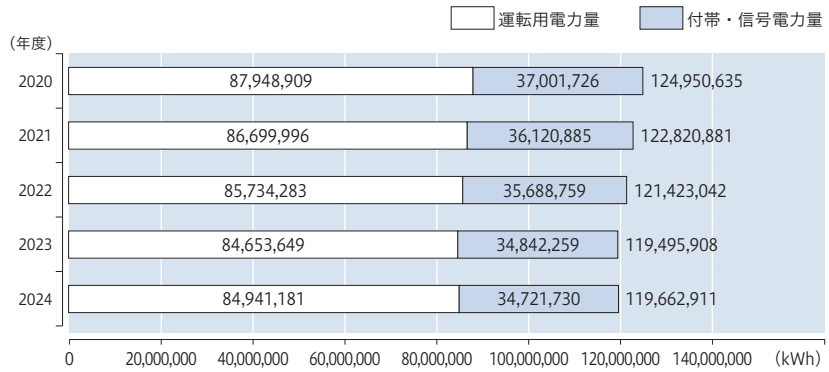


構造が比較的簡単なため、従来から一般的に採用されているちょう架方式



電流容量が大きいため、輸送量及び運転速度の高い線区に適するちょう架方式

電力消費量の推移



●車庫

尼崎車庫・工場

車両の検査・修繕等の作業は、全て尼崎車庫・工場で行っています。

石屋川車庫

日本で最初の検車庫付きの高架車庫として1968年から使用していましたが、1995年に発生した阪神・淡路大震災により全壊したため、同じく高架車庫として再建し、1996年3月から使用を開始しています。

名称	尼崎工場	尼崎車庫	石屋川車庫
住所	尼崎市北城内116番地		神戸市東灘区御影塚町4丁目11番1号
敷地面積(㎡)	54,181		15,882 (高架部車庫面積 約12,900㎡)
収容能力(両)	27	209	94
主な機械	工作機械、塗装装置、試験装置	車輪転削盤、車体洗浄機、試験装置	

このほか、御影留置線(車両収容能力34両)があります。

●主な車両

1000系 急行用

阪神なんば線及び近鉄奈良線の走行にも対応した急行用車両です。車体をステンレス化して無塗装とすることで環境に配慮するとともに、鉄道車両としては先端技術であるレーザー溶接構体(ボディ)を採用して見付及び構体強度の向上を図っています。車体のシンボルカラーは、2025年度以降、「ビバーチェオレンジ」から「リ・バーミリオン」に順次変更しています。また、この車両では、フルカラーLED式の行先・種別表示器を採用しています。更に、バリアフリー関連では、これまでの機器に加え、扉開閉予告灯及び誘導鈴を各出入口上部に設置しているほか、全車両に車いす・ベビーカースペースを設置しています。

〔1201形〕定員:123人(うち座席44人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:29.5t
運転性能:最高速度110km/h、加速度3.0km/h/s、減速度4.0km/h/s
※中間車(1001形・1101形・1301形)定員133人(50座席)

9300系 急行用

中間車にセミクロスシートを備えた急行用車両です。車体は、「プレストオレンジ」と「シルキーベージュ」のツートンカラーとしています。従来の車両に比べ消費電力が少なく、動作音も小さい省エネルギータイプのIGBT–VVVFインバータ制御装置を採用したほか、車内案内表示装置、非常通話装置、車いす・ベビーカースペース、扉開閉予告ブザー、転落防止ほろ等を設置しています。

〔9501形〕定員:124人(うち座席48人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:27t
運転性能:最高速度110km/h、加速度3.0km/h/s、減速度4.0km/h/s
※中間車(9301形・9401形)定員131人(50座席)

9000系 急行用

〔9201形〕定員:120人(うち座席46人)
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm
自重:25t、運転性能:最高速度110km/h
加速度:3.0km/h/s、減速度:4.0km/h/s
※中間車(9000形・9101形)定員:132人(50座席)

8000系　急行用

〔8201形〕定員:124人(うち座席46人)
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm
自重:28t、運転性能:最高速度110km/h
加速度:2.5km/h/s、減速度:4.0km/h/s
※中間車:クロスシート 定員:130人(50座席)
:ロングシート 定員:133人(50座席)

5700系 普通用

普通用車両としては、20年振りとなる新型車両で、鉄道友の会が選定する「2016年ブルーリボン賞」を受賞しました。ステンレス車体に、普通用車両の伝統を引き継いだ「カインドブルー」を配色しています。

永久磁石同期電動機を用いたVVVFインバータ制御の主回路システムやLED照明などを採用し、省エネルギー化を図っています。

また、吊り手・握り棒の増設など、より安全・快適な車内空間となるようにしています。更に、出入口上部に4か国語対応の32インチハーフサイズの液晶式の車内案内表示器を設置しています。

〔5701形〕定員:124人(うち座席41人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:34t
運転性能:最高速度110km/h、加速度4.0km/h/s、減速度4.5km/h/s
※中間車(5801形)定員:133人(45、46座席)

COLUMN

ちょい乗りシート

立ち座り動作のお客さまの負担を軽減させたいとの思いから、従来の座面より30mm高くするなどの工夫したシート。

5700系普通用車両の出入口付近に設置しています。

5550系 普通用

〔5551形〕定員:124人(うち座席46人)
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,085mm
自重:35.5t、運転性能:最高速度110km/h
加速度:4.0km/h/s、減速度:4.5km/h/s
※中間車(5651形)定員:133人(50座席)

5500系 普通用

当初の車体は、「アレグロブルー」と「シルキーグレイ」のツートンカラーで、当社で初めてGTO-VVVFインバータ制御装置を採用したほか、車内案内表示装置、非常通話装置、車いすスペース、扉開閉予告ブザー等を設置していました。

その後、2016年度から実施したリニューアル工事により、現在は5700系に準じたサービス・バリアフリー設備を設置するとともに、「ラピスブルー」を基調とした外観に一新されています。

〔5501形〕定員:125人(うち座席45又は46人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:34t
運転性能:最高速度110km/h、加速度4.0km/h/s、減速度4.5km/h/s
※中間車(5601形)定員133又は134人(49又は50座席)

5500系 武庫川線ワンマン用

〔5501形〕定員:127人(うち座席39人)
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm
自重:34t、運転性能:最高速度110km/h
加速度:4.0km/h/s、減速度:4.5km/h/s
※5901形定員:125人(40座席)

COLUMN

5001形コラム

1977年の導入以来、沿線の皆さまに親しまれてきました普通用車両5001形が、2025年2月に運行を終了し引退しました。上部がクリーム色、下部がウルトラマリンブルー(青)に塗り分けられていたことから、急行用の「赤胴車」に対して「青胴車」と呼ばれました。

車両数・客車形式別一覧

車両数

客車(両)	
電動客車	191
制御電動客車	60
制御客車	90
付随客車	13
計	354

客車形式別一覧

形式	両数(両)	製造年(年)
1000系	96	2007～2012
9300系	18	2001～2003
9000系	30	1996
8000系	114	1984～1996
5700系	56	2015～2024
5550系	4	2010
5500系	36	1995～2000

※2025.4.1現在

便利でお得な切符・サービスの提供

●多彩な乗車券を発売

回数券

阪神線・神戸高速線ともに身体・知的・精神障害者用特別割引回数券のみ発売しています。

券種	適用	回数	発売金額
普通回数券	大人・小児	11回	片道普通旅客運賃を10倍した額の5割引

※　阪　神　線…このほか、神戸高速線、山陽電鉄線、神戸電鉄線との連絡回数券も発売しています。
※　神戸高速線…このほか、阪神線、山陽電鉄線、神戸電鉄線、阪急電鉄線との連絡回数券も発売しています。

STACIA PiTaPa

カードを改札機にタッチするだけで通ることができ、物販端末設置店では電子マネーとしても利用できるPiTaPaシステム※対応のポストペイ(後払い)方式のICカードです。なお、ICカードには定期券の機能も付加することが可能です。

※ PiTaPaは、「Postpay IC for “Touch and Pay”」の略で、㈱スルッとKANSAIが運用するIC決済システムです。

また、グループ交通機関の乗継利用でポイントが貯まるサービス「エコ乗り」や、グループでの利用によるポイントサービス、沿線文化施設などでの提示割引サービス等も実施しています。

利用回数割引	PiTaPaカードの利用月に、同一運賃区間の乗車回数が10回を超えた場合、その超えた乗車について、普通旅客運賃を10%割り引くサービスを実施しています。
期間区間割引	神戸高速線において、小児用PiTaPaカードを使用して乗車する場合、小児普通旅客運賃を50%割り引くサービスを実施しています。
PiTaPa定期サービス	PiTaPaカードに、磁気定期券同様の情報を搭載することにより、IC定期券としての利用が可能です。

ICOCA

JR西日本が発行するプリペイド(前払い)方式のICカードで、当社では2019年3月1日から発売を開始しました。事前にチャージ(入金)しておくと、自動改札機にタッチすることでカード内の残額から運賃を引き去ります。また、ICOCAに定期券の機能を付加することも可能です。

阪神電車ポイント還元サービス	自動券売機において、ICOCAの利用登録を行うことで、1か月間(1日～末日)に同一運賃区間を11回以上乗車した場合、同一運賃区間ごとに11回目以降の乗車運賃合計額の10%分をポイントとして付与するサービスを実施しています。なお、神戸高速線においては、小児用ICOCAを使用して乗車した場合、乗車回数にかかわらず、同一運賃区間ごとの乗車運賃合計額の50%分をポイントとして付与しています。

企画乗車券

他社との共同企画として、当社線と他社線との連絡割引乗車券などの企画乗車券を発売しています。また、2024年6月17日から、スマートフォンでチケットを購入し、QRコードを表示して交通機関等をご利用いただけるサービス「スルッとQRtto」で、デジタル乗車券の発売を開始しました。2025年1月27日からは、「KANSAI MaaS」アプリでもデジタル乗車券の取扱いを開始しました。

●定期券サービス

阪急電鉄との定期券の相互利用サービスの実施

阪神線及び阪急電鉄線(いずれも神戸高速線を含みます。)の大阪梅田・神戸三宮間、神戸三宮・高速神戸間を含む定期券で、相手会社の特定の駅でも乗降ができるサービスを実施しています。

1　大阪梅田・神戸三宮間（通勤定期券）

①　阪神大阪梅田・阪神神戸三宮間を含む通勤定期券
　乗降可能な駅　阪急大阪梅田・阪急神戸三宮

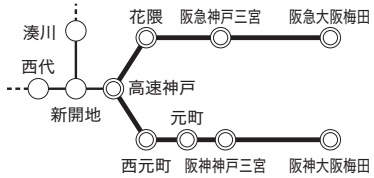
②　阪急大阪梅田・阪急神戸三宮間を含む通勤定期券
　乗降可能な駅　阪神大阪梅田・阪神神戸三宮

（注）いずれも、途中駅での乗降は、別途普通運賃が必要となります。

2　神戸三宮・高速神戸間（通勤・IC通学定期券）

①　阪神神戸三宮・高速神戸間を含む通勤定期券及びIC通学定期券
　乗降可能な駅　阪急神戸三宮・花隈

②　阪急神戸三宮・高速神戸間を含む通勤定期券及びIC通学定期券
　乗降可能な駅　阪神神戸三宮・元町・西元町



（注）・左記1、2のケース共、他社線との連絡定期券を含みます。
・大阪梅田～高速神戸間を含む通勤定期券の場合は、左記1、2が共に適用されます。

大阪梅田駅乗降サービス「OSAKAどっちも定期」

大物・九条間を含む通勤定期券で、大阪梅田でも乗降ができるサービスです。

（注）定期有効区間外の本線途中駅での乗降は、別途普通運賃が必要となります。

環境に配慮した駅・車両

●駅・車両での取組み

カーボンニュートラル

脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、2025年4月1日から阪神全線の列車運行及び駅施設等で使用するすべての鉄道用電力を再生可能エネルギー由来の電力(再エネ電力)に置き換え、実質的にCO_2排出量ゼロとする「カーボンニュートラル運行」を開始しました。また、同日から、そのイメージを車両にラッピングした列車を運行しています。

太陽光発電設備の導入

杭瀬駅、大物駅、尼崎センタープール前駅及び大石駅の屋根に太陽光パネルを設置しており、4駅の使用電力量の57%に当たる年間624,000kWhが発電され、年間CO_2排出量では218トンの削減効果があります。

大石駅の取組み

太陽光パネル

LED照明の導入

当社では、駅照明に省エネ性の高いLEDを積極的に導入しており、全駅でのLED照明の導入を順次進めています。また車両の前照灯や室内灯においても、LED照明の導入を進めています。

回生ブレーキで発電される電力(回生電力)の有効活用

西宮駅、神戸三宮駅では、回生電力を駅舎の動力設備(昇降機、空調など)で使用できるようにする駅舎補助電源装置を設置しています。この装置により、年間278,000kWhの回生電力が有効活用され、年間CO_2排出量では97トンの削減効果があります。

電車のブレーキで発電

電車の減速時、走行用のモーターを発電機として動作させてブレーキに使用する「回生ブレーキ」を95%の車両で採用しています。これにより発電した電力は架線に送り返され、付近を走る車両で利用されています。

豆知識

車両に使われている省エネ装置

VVVFインバータ制御装置

走行用交流モーターの回転数や回転力を制御する装置。架線から取り入れた直流電力を変換装置であるインバータにより交流電力に変換し、更に車両の走行状態に応じてその電圧と周波数を変化させ、モーターの回転を効率よく制御します。保守の手間が少ない交流モーターを使用するため、省力化に役立つほか、省エネ性にも優れています。

●その他の取組み

ロングレール化

1本のレールの長さが200m以上のロングレールは継ぎ目がないため、振動や騒音が減り、乗り心地が良くなるほか、保線作業も軽減されます。なお、当社では本線のロングレール敷設可能区間においては、全ての区間で敷設しています。

防振軌道の採用

コンクリート道床とまくら木の間にゴム製等の弾性材を設置し、列車の走行に伴う振動の低減を図っています。

防振軌道の採用

親しみを持っていただける鉄道

「阪神電車まなび基地親子見学会」を開催

明治・大正時代に活躍した旧形車両などを活用し、2015年から「阪神電車まなび基地親子見学会」を定期的に開催しています。

阪神電車まなび基地では、運転士体験、踏切設備を用いた交通ルールの学習、野菜の成長過程の学習などを行っており、皆さまに地元の鉄道の存在をより身近に感じていただくことができます。

阪神電車まなび基地親子見学会

小学校への出前授業

沿線の子どもたちの社会学習に貢献するため、沿線の小学校で、駅長による出前授業を行っています。阪神電車の歴史や、電車の仕組み、鉄道利用時のマナー、鉄道の仕事などの説明を行っています。

出前授業

地域の学校と連携して乗車マナー啓発活動を実施

2015年から、武庫川女子大学附属中学校・高等学校と共同で、「はんしん×ムコジョ乗車マナー向上委員会」を立ち上げ、阪神電車における乗車マナーの向上に継続して取り組んでいます。

啓発ポスターのディスプレイ表示や駅構内・車内への掲出、学生が録音した駅構内放送、ホームページや駅での啓発活動により、乗車マナーの向上を図るとともに地域とのつながりを深め、快適な駅・車内空間の実現に向け取り組んでいる活動です。

駅での啓発活動

COLUMN

「阪神電車の高架下」のこんな取組み

■阪神野菜栽培所

高架下スペースを活用した完全人工光型植物工場「阪神野菜栽培所」(2014年4月出荷開始)で、グリーンリーフ及びフリルレタス等を栽培し、「清らか野菜」として販売しています。

農薬を使わずに栽培し、雑菌の付着が少ないなど、安心で新鮮・長持ちな野菜を特徴としています。ここで栽培した野菜は、沿線のスーパーマーケットや百貨店などで販売されているほか、ホテル・レストランなどで食材としても利用されています。

阪神野菜栽培所の概要

完成年月	2014年3月
形　式	完全人工光型植物工場
住　所	尼崎市水明町373番地の6 (尼崎センタープール前駅高架下)
建築面積	836㎡
生産能力	グリーンリーフ、フリルレタス等合わせて、日産最大約1,500株

駅別乗降人員・駅所在地

〈本 線〉

（乗降人員は、2024年11月の1日平均）

順位	駅名	乗降人員 乗車(人)	降車(人)	合計(人)	所在地	駅管区
1	大阪梅田	82,895	80,611	163,506	大阪市北区梅田3丁目大阪駅前地下街6号(〒530-0001)	梅田 ☎(06) 6457-2267
31	福島	5,082	5,971	11,053	〃 福島区福島5丁目8番10号	
9	野田	16,245	16,661	32,906	〃 〃 海老江1丁目1番11号	
42	淀川	2,634	2,583	5,217	〃 〃 海老江8丁目17番3号	
22	姫島	7,087	6,973	14,060	〃 西淀川区姫里1丁目26番14号	
18	千船	7,892	7,763	15,655	〃 〃 佃2丁目2番33号	
35	杭瀬	4,136	4,150	8,286	尼崎市杭瀬本町1丁目1番1号	尼崎 ☎(06) 6411-0281
40	大物	2,930	2,900	5,830	〃 大物町2丁目1番1号	
6	尼崎	20,085	20,527	40,612	〃 東御園町93番地(〒660-0000)	
24	出屋敷	5,995	5,979	11,974	〃 竹谷町2丁目35	
29	尼崎センタープール前	5,534	5,580	11,114	〃 水明町373の6	
11	武庫川	14,213	14,078	28,291	〃 大庄西町1丁目1番1号	
14	鳴尾・武庫川女子大前	11,833	12,053	23,886	西宮市里中町3丁目13番18号	甲子園 ☎(0798) 48-1500
3	甲子園	26,351	26,378	52,729	〃 甲子園七番町1番1号(〒663-8177)	
43	久寿川	2,142	1,999	4,141	〃 今津曙町13番25号	
8	今津	16,774	16,978	33,752	〃 〃 1番1号	
4	西宮	23,182	23,649	46,831	〃 田中町1番16号	
27	香櫨園	5,756	5,532	11,288	〃 松下町1番1号	
21	打出	7,448	7,287	14,735	芦屋市打出小槌町13番12号	
12	芦屋	13,707	13,595	27,302	〃 公光町11番10号	
16	深江	8,786	8,904	17,690	神戸市東灘区深江北町4丁目1番8号	御影 ☎(078) 851-2816
20	青木	7,534	7,324	14,858	〃 〃 北青木3丁目2番1号	
10	魚崎	15,780	15,600	31,380	〃 〃 魚崎中町4丁目7番1号	
44	住吉	1,385	1,431	2,816	〃 〃 住吉宮町5丁目1番1号	
13	御影	12,664	13,243	25,907	〃 〃 御影本町4丁目12番4号(〒658-0046)	
38	石屋川	3,600	3,465	7,065	〃 〃 御影石町2丁目23番12号	
32	新在家	5,562	5,443	11,005	〃 灘区新在家北町1丁目4番1号	
34	大石	4,660	4,551	9,211	〃 〃 船寺通1丁目4番2号	
41	西灘	2,844	2,673	5,517	〃 〃 都通5丁目5番1号	
28	岩屋	5,662	5,618	11,280	神戸市灘区岩屋北町4丁目1番1号	神戸 ☎(078) 221-1254
19	春日野道	7,911	7,645	15,556	〃 中央区吾妻通1丁目1番131号	
2	神戸三宮	54,805	54,718	109,523	〃 〃 小野柄通8丁目1番8号(〒651-0088)	
15	元町	9,428	9,533	18,961	〃 〃 元町通2丁目10番2号	
	元町通過(注1)	30,430	30,910	61,340		
	小計	452,972	452,305	905,277		

(注1)元町通過　乗車…西元町以西から乗車し、阪神線内の各駅(元町以外)で降車した人員
降車…阪神線内の各駅(元町以外)で乗車し、西元町以西で降車した人員

〈阪神なんば線〉

順位	駅名	乗降人員 乗車(人)	降車(人)	合計(人)	所在地	駅管区
	難波通過(注2)	19,549	17,784	37,333		
7	大阪難波	17,805	19,675	37,480	大阪市中央区難波4丁目1番17号	尼崎 ☎(06) 6411-0281
39	桜川	3,187	3,050	6,237	〃 浪速区桜川3丁目8番3号	
25	ドーム前	5,660	5,948	11,608	〃 西区千代崎3丁目北2番14号	
17	九条	8,069	8,467	16,536	〃 〃 九条1丁目25番8号	
5	西九条	21,920	22,193	44,113	〃 此花区西九条3丁目15番13号	
33	千鳥橋	4,888	4,817	9,705	〃 〃 四貫島1丁目1番43号	
36	伝法	4,112	3,933	8,045	〃 〃 伝法3丁目14番50号	
23	福	6,355	6,402	12,757	〃 西淀川区福町2丁目3番28号	
30	出来島	5,598	5,481	11,079	〃 〃 出来島1丁目13番6号	
45	大物	1,135	1,164	2,299	尼崎市大物町2丁目1番1号	
26	尼崎	5,619	5,823	11,442	〃 東御園町93番地	
	小計	103,897	104,737	208,634		

※ 大阪難波駅における乗降人員は、阪神なんば線分のみです。
(注2)難波通過　乗車…近鉄日本橋以東から乗車し、阪神線内の各駅(大阪難波以外)で降車した人員
降車…阪神線内の各駅(大阪難波以外)で乗車し、近鉄日本橋以東で降車した人員

〈武庫川線〉

順位	駅名	乗降人員 乗車(人)	降車(人)	合計(人)	所在地	駅管区
48	武庫川	167	147	314	西宮市武庫川町2番15号	尼崎 ☎(06) 6411-0281
46	東鳴尾	829	854	1,683	〃 東鳴尾町1丁目7番12号	
47	洲先	764	685	1,449	〃 〃 2丁目17番10号	
37	武庫川団地前	3,852	3,753	7,605	〃 上田東町4番83号	
	小計	5,612	5,439	11,051		
阪神線合計		562,481	562,481	1,124,962		

〈神戸高速線〉

駅名	乗降人員 乗車(人)	降車(人)	合計(人)	所在地	駅管区
元町	4,771	4,708	9,479		
西元町	2,611	2,456	5,067	神戸市中央区元町通6丁目7番11号	新開地 ☎(078) 575-5061
高速神戸	13,565	13,672	27,237	〃 〃 多聞通3丁目3番13号	
新開地	12,539	11,465	24,004	〃 兵庫区新開地2丁目3番Bの1号(〒652-0811)	
大開	2,799	2,647	5,446	〃 〃 水木通7丁目1番Bの1号	
高速長田	8,019	7,645	15,664	〃 長田区北町1丁目2番地先	
西代	2,527	2,431	4,958	〃 〃 御屋敷通2丁目6番1号	
神戸高速線合計	46,831	45,024	91,855		

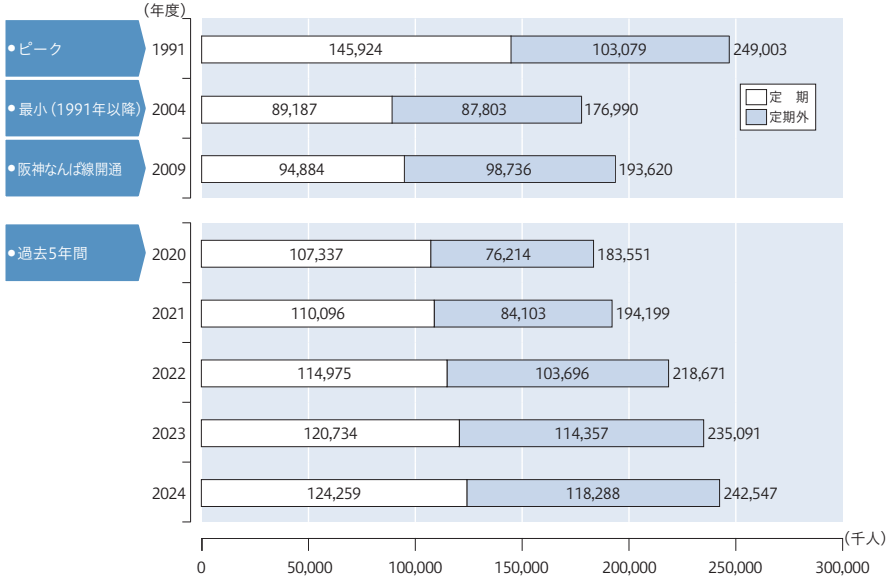
※ 元町駅・西代駅における乗降人員は、神戸高速線分のみです。
乗降人員は、2024年11月の改札機データに基づく1日平均(元町駅を除く。)
ただし、元町駅については2024年11月実施の旅客交通調査日の改札機通過人員

※元町駅は西3社(山陽・神鉄・高速)発着データ
※西代駅は東4社(近鉄・阪神・阪急・高速)発着データ

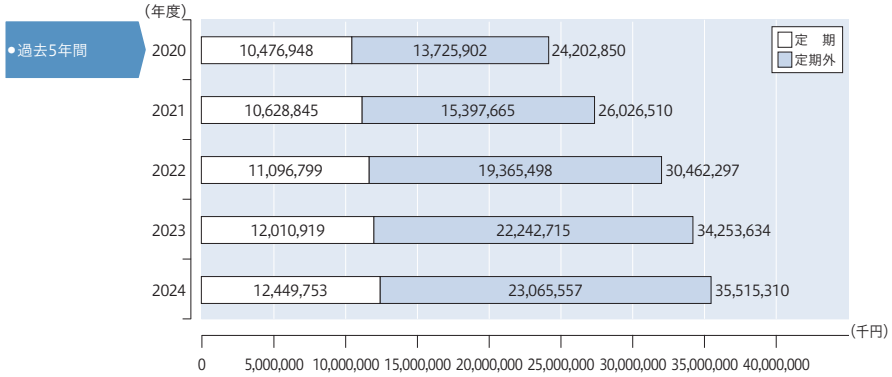
輸送実績

輸送実績

旅客輸送人員（第二種鉄道事業を含みます。）



旅客運輸収入（第二種鉄道事業及びバリアフリー料金（2023（令和5）.4.1～）を含みます。）



運賃改定・混雑時の推移等

運賃改定の推移

改定年月日	初乗運賃（円）	改定率（%）			増収率（%）			備　考
		定期外	定期	計	定期外	定期	計	
1987（昭和62）. 5. 16	100	11.7	12.1	11.9	10.0	10.5	10.2	
1989（平成元）. 4. 1	100	3.26	2.55	2.97	3.26	2.55	2.97	消費税3%実施
1991（平成 3）. 11. 20	120	13.4	23.0	17.3	12.5	22.9	16.7	
1995（平成 7）. 9. 1	140	12.1	19.4	14.9	10.5	17.7	13.4	
1997（平成 9）. 4. 1	140	2.06	1.74	1.94	2.06	1.74	1.94	消費税5%実施
2014（平成26）. 4. 1	140	2.83	2.91	2.86	2.83	2.91	2.86	消費税8%実施
2019（令和元）. 10. 1	150	1.84	1.87	1.85	1.84	1.87	1.85	消費税10%実施

※2023（令和5）.4.1から鉄道駅バリアフリー料金の収受を開始し、初乗運賃を160円に変更している。

混雑率の推移（最混雑区間1時間平均）

（単位:%）

	1985年度（昭和60）	1991年度（平成3）	2004年度（平成16）	2019年度（令和元）	2020年度（令和2）	2021年度（令和3）	2022年度（令和4）	2023年度（令和5）	2024年度（令和6）
混雑率	161.5	152.8	118.6	111.5	88.5	83.1	96.0	100.8	104.5

（注）最混雑区間1980年度～1991年度:姫島→淀川
1992年度～2008年度:淀川→野田
2009年度～:出屋敷→尼崎
混雑率の目安は、次のとおりです。
［100%］＝定員乗車。座席につくか、吊り革につかまるか、ドア付近の柱につかまることができる。
［150%］＝肩が触れ合う程度で、新聞は楽に読める。
［180%］＝体が触れ合うが、新聞は読める。
［200%］＝体が触れ合い、相当な圧迫感がある。しかし、週刊誌なら何とか読める。

設備投資実績額の推移

（単位:億円）

	輸送力増強工事	踏切及び運転保安工事	サービス改善工事	合　計
2020（令和2）年度	12	23	6	41
2021（令和3）年度	16	43	6	65
2022（令和4）年度	17	24	5	46
2023（令和5）年度	22	32	9	63
2024（令和6）年度	34	46	15	94

最高速度・運転間隔

最高速度

本　　線	直通特急・特急・区間特急・快速急行・急行・区間急行その他（回送、貸切など）	106km/h
	普通	91km/h
阪神なんば線	快速急行・準急・区間準急その他（回送、貸切など）	106km/h
	普通	106km/h
武庫川線	普通	45km/h
神戸高速線	直通特急・特急・普通	65km/h

運転間隔

本　　線	昼間時は直通特急(特急)・急行・普通	各10分間隔
	快速急行	20分間隔
阪神なんば線	午前ラッシュ時	12分間隔
	昼　間　時	10分間隔
	午後ラッシュ時	10分間隔
武庫川線	午前ラッシュ時	12分間隔
	昼　間　時	20分間隔
	午後ラッシュ時	10分間隔
神戸高速線	昼間時は直通特急（特急）・普通	各10分間隔
直通特急	午前ラッシュ時	12分間隔
	昼　間　時	10～20分間隔
	午後ラッシュ時	10分間隔
快速急行	午前ラッシュ時	12分間隔
	昼　間　時	20分間隔
	午後ラッシュ時	20分間隔

サービス・バリアフリー施設の整備状況

	駅名	エスカレーター	エレベーター	触知図式案内板(注1)	誘導チャイム(注1)	待合室	車いす対応トイレ(注1・2)	ベビーシート			ベビーチェア		
								車いす用	男性用	女性用	車いす用	男性用	女性用
本線	大阪梅田	6	3	○	○		○	○				○	○
	福島	3	3	○	○		○	○				○	○
	野田	3	3	○	○	2	○	○				○	○
	淀川		2	○	○	2	○	○				○	○
	姫島		2	○	○	2	○	○				○	○
	千船	1	3	○	○	2	○	○				○	○
	杭瀬	1	3	○	○	2	○	○				○	○
	大物	3	4	○	○	2	○	○					
	尼崎	6	4	○	○	4	○	○				○	○
	出屋敷	6	3	○	○	2	◎		○	○		○	○
	尼崎センタープール前	6	3	○	○	2	◎		○	○		○	○
	武庫川		2	○	○	3	○	○				○	○
	鳴尾・武庫川女子大前	2	2	○	○	2	○	○				○	○
	甲子園	2	5	○	○		○	○				○	○
	久寿川		2	○	○	2	○	○				○	○
	今津	6	2	○	○	2	◎			○		○	○
	西宮	10	7	○	○		◎			○		○	○
	香櫨園	2	2	○	○	2	◎			○		○	○
	打出		2	○	○	2	○	○				○	○
	芦屋	2	2	○	○	2	○	○				○	○
	深江	6	3	○	○	2	○	○				○	○
	青木	6	3	○	○	2	○	○				○	○
	魚崎	4	3	○	○	2	○	○				○	○
	住吉											○	○
	御影	1	3	○	○		◎	○				○	○
	石屋川		1	○	○	1	○	○				○	○
	新在家	3	2	○	○	2	○	○				○	○
	大石	3	3	○	○	2	◎		○	○		○	○
	西灘	2	2	○	○	2	◎	○				○	○
	岩屋	2	2	○	○		◎		○	○		○	○
	春日野道	2	4	○	○		○	○				○	○
	神戸三宮	6	4	○	○		○	○				○	○
	元町	3	2	○	○		○	○				○	○
	小計	26駅 97基	32駅 91基	32駅	32駅	23駅 48室	32駅	25駅	4駅	7駅		32駅	32駅

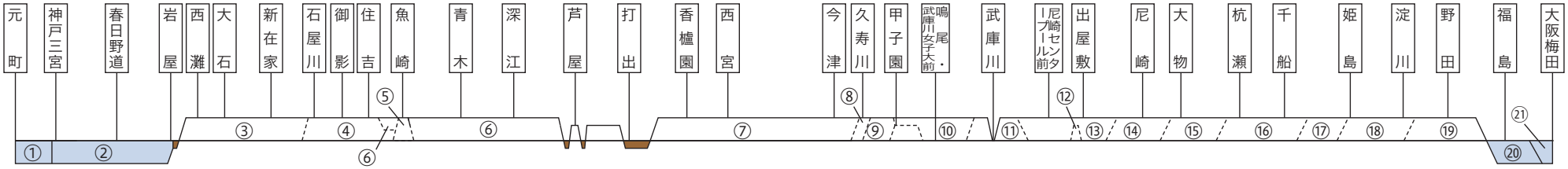
	駅名	エスカレーター	エレベーター	触知図式案内板(注1)	誘導チャイム(注1)	待合室	車いす対応トイレ(注1・2)	ベビーシート			ベビーチェア		
								車いす用	男性用	女性用	車いす用	男性用	女性用
阪神なんば線	大阪難波	16	3	○			○	○	○	○		○	○
	桜川	4	5	○	○		○	○				○	○
	ドーム前	11	2	○	○		○	○				○	○
	九条	5	3	○	○		○	○				○	○
	西九条	13	6	○	○	2	○	○				○	○
	千鳥橋		2	○	○	2	◎	○	○	○		○	○
	伝法		2	○			○	○					
	福			○			○	○			○		
	出来島	3	3	○	○	2	◎	○		○		○	○
	小計	6駅 52基	8駅 26基	9駅	6駅	3駅 6室	9駅	9駅	2駅	3駅	1駅	7駅	7駅
武庫川線	東鳴尾												
	洲先												
	武庫川団地前		※	○	○	1	○	○				○	○
	小計			1駅	1駅	1駅 1室	1駅	1駅				1駅	1駅
神戸高速線	西元町		2	○	○		○	○				○	○
	高速神戸	2	3	○	○		○	○	○	○		○	○
	新開地(注3)	2	3	○	○		◎		○	○		○	○
	大開		3		○		○	○			○	○	○
	高速長田		2	○	○		○					○	○
	西代	2	4	○	○		◎						
	小計	3駅 6基	6駅 17基	5駅	6駅		6駅	3駅	2駅	2駅	1駅	5駅	5駅
	合計	35駅 155基	46駅 134基	47駅	45駅	27駅 55室	48駅	38駅	8駅	12駅	2駅	45駅	45駅

(注1)○印は設置を示します。
(注2)◎は男女別の設置を示します。
(注3)新開地は南北線の施設を除きます。
大阪難波は近鉄との共同使用駅、西代は山陽との共同使用駅、高速神戸は阪急との共同使用駅、新開地は阪急・神鉄との共同使用駅です。
※スロープにより、移動円滑化基準に適合しています。

立体化

●立体化の状況

本　線

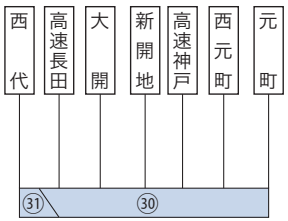


凡例

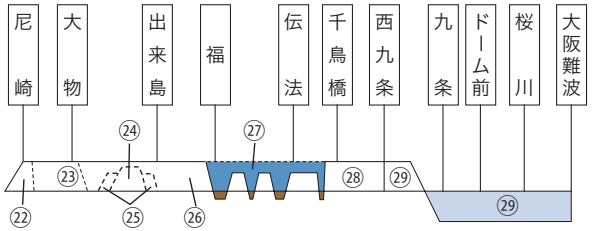
	計画高架区間
	既設高架区間（盛土を含む。）
	既設地下化区間（切土を含む。）
	地平区間
	現在施工中区間

立体化率
- 本線　95%
- 阪神なんば線　90%
- 武庫川線　0%
- 神戸高速線　100%

神戸高速線



阪神なんば線



番号	場所	立体化開通年月	除去又は除却予定の踏切道数
①	元町～神戸三宮間	1936（昭11）. 3	0（地下線新設）
②	神戸三宮～岩屋間	1933（昭 8）. 6	0（併用線を地下線で専用軌道化）
③	西灘～石屋川間	1967（昭42）. 7	16※
④	石屋川～住吉間	1929（昭 4）. 7	0（併用線を高架線で専用軌道化）
⑤	住吉川左右岸	1992（平 4）. 3	2※
⑥	住吉～芦屋間	2019（令元）. 11	11※
⑦	堀切川～久寿川間	2001（平13）. 3	16※
⑧	久寿川駅付近	1986（昭61）. 6	2※
⑨	久寿川～甲子園間	1983（昭58）. 1	1※
⑩	甲子園～武庫川間	2017（平29）. 3	6※
⑪	武庫川～尼崎センタープール前間	1970（昭45）. 5	0※
⑫	蓬川付近	1969（昭44）. 8	1
⑬	武庫川～尼崎間	1994（平 6）. 1	7※
⑭	尼崎駅付近	1964（昭39）. 2	3※
⑮	大物～杭瀬間	1977（昭52）. 4	5※
⑯	杭瀬～千船間	1977（昭52）. 4	7
⑰	千船～姫島間	1977（昭52）. 2	2※
⑱	姫島～淀川間	1967（昭42）. 12	5
⑲	淀川～福島間	1961（昭36）. 11	6※
⑳	野田～大阪梅田間	1993（平 5）. 9	6※
㉑	大阪梅田駅付近	1939（昭14）. 3	0（地下線新設）

番号	場所	立体化開通年月	除去又は除却予定の踏切道数
㉒	尼崎駅付近	1964（昭39）. 2	2※
㉓	尼崎～出来島間	1978（昭53）. 3	1※
㉔	佃付近	1980（昭55）. 1	1※
㉕	神崎川付近	1964（昭39）. 6	3
㉖	大物～福間	1998（平10）. 9	3※
㉗	出来島～千鳥橋間	工事中	5※
㉘	千鳥橋～西九条間	1964（昭39）. 5	0（高架線新設）
㉙	西九条～大阪難波間	2009（平21）. 3	0（高架線・地下線新設）
㉚	西代～元町間	1968（昭43）. 4	0（地下線新設）
㉛	西代駅付近	1995（平 7）. 6	0

（注）・※は工事の全部又は一部が都市計画事業であることを示します。
・③本線西灘～石屋川間の高架は、1995（平成7）年1月の阪神大震災による損壊のため、1995（平成7）年6月再建

踏切道一覧

【本線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
元町～岩屋	（地下線）			
		m		
岩屋	○	6.0	神戸市	神戸市灘区岩屋北町２丁目1-1
西灘～住吉～魚崎～深江	（高架線）			
芦屋川西岸	○	6.7	芦屋市	芦屋市川西町14
芦屋				
芦屋駅	○	8.0	兵庫県	〃　公光町11
打出若宮町	○車　禁※	5.5	芦屋市	〃　打出小槌町57-1
打出				
打出駅	○	4.9	芦屋市	〃　打出小槌町20
打出南宮町	○	17.8	〃	〃　春日町４
打出東口	○車　禁※	5.9	〃	〃　春日町12
打出春日町	○	5.4	〃	〃　春日町18
香櫨園～武庫川	（高架線）			
武庫川駅	○	8.2	尼崎市	尼崎市大庄西町１丁目１
尼崎センタープール前～野田	（高架線）			
野田～福島～大阪梅田	（地下線）			

【阪神なんば線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
尼崎～出来島	（高架線）			
		m		
福駅西	○	7.0	大阪市	大阪市西淀川区福町３丁目４
福	（◎高架線建設中）			
福駅東	○	13.6	大阪市	〃　〃　福町３丁目２
淀川西岸	○	5.5	〃	〃　〃　福町１丁目５
淀川東岸	○	5.5	〃	〃　此花区伝法３丁目13-16
伝法				
正蓮寺川西岸（※阪神なんば線淀川改築工事のため停止中）	○	7.7	大阪市	〃　〃　伝法４丁目1-7
千鳥橋～西九条～九条～大阪難波	（高架線） （地下線）			

【武庫川線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
武庫川団地前		m		
上田	○	6.0	西宮市	西宮市上田東町4-1
入江南	○	6.3	〃	〃　上田東町4-11
洲先				
鳴尾南	車　禁	2.0	私	〃　東鳴尾町２丁目17
東鳴尾	○	6.5	西宮市	〃　東鳴尾町２丁目12
東鳴尾				
川添南	○	9.0	西宮市	〃　東鳴尾町１丁目７
川添	車　禁	2.0	私	〃　東鳴尾町１丁目３
小松	車　禁	2.0	〃	〃　武庫川町２丁目
武庫川				
※武庫川駅第２	車　禁	2.0	私	〃　小松南町１丁目13
※武庫川駅第１	車　禁	2.5	〃	〃　小松南町１丁目17-13

【神戸高速線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
西代～元町	（地下線）			

（注）・踏切道一覧表中、検知装置欄の○は、踏切障害物検知装置設置踏切道を、また、車禁は車両通行禁止（※は、二輪自動車は通行可）の踏切道を示します。
・踏切道一覧表中、踏切道名の欄の※は、営業路線外の踏切道を示します。
・◎は都市計画事業を示します。

踏切道数等・信号保安設備・ATS

踏切数・踏切保安装置

線別	踏切種別	踏切道数	自動遮断機	警報機	踏切障害物検知装置	踏切支障報知装置	発光信号器
本線	第一種甲	9か所	34基	22基	9か所	9か所	28台
阪神なんば線※	第一種甲	5	16	11	5	5	13
武庫川線	第一種甲	9	28(2)	19(1)	4	7	14
合計		23	78(2)	52(1)	18	21	53

(注) ・自動遮断機、警報機は、武庫川線東鳴尾駅構内渡線道を含みます。( )内が東鳴尾駅構内渡線道の数字で内数
・第一種甲踏切…自動遮断機を設置するか、踏切保安係を配置し、全列車について遮断機で交通を遮断する踏切で、保安度が最も高いものです。
※ 停止中の踏切道を含む。

信号保安設備

	信号機					
	閉そく	場内	出発	中継	入換	誘導
本線	156基	40基	66基	34基	149基	55基
阪神なんば線	39基	9基	10基	12基	7基	3基
武庫川線		2基	4基	1基	4基	
神戸高速線	26基	10基	9基		8基	

	連動装置		電気転てつ機	駅誤通過防止装置
	第1種電気継電	第1種電子		
本線	2か所	14か所	177台	20か所
阪神なんば線	2か所	1か所	11台	5か所
武庫川線	1か所		3台	
神戸高速線		2か所	18台	2か所

自動列車停止装置（ATS）

	自動列車停止装置	
	閉そく	構内
本線	156基	16か所
阪神なんば線	39基	3か所
武庫川線		1か所
神戸高速線	26基	2か所
本線、阪神なんば線(桜川以西)、武庫川線	方式は高周波連続誘導階段制御方式で、照査速度は20km/h・30km/h・50km/h・70km/h・110km/hの5段階	
神戸高速線	高周波連続誘導階段制御方式で、照査速度は20km/h・30km/h・50km/h・70km/hの4段階	
阪神なんば線(桜川～大阪難波間)	点制御多変周式(車上連続速度照査)で、照査速度は0km/h・30km/h・45km/h・65km/h・フリーの5段階。点制御デジタル符号伝送式(車上連続速度照査)は駅間最高速度制限に使用	

主な保線用機械・線路

主な保線用機械

機械名		保有台数	仕様	用途
軌道モーターカー		2	25t	レール運搬車などのけん引
軌道モーターカー		1	20t	〃
レール運搬車	台車	2	40t	レール運搬作業
	制御車	1		
ダンプトロリー	台車	3	27㎥	砕石運搬作業
	制御車	1		
材料運搬車	台車	2	40t	材料運搬作業
	制御車	1	10t	
作業用トロリー		2	10t	資機材運搬作業

橋梁

線別	数	延長(m)
本線	170	4,120
阪神なんば線	56	2,385
武庫川線	1	10
合計	227	6,515

(注) 橋梁は橋台面間の距離が1.00m以上の橋を示します。

主な橋梁

線別	橋梁名	延長(m)
阪神なんば線	安治川	89
本線	淀川	778
阪神なんば線	〃	758
本線	神崎川	185
阪神なんば線	〃	194
本線	左門殿川	148
阪神なんば線	〃	145
本線	蓬川	72
本線	武庫川	196
本線	芦屋川	60

トンネル

線別	場所	延長(m)
本線	岩屋～元町間	3,325
	大阪梅田～福島西方間	1,634
	岩屋駅付近	34
阪神なんば線	大阪難波～九条間	2,867
神戸高速線	元町～西代間	4,937
合計		12,797

線路敷設延長

線別		本線	阪神なんば線	武庫川線	神戸高速線	合計
区間		大阪梅田～元町	大阪難波～尼崎	武庫川～武庫川団地前	元町～西代	
営業許可キロ程		32.1km	10.1km	1.7km	5.0km	48.9km
軌間		1,435mm	1,435mm	1,435mm	1,435mm	
本線延長	単線	0m	0m	1,730m	0m	1,730m
	複線	32,225m	10,216m	0m	5,025m	47,466m
	合計	32,225m	10,216m	1,730m	5,025m	49,196m

主なグループ会社

●神戸六甲鉄道株式会社

六甲ケーブル(ケーブルカー)や六甲山上バスなど、六甲山麓エリアと都心部を結ぶ路線を運行している鉄道会社です。六甲山アスレチックパークGREENIAをはじめとする、六甲山観光㈱の各施設への来場も支えており、人々と六甲山をつないでいます。

六甲ケーブル

六甲ケーブルは、神戸市灘区の「六甲ケーブル下駅」と標高737mの「六甲山上駅」間、全長約1.7kmを結びます。六甲山上駅からは、六甲山上バス、六甲有馬ロープウェーを経由して、有馬温泉方面へアクセスでき、観光や登山の玄関口として親しまれています。

また、2025年1月から2期2か年にわたる車両リニューアル工事及びケーブルカー施設の改修工事を行っており、同年4月12日に第1期工事が完了し、リニューアルした車両(1編成2両)を運行しています。なお、2025年冬期に第2期工事を実施する予定です。

六甲山上バス

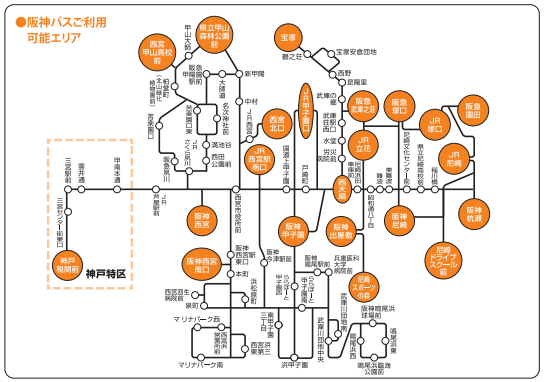
観光バスとして神戸市の六甲山エリアを巡り、六甲ケーブル山上駅を起点に、六甲山及び摩耶山の主要な観光スポットを結んでいます。

●阪神バス株式会社

尼崎市、西宮市を中心に運行する一般路線バス、大阪国際(伊丹)空港、関西国際空港と阪神間の拠点を結ぶ空港リムジンバス、大阪・神戸から中国・四国方面を結ぶ高速バスに加え、貸切バスまでを幅広く運営するバス会社です。

一般路線バス

尼崎市と宝塚市、西宮市と神戸市など、市域を跨いで阪神間の都市をつなぐ「阪神線」及び、尼崎市内をきめ細かくカバーする「尼崎市内線」(2016年3月に旧尼崎市交通局から事業譲受け)を運行しています。


●阪神バスご利用可能エリア
神戸特区
宝塚
西宮
JR西宮駅
阪神西宮
阪神甲子園
阪神尼崎
JR尼崎
阪急園田
阪神武庫川
阪急武庫川
JR武庫川
阪神西宮東口
阪神西宮南口
阪神芦屋
阪神岩屋
阪神魚崎
阪神ドリームスタジアム前
阪神甲子園口
阪神神戸三宮
阪神元町
阪神ハーバーランド
阪神新開地
阪神高速神戸線
阪神高速湾岸線
阪神高速北神線
阪神高速大阪湾岸道路
阪神高速阪神高速道路
阪神高速阪神高速道路
阪神高速阪神高速

●株式会社阪神ステーションネット

阪神電車の駅サービス事業会社として、駅をご利用いただくお客さまに様々なサービスを提供しています。また、駅から沿線へ、沿線から街へと事業領域を拡大し、阪神沿線の価値向上に取り組んでいます。

サイクルビジネス事業（駐輪場・シェアサイクル）

阪神沿線で駐輪場を運営しています。また、シェアサイクル「HELLO CYCLING」を沿線自治体と連携し展開しています。

このほか、尼崎市南部地域や神戸市東部地域などにおいて、駐輪場指定管理・放置自転車対策業務を受託しています。

・直営駐輪場（14 か所）、シェアサイクル（97 ステーション）
［営業所］　尼崎・神戸

トラベルサービス事業（阪神アイビートラベル）

阪神アイビートラベルでは、以下の企画旅行や商品などを取り扱っています。

・近鉄直通特急貸切ツアー（神戸三宮から伊勢へ　ほか）
・阪神タイガースキャンプツアー
・甲子園歴史館ツアー
・国内・海外パッケージツアー、各種バスツアー
・航空券・JCB ギフトカード・QUO カード
［営業所］野田

ステーションサービス事業（定期券販売・サービスセンター）

阪神電車・阪神バス・神戸市バスの定期券を販売しています。

阪神電車サービスセンターでは、観光情報を多言語でご案内しています。

・定期券発売所　大阪梅田・西宮・神戸三宮
・サービスセンター　西宮・神戸三宮

チケットビジネス事業（宝くじ・スポーツくじの販売）

阪神ドリームプラザでは、ジャンボ宝くじ・ロト・ナンバーズなどの宝くじやtoto・BIGなどのスポーツくじを販売しています。

・阪神ドリームプラザ　大阪梅田・尼崎・西宮ほか（計 8 店）

●阪神車両メンテナンス株式会社

鉄道車両の定期検査や整備、清掃、設計・製作・改造・修理・販売、さらに車両用品の製作・販売など、多岐にわたる業務を行う鉄道車両整備会社です。「輸送の安全・安心・快適」を追求し、社会に貢献しています。

不動産事業

不動産事業では、沿線を中心に、
賃貸などの事業を展開しています。

不動産賃貸

●大人の過ごす街、西梅田

ハービスOSAKA/ハービスENT

当社の「西梅田開発」において誕生した超高層ビル「ハービスOSAKA」と「ハービスENT」。「上質な大人の街」をテーマに開発した西梅田地区を象徴する存在として、1997年3月に開業したハービスOSAKAには、ラグジュアリーホテルの「ザ・リッツ・カールトン大阪」(同年5月開業)が、2004年11月に開業したハービスENTには、劇団四季の専用劇場「大阪四季劇場」(翌年1月開業)や、ライブレストラン「ビルボードライブ大阪」といったエンタテインメント施設がそれぞれ入居しており、大人が楽しめる街としての機能を高めています。

＜ハービスOSAKA＞

ハービスOSAKAは、ハービスPLAZA、ハービスホール、ザ・リッツ・カールトン大阪及びオフィスで構成されています。

ハービスPLAZA

約50の物販・飲食店舗、サービス施設等を集積した商業及びオフィスサポート・ゾーンです。

施設構成	ファッション、レストラン、インテリアのショールーム、クリニック、貸会議室など	
店舗面積	物販	約 2,500㎡
	飲食	約 3,400㎡
	サービス	約 1,900㎡
営業時間	ショッピングフロア	11:00～20:00
	レストランフロア	11:00～22:30
お問合せ	☎（06）6343 － 7500（代）	

※一部営業時間の異なる店舗あり

ハービスホール

ファッションショー、展示会など様々なニーズに対応できる、最新設備のそろったホールです。

施設構成	大ホール	914㎡
	小ホール	262㎡
	ホワイエ	約 500㎡
お問合せ	☎（06）6343 － 7800	

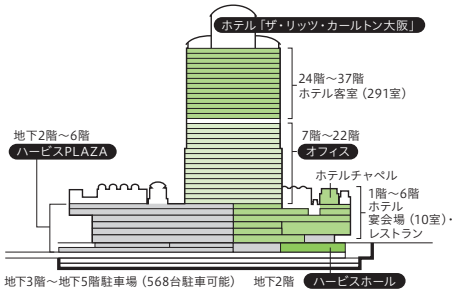
オフィス

基準階	7階～22階
エントランスロビー	地下2・1階、1階

ザ・リッツ・カールトン大阪

米国本拠のザ・リッツ・カールトンが運営するラグジュアリーホテルで、㈱阪神ホテルシステムズが経営しています。

施設構成	客室291室、宴会場10室、結婚式場・チャペル、フィットネスクラブ、和・洋・中レストランなど



＜ハービスENT＞

ハービスENTは、ハービスPLAZA ENT、大阪四季劇場、ビルボードライブ大阪及びオフィスで構成されています。

ハービスPLAZA ENT

物販・飲食・サービス店舗の約70店舗と、エンタテインメント施設として大阪四季劇場とビルボードライブ大阪を集積した商業ゾーンです。

施設構成	ファッション、ジュエリー、生活雑貨、レストラン、ヘアサロン、リラクゼーション、エステティック、劇場、ライブレストランなど	
店舗面積	物販	約 10,400㎡
	飲食	約 5,300㎡
	サービス	約 4,000㎡
	劇場	約 6,000㎡
	ライブレストラン	約 1,100㎡
営業時間	ショッピングフロア	11:00～20:00
	レストランフロア	11:00～23:00
	ビューティー＆スクールフロア	11:00～21:00
お問合せ	☎（06）6343 － 7500（代）	

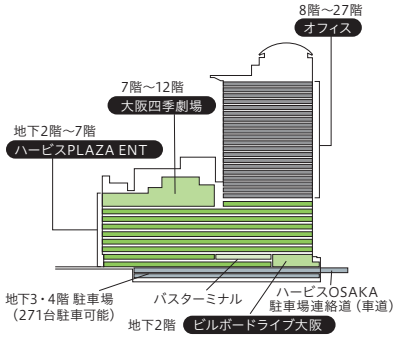
※一部営業時間の異なる店舗あり

オフィス

基準階	8階～27階
エントランスロビー	地下2・1階、1階

大阪四季劇場

ハービスENTのシンボル的な施設。劇団四季の専用劇場としてハービスPLAZA ENTの7～12階に位置し、延床面積は約6,500㎡。二層構造で約1,200席の客席部分やロビー、ホワイエ等は、赤・金・黒の3色を基調とした環境デザインで、観劇への期待感を醸し出しています。



●大阪梅田ツインタワーズ・サウス

大阪神ビルディングと新阪急ビルを一体的に建て替えた「梅田1丁目1番地計画」により誕生した「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、2022年2月に全体竣工、同年3月に全面開業しました。

オフィスゾーンのほか、「阪神梅田本店」が入居する百貨店ゾーン、「梅田サウスホール」を中心とするカンファレンスゾーンからなる本建物の開発では、周辺公共施設整備も一体的に行うことで、都市機能の高度化、防災機能の強化、公共的空間の創出、良好な景観形成等を通じ、国際競争力の強化に資する快適で質の高い街づくりを進めました。

＜大阪梅田ツインタワーズ・サウス＞

施設構成	百貨店（阪神梅田本店）、オフィス、ホール等

百貨店ゾーン

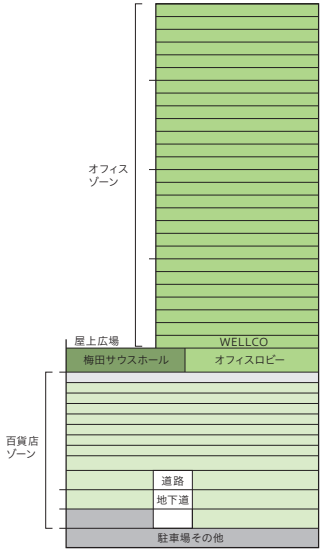
階　　数	地下２階～地上９階
店舗面積	約 53,000㎡

オフィスゾーン

施設構成	オフィスエントランス	地下１階、１階
	オフィスワーカー専用フロア「WELLCO」	12 階
	基準階	13 ～ 38 階

カンファレンスゾーン

施設構成	大ホール	882㎡
	小ホール	180㎡
	ホワイエ	641㎡
お問合せ	☎（06）6343 － 7800	



COLUMN

オフィスワーカー専用フロアWELLCO（ウェルコ）

オフィスコンセプトの実現に向けて、適切な休息やオフィスワーカー同士の交流を通じた学びが心身の調和と活力の向上をもたらし、創造性豊かな仕事につながる好循環を生み出すという考えの下、「よく休み、よく働き、よく学ぶ」ことができる機能を集積します。

健康的な食事ができる「カフェ」やミーティングから個人ワークまで多様なニーズに応える「ラウンジ＆ワークスペース」、リフレッシュや運動不足解消に使える「ウェルネスゾーン」で構成され、利用者のお困りごとを解決するコンシェルジュも常駐します。

ラウンジ

●梅田エリアの魅力向上に向けた取組み

当社では、阪急阪神不動産㈱と連携し、梅田エリアの魅力向上に向けた取組みを推進しており、大阪梅田エリアの価値向上に向けた構想「梅田ビジョン」に基づき、各施策に取り組んでいます。

＜梅田ビジョンの基本方針＞

国際的な都市間競争を勝ち抜くための“独自価値”	基本方針①	共創により新しい価値が生まれる街づくり
	基本方針②	出会いと交流を促進する街づくり
	基本方針③	多様な人々と企業が集う活力ある街づくり
ニューノーマル時代の都市として必要な“基本価値”	基本方針④	最先端の技術等を活用して新たな価値を提案する街づくり
	基本方針⑤	持続可能な街づくり
都市の魅力を世界に向けて発信	基本方針⑥	世界に向けた戦略的な情報発信

＜基本方針に基づく具体的な取組み＞

梅田地区のエリアマネジメント

◆梅田地区エリアマネジメント実践連絡会の活動

UMEDA MEETS HEART（2024）

地域の関係者や官民が一体となって街全体の魅力を向上させる「エリアマネジメント」。当社では、阪急電鉄やJR西日本などと構成する「梅田地区エリアマネジメント実践連絡会」への参画などを通じて、梅田地区の価値向上に取り組んでいます。具体的には、UMEDA MEETS HEARTや梅田ゆかた祭など、道路や公開空地などの公共空間を会場として活用したイベントのほか、歩いて楽しいまちづくりを目指す「Walkable　UMEDA構想」実現に向けた滞留空間形成等の企画・実施を行うなど、梅田地区各エリアの活性化を図っています。

都市プロモーション・ブランディング

関係機関などと連携し、梅田エリアの商業施設に幅広く国内外の人々を誘客するとともに、ビジネスエリアとしての「梅田」の認知度向上に向けた取組みを推進しています。

DMO Osaka Umeda

DMO大阪梅田の設立（2023）

梅田周縁部（フリンジ）での新たな取組み

中津、大阪駅前ビル等のフリンジエリアが持つ魅力を活かした新たな取組みを行っており、このうち当社では、オフィスビルや商業施設などでにぎわうJR大阪駅南側のダイヤモンド地区（※）内の公共空間を利用し、にぎわい創出に向けたエリアイベントを開催しています。

※　JR大阪駅南側の大阪駅前線と御堂筋、四つ橋筋、国道２号に囲まれた五角形の地区

大阪ダイヤモンドフェスタ

環境への取組み

オフィスビルや商業施設での環境対策

当社では、サステナビリティ宣言の下、その重要テーマの一つとして「環境保全の推進」に注力していますが、その一環として、大阪梅田ツインタワーズ・サウス※1、ハービスOSAKA、ハービスENTなど大阪梅田地区及び沿線のオフィスビルや商業施設など※2において、実質的な再生可能エネルギー由来の電力を導入しています。

対象物件を順次拡大しており、2025年度からは大阪梅田地区及び沿線で運営するオフィスビル・商業施設などにおける電力使用量※3の大部分を再エネ電力に置き換えました。

ハービスENT

※1　テナント専用部の一部を除く。
※2　建替・再開発予定の物件、使用電力が極めて小さい物件など、一部の物件を除く。
※3　ガスコージェネレーションシステムによる自家発電分を除く。

NISHIUMEDA CANDLE DAYS

西梅田地区で、「NISHIUMEDA CANDLE DAYS実行委員会」に参画し、「NISHIUMEDA CANDLE DAYS」を開催しています。

この取組みは、各地区の企業、地域団体及び行政が集い、夜8時から10時までの2時間、電気を消して、キャンドルを灯し、いつもと違う街を歩くことで、街に集う人々が都市と共生し、持続可能な暮らしや地球環境について考えてもらうきっかけとするものです。

NISHIUMEDA CANDLE DAYS

「梅田ゆかた祭」における打ち水イベント

梅田地区エリアマネジメント実践連絡会を中心として、日本文化・環境をテーマに、様々なコンテンツを展開する「梅田ゆかた祭」。このイベントにおいて、2012年からお客さま参加型の打ち水イベントを実施し、梅田地区に集う人々の環境意識の向上に貢献しています。

梅田ゆかた祭

清掃活動（ダイヤモンド地区／西梅田地区）

当社などで構成する大阪ダイヤモンドシティ（ODC）協議会及び西梅田地区開発協議会では、各地区における振興・発展を目的として、にぎわい形成のためのエリアイベントや合同防災訓練など様々な取組みを行っており、その一環として、毎月同地区内で清掃活動を実施し、街の美化に貢献しています。

清掃活動

●高架下の主な賃貸物件

商業施設

商業施設名	所在地	賃貸可能面積（㎡）
エビスタ西宮	西宮市田中町	32,815
アバリーナ千船	大阪市西淀川区佃	5,833
AMASTA AMASEN（アマスタアマセン）	尼崎市神田中通	5,527
出屋敷アマトラ横丁	尼崎市竹谷町	4,824
エキーマ今津	西宮市今津曙町	4,361
Yotte杭瀬	尼崎市杭瀬本町	2,961
野田アプラ	大阪市福島区海老江	2,398
大物グリーンプラザ	尼崎市大物町	2,314
香櫨館	西宮市市庭町	1,764

事務所・店舗等

名　称	所在地	賃貸可能面積（㎡）	用　途
姫島高架下設備	大阪市西淀川区姫里	14,052	事務所、店舗、駐車場
尼崎センタープール高架下設備	尼崎市道意町	8,891	店舗、駐車場
出来島-福間高架下設備	大阪市西淀川区出来島	8,633	店舗、駐車場
千船高架下設備	大阪市西淀川区佃	8,207	事務所、店舗、駐車場
石屋川車庫高架下設備	神戸市東灘区御影塚町	7,679	事務所、店舗
野田高架下設備	大阪市福島区海老江	7,370	事務所、店舗、駐車場
御影高架下設備	神戸市東灘区御影本町	6,091	事務所、店舗、駐車場
杭瀬高架下設備	尼崎市杭瀬本町	5,409	事務所、店舗、駐車場
住吉-魚崎間高架下設備	神戸市東灘区魚崎西町	5,363	店舗、駐車場
西宮-今津間高架下設備	西宮市染殿町	5,362	駐車場
新在家-石屋川間高架下設備	神戸市東灘区御影塚町	5,187	事務所、駐車場
野田工具街（淀川-野田間）	大阪市福島区海老江	5,138	事務所、店舗
西九条駅部高架下設備	大阪市此花区西九条	4,962	店舗
大石-新在家間高架下設備	神戸市灘区大石東町	4,837	事務所、店舗、駐車場
大物-出来島間高架下設備	尼崎市大物町	4,654	事務所、駐車場
武庫川高架下設備	尼崎市大庄西町	4,388	事務所、店舗、駐車場

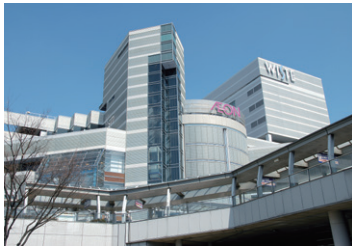
都市交通事業
不動産事業
スポーツ・エンタテインメント事業
情報・通信事業
ホテル事業
建設・環境事業
魅力あふれる沿線へ
サステナビリティの取組み
資料

●主な賃貸用建物

名　称	所在地	規模	賃貸可能面積（㎡）	主な用途	完成年月
大阪梅田ツインタワーズ・サウス	大阪市 北区梅田	地下3階 地上38階建て 塔屋2階	194,400	オフィス、百貨店（阪神百貨店） ホール	2022. 2 （令 4）
梅田阪神第1ビルディング（ハービスOSAKA）	大阪市 北区梅田	地下5階 地上40階建て 塔屋1階	82,145	事務所、商業施設、ホール、 ホテル（ザ・リッツ・カールトン大阪）	1997. 3 （平 9）
梅田阪神第2ビルディング（ハービスENT）	大阪市 北区梅田	地下4階 地上28階建て 塔屋2階	54,527	事務所、商業施設、劇場	2004.11 （平 16）
野田阪神ビルディング（ウイステ）	大阪市 福島区海老江	10階建て	47,085	商業施設、事務所、駐車場	1992. 4 （平 4）
ロジスタ大東	大東市 新田北町	5階建て	23,154	物流倉庫	2016. 8 （平 28）
福島阪神ビルディング	大阪市 福島区福島	地下1階 地上14階建て	13,901	事務所	1987.12 （昭 62）
三宮阪神ビルディング	神戸市 中央区小野柄通	地下4階 地上7階建て	13,672	百貨店（神戸阪急）	1933. 9 （昭 8）
福島阪神NK共同ビル	大阪市 福島区福島	地下1階 地上12階建て	10,223	ホテル、店舗、診療所、 駐車場	2019. 4 （平 31）
元町阪神ビルディング	神戸市 中央区元町通	地下1階 地上9階建て	7,868	場外馬券売場（JRA）	1987. 5 （昭 62）
阪神野田センタービルディング	大阪市 福島区海老江	18階建て	5,647	事務所、商業施設	1999. 2 （平 11）
尼崎神田北通阪神ビル	尼崎市 神田北通	10階建て	5,078	ホテル	2017. 9 （平 29）

ハービスOSAKA

エビスタ西宮



ウイステ

甲子園プラス

名　称	所在地	規模	賃貸可能面積（㎡）	主な用途	完成年月
阪神産経桜橋ビル	大阪市 北区梅田	地下2階 地上11階建て	4,779	事務所、商業施設	1998. 3 （平 10）
千船クリニックス	大阪市 西淀川区佃	地下1階 地上4階	4,779	事務所	2004. 6 （平 16）
甲子園アルカス	西宮市 甲子園七番町	地下1階 地上2階建て	4,005	商業施設	1991. 3 （平 3）
甲子園プラス	西宮市 甲子園町	3階建て	3,526	商業施設、甲子園歴史館	2022. 3 （令 4）
上田東町商業施設	西宮市 上田東町	2階建て	2,977	商業施設	2007. 7 （平 19）
阪神神明ビルディング	大阪市 北区西天満	9階建て 塔屋1階	2,653	事務所、店舗	1977.11 （昭 52）
鳴尾駅前阪神ビル	西宮市 里中町	2階建て	2,294	商業施設	2020. 9 （令 2）
出屋敷リベル	尼崎市 竹谷町	地下2階 地上12階建て	1,941	商業施設	1990. 3 （平 2）
鳴尾阪神ビル	西宮市 上鳴尾町	2階建て	1,923	事務所	1970. 6 （昭 45）
千鳥橋駅北建物	大阪市 此花区四貫島	平屋建て	1,811	商業施設	2013. 3 （平 25）
元町鯉川阪神ビル	神戸市 中央区北長狭通	8階建て	1,740	クリニック、商業施設	1990. 8 （平 2）
千鳥橋駅前西館	大阪市 此花区四貫島	4階建て	1,671	病院	1982. 7 （昭 57）
出入橋阪神ビル	大阪市 福島区福島	2階建て	1,498	ホテル	2017.10 （平 29）
西宮市甲子園七番町建物	西宮市 甲子園七番町	2階建て	1,257	店舗	1985. 3 （昭 60）

阪神神明ビル

阪神産経桜橋ビル

福島阪神NK共同ビル

●主な賃貸用土地

名　称	所在地	賃貸先	賃貸面積（㎡）	用途
ららぽーと甲子園（信託受益権）	西宮市甲子園八番町	三井不動産㈱	126,052	物販店舗他
浜田社有地	尼崎市大庄川田町	㈱K&K	19,740	自動車販売用店舗他
コーナン清須東店	愛知県清須市	コーナン商事㈱	14,434	物販店舗
神戸市東灘区深江浜土地	神戸市東灘区深江浜町	吉田海運㈱	3,766	事務所、倉庫

●主な転貸物件

名　称	所在地	規模	転貸面積（㎡）	用途	所有者	営業開始年月
阪神杉村ビルディング（ラグザタワー）	大阪市福島区福島	地下２階 地上24階建て 塔屋２階	32,641	ホテル 商業施設 事務所	㈱杉村倉庫 三菱UFJ信託銀行㈱	1999.3（平11）
西宮高須町土地	西宮市高須町	―	11,462	―	西宮市	2021.3（令　3）

〈管理委託先〉

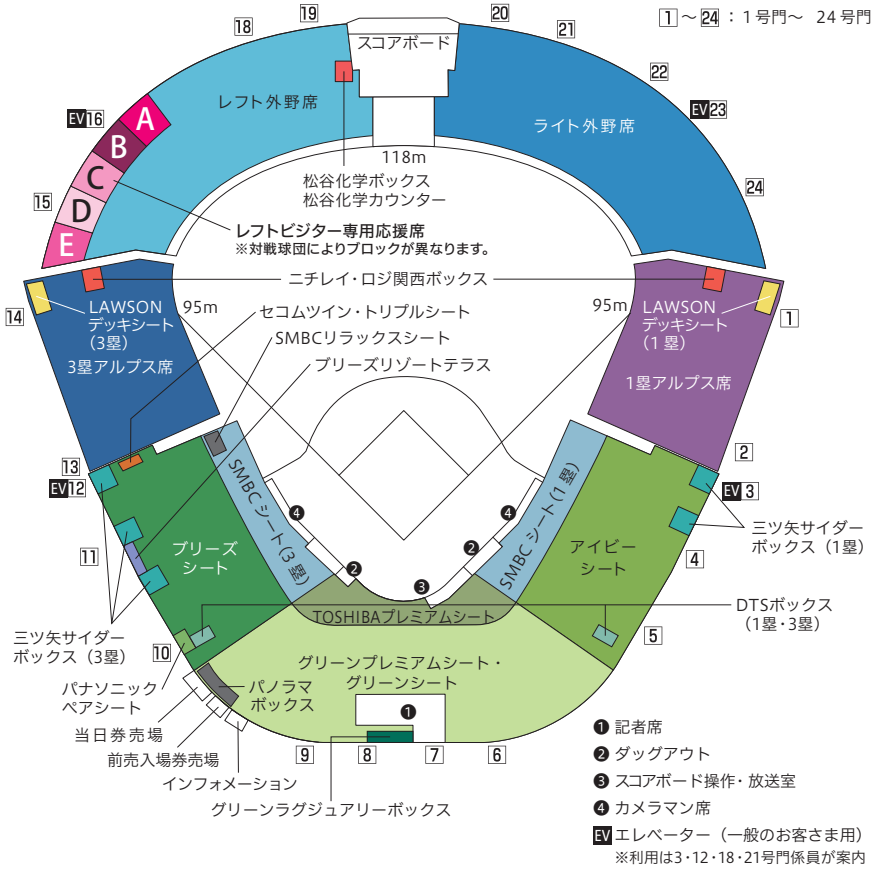
阪急阪神ビルマネジメント㈱	〒530-0012 大阪市北区芝田１丁目１番４号 阪急ターミナルビル	
	オフィス営業部（13階）	☎（06）6372－7863
	SC第二（沿線）営業部（8階）	☎（06）6372－7831
	沿線営業部（8階）	☎（06）6372－7851
	〒530-0001 大阪市北区梅田２丁目５番25号ハービスOSAKA2階 サービスオフィス	
	SC第一（梅田）営業部	☎（06）6343－7528

スポーツ・エンタテインメント事業

スポーツ・エンタテインメント事業では、阪神タイガースや阪神甲子園球場のベースボール事業、ビルボードライブ等の音楽事業、六甲山上のレジャー事業などを通して、お客さまに夢・感動をお届けしています。

阪神甲子園球場～施設概要～

●阪神甲子園球場平面図



所　在　地	〒663－8152　西宮市甲子園町1番82号 ☎（0798）47－1041㈹　☎050－5527－2512（試合に関する問合せ用）
開　　設	1924（大正13）年8月1日
規　　模	面　　積：総面積　約38,500㎡（グラウンド　約13,000㎡） ホームプレートからの距離：レフト・ライト　95m　　センター　118m スタンド：高さ　15m　　収容人員　47,359人 内野席　　グリーンシート　35段　　TOSHIBAプレミアムシート　14段 アイビー・ブリーズシート　40段　　SMBCシート（1・3塁）　15段 アルプス席　63段　　外野席　52段 照　明　灯：6基（バッテリー間　2,500ルクス）
年間諸行事	春・夏の高校野球、プロ野球、甲子園ボウル、コンサート、各種イベント等

阪神タイガース公式戦入場料（2025シーズン）

席種		カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ	カテゴリーⅣ
アイビーシート・ブリーズシート		4,800円	5,000円	5,500円	5,600円
アルプス席（1塁・3塁）	おとな	2,600円	2,800円	3,200円	3,300円
	こども	900円	1,000円	1,200円	1,300円
外野席（ライト・レフト）	おとな	1,700円	1,900円	2,400円	2,500円
	こども	600円	600円	700円	800円
〈以上の席種にはファンクラブ割引料金あり〉					
レフトビジター専用応援席	おとな	1,700円	1,900円	2,400円	2,500円
	こども	600円	600円	700円	800円
三ツ矢サイダーボックス	4～5名	20,000円～34,000円	20,800円～35,000円	22,800円～37,000円	23,200円～37,500円
LAWSONデッキシート	16名	52,800円	56,000円	65,600円	67,200円
セコム ツインシート	2名	10,400円	10,800円	11,800円	12,000円
セコム トリプルシート	3名	15,600円	16,200円	17,700円	18,000円
パナソニックペアシート	2名	11,000円	11,400円	12,600円	12,800円
DTSボックス	5名	27,500円	28,500円	31,500円	32,000円
	6名	33,000円	34,200円	37,800円	38,400円
ニチレイ・ロジ関西ボックス	4名	17,200円	18,000円	20,800円	21,200円
松谷化学カウンター	4名	16,400円	17,200円	19,200円	19,600円
松谷化学ボックス	6名	23,400円	24,600円	28,200円	28,800円
車椅子席 介助者席	グリーンシート	5,200円	5,300円	5,700円	5,800円
	アイビーシート ブリーズシート	3,000円	3,100円	3,500円	3,600円
	アルプス席（1塁・3塁）	2,000円	2,100円	2,300円	2,400円
	外野席（ライト・レフト）	1,400円	1,500円	1,700円	1,800円

※全試合全席指定。こどもは4歳～中学生

年間予約席（税込み）			
TOSHIBAプレミアムシート	930,000円～980,000円	SMBCリラックスシート（2名掛け）	920,000円　※2席分
グリーンプレミアムシート	930,000円	SMBCリラックスシート（4名掛け）	1,784,000円　※4席分
グリーンシート	430,000円～650,000円	パノラマボックス	960,000円　※2席分
SMBCシート（1塁）	470,000円～620,000円	セコムツインシート（2名掛け）	780,000円　※2席分
SMBCシート（3塁）	400,000円～540,000円	セコムトリプルシート（3名掛け）	1,140,000円　※3席分
アイビーシート	300,000円～480,000円	グリーンラグジュアリーボックス（3名掛け）	3,720,000円　※3席分
ブリーズシート	240,000円～420,000円	グリーンラグジュアリーボックス（4名掛け）	4,960,000円　※4席分
ライト外野席	120,000円	ブリーズリゾートテラス（4名掛け）	3,040,000円　※4席分
レフト外野席	100,000円	ブリーズリゾートテラス（5名掛け）	3,800,000円　※5席分

※区画によって料金が変わります。

主な前売券発売場所
阪神甲子園球場　☎（0798）47－1041㈹
甲チケ、ローソンチケット、チケットぴあ
※発売場所は変更となる場合がございます。詳細は都度、発売概要をご確認ください。

阪神甲子園球場～歴史と伝統、野球の聖地甲子園～

●快適な観戦環境の提供

阪神甲子園球場では多様な座席を用意し、新しい野球観戦スタイルを提供しています。

①三ツ矢サイダーボックス（1塁・3塁）

アイビーシート上段(11ボックス)・ブリーズシート上段(17ボックス)にあり、4名又は5名で利用できるボックスです。

②LAWSONデッキシート

1・3塁の両アルプス席上段(各2ボックス)の一角にあり、1ボックス16名まで利用可能な団体で貸し切れるシートです。

③セコム ツイン・トリプルシート

ブリーズシートの一角にあり、座席のクッション性を高め、かつ両サイドを通路とした2名掛け(20シート)又は3名掛け(10シート)のシートです。

④DTSボックス

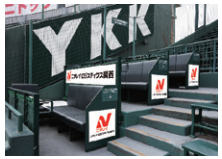
アイビーシート・ブリーズシートの上段(各2ボックス)にあり、5名又は6名で利用できるボックスです。

⑤パナソニックペアシート

ブリーズシートの最上段にあり、座席のクッション性が高いカウンター付きの2名掛け(6シート)シートです。

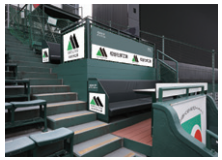
⑥ニチレイ・ロジ関西ボックス

1・3塁の両アルプス席中段に位置するテーブル付きのグループボックス。クッション性の高いシートで快適に観戦できます。



⑦松谷化学ボックス／松谷化学カウンター

レフト外野席上段に位置するグループボックス席。バックスクリーン横上段の空間から見下ろす壮大なパノラマビューをクッション性の高いシートで楽しめます。



⑧車椅子席

内外野の各エリアに設置しており、車椅子ご利用の方1名につき、介助者2名まで入場可能としています。グリーンシート、アイビーシート、ブリーズシート、アルプス席(1塁・3塁)に各4席、ライト外野席に10席、レフト外野席に5席を設置しています。

※エレベーター設備について

一般のお客さまがご利用可能なエレベーターを4基設置しています。
(66ページ「阪神甲子園球場平面図」参照)

授乳室の設置

内野エリア2か所、外野エリア1か所に、授乳室を設置しています。

●球場でしか味わえないサービスの提供

阪神甲子園球場ではお客さまに気持ちよく観戦いただくことだけでなく、球場でしか味わえないサービスの提供を心掛けています。その一つとして、監督・選手コラボグルメの提供や店舗の充実、様々な飲食イベントの開催などのソフト面の更なる強化に力を入れています。

① 監督・選手コラボグルメの充実

監督・選手コラボグルメは、お弁当、丼物といった主食からスイーツに至るまで、ジャンルは多岐にわたりますが、その一つひとつが監督・選手へのヒアリング・試食を重ねて開発したこだわりの逸品となっています。2025年は「藤川監督の高知づくし！火の玉ストレート御膳」「大願成就！大山のイチオシ濃厚油そば」をはじめ、10種類以上のコラボグルメを新発売しました。

藤川監督の高知づくし！
火の玉ストレート御膳

② 2025年シーズンも、球場外周の飲食イベントが目白押し！

阪神甲子園球場の1塁側外周にある「ミズノスクエア」では、プロ野球開催日を中心に飲食やステージイベントを楽しんでいただける空間づくりに取り組んでいます。

2025年も、できるだけ多くのフードイベントをお楽しみいただけるよう、「ラーメン祭」、「丼祭」、「肉祭」、「粉もん祭」、「からあげ祭」、「ビアフェスタ」、「餃子祭」など、例年好評なイベントから新規イベントまで、順次、期間ごとに企画・開催しています。

COLUMN

阪神甲子園球場の「土」、「芝」、「蔦」

■土　～ブレンドの黄金比率～

グラウンドの土は、鳥取、岡山、鹿児島など全国各地から選りすぐった黒土に白砂をブレンドしており、きめ細かく調整を行っています。また、水はけの良さも有名です。混ざり具合が均一になるよう、シーズンオフには、内野部分を約25cm程度まで掘り起こして、土をほぐしています。

■芝　～いつでも新緑～

外野の芝は、1928年から張られています。1982年からは二毛作を行うことで、季節を問わず、芝の緑が保たれるようになりました。この芝は、散水、除草、施肥、刈込みなど、日ごろから丹念な手入れが行われています。

■蔦　～「伝統」の継承～

リニューアル工事で全て伐採された蔦は、2009年3月に再植樹を行いました。その際、2000年に日本高等学校野球連盟加盟校に贈られた蔦の苗木などが「里帰り」として使われました。球場全体を覆い隠すまでになるにはまだ数年かかりますが、現在も順調にツルを伸ばしています。

なお、この蔦による壁面緑化は、ヒートアイランド現象の緩和や空調効率の改善にも寄与しています。

阪神甲子園球場～年譜～

1923（大正 12）	11.28	枝川運動場の名称の下に球場建設を決定
1924（ 13）	3.11	起工
1924（ 13）	8. 1	竣工式「甲子園大運動場」と命名
1924（ 13）	8.13	第10回全国中等学校優勝野球大会を開催
1925（ 14）	3.31	外野右中間にスコアボード完成
1925（ 14）	3.31	第2回全国選抜中等学校野球大会を開催
1929（昭和 4）	7.20	アルプススタンドを新設
1931（ 6）	7.18	アルプススタンドに鉄傘を建設
1932（ 7）	10. 1	1塁側アルプススタンド下に室内運動場及び3塁側アルプススタンド下に温水プールが完成
1934（ 9）	3.	外野中央に2代目スコアボードが完成
1934（ 9）	8.11	野球塔を建設（昭和30年代末に撤去）
1934（ 9）	11.24	ベーブ・ルースらのアメリカプロ選抜チームと全日本チームが対戦
1935（ 10）	12.10	大阪野球倶楽部（大阪タイガース）が誕生
1936（ 11）	11.11	外野スタンドを改築
1943（ 18）	8. 6	大鉄傘を供出
1945（ 20）	8. 6	西宮大空襲により被害を受ける。
1945（ 20）	10.3	進駐軍に球場を接収される。
1947（ 22）	1.10	グラウンドとスタンドの接収が解除
1947（ 22）	3.30	選抜高校野球大会が復活（以降、選抜高等学校野球大会として現在まで開催）
1947（ 22）	4.13	第1回毎日甲子園ボウルを開催
1947（ 22）	5.26	ラッキーゾーンが登場
1947（ 22）	8.13	夏の高校野球大会が復活（以降、全国高等学校野球選手権大会として現在まで開催）
1951（ 26）	8.	内野スタンドに銀傘が復活
1954（ 29）	3.31	球場が全面的に接収を解除される。
1956（ 31）	4.25	ナイター設備が完成
1964（ 39）	2.14	球場名を「甲子園球場」から「阪神甲子園球場」に変更
1982（ 57）	3. 1	銀傘をふきかえ、バックネットをステンレス製に変更
1984（ 59）	3. 6	電光式の3代目スコアボードが完成
1991（平成 3）	12. 5	ラッキーゾーンを撤去
1993（ 5）	2.28	スコアボードをカラー化
2007（ 19）	10. 1	阪神甲子園球場のリニューアル工事を開始（野球のシーズンオフを利用して、2010（平成22）年3月までⅢ期に分けて実施）
2008（ 20）	3.11	内野エリアを中心とする第Ⅰ期リニューアル工事が完了
2009（ 21）	3.12	第Ⅱ期リニューアル工事が完了し、球場本体のリニューアル工事が完了
2010（ 22）	3.12	リニューアル工事（第Ⅲ期リニューアル工事）完了、竣工式
2010（ 22）	3.14	甲子園歴史館開業
2011（ 23）	2.28	スコアボードをLED化
2019（ 31）	3. 9	メインビジョンをリニューアル
2021（令和 3）	12. 9	環境保全プロジェクト「KOSHIEN “eco” challenge」を宣言
2022（令和 4）	3. 3	「甲子園プラス」に甲子園歴史館を一部移転・拡張しリニューアルオープン
2022（令和 4）	3. 4	スタジアム照明をLED化
2024（令和 6）	8. 1	阪神甲子園球場100周年
2025（令和 7）	3.	「コーポレートPPA」及び「再エネECOプラン」を活用した消費電力の実質再エネ100％に取り組む。

阪神甲子園球場～環境への取組み～

●阪神甲子園球場での環境への取組み

阪神甲子園球場では、2021年12月に環境保全プロジェクト「KOSHIEN“eco”challenge」を宣言し、来場されるお客さまのご協力を得ながら、協賛企業の皆さまとともに様々な環境保全活動に取り組んでいます。

太陽光発電

2007年から2009年に実施したリニューアル工事に伴い新しくなった銀傘上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働しています。年間193,000kwhを発電し、球場内で使用する電力のうち約3.6％を賄っています。火力発電に比べCO_2排出量を年間で約150t削減することが可能です。

コーポレートPPAなどの活用

2025年3月から、「コーポレートPPA」及び「再エネECOプラン」を活用した阪神甲子園球場で消費する電力の実質再エネ100％に取り組んでいます。これにより、年間約3,000tのCO_2削減効果を見込んでいます。

雨水・井戸水の利用

リニューアル工事前から井戸水をグラウンドへの散水やトイレの洗浄水に利用してきました。

リニューアル工事に伴い、2009年に架け替えられた銀傘は、従来の1.4倍の7,500㎡の面積となり、井戸水だけでなく、ここに降った雨水も地下タンクに貯水され、グラウンドへの散水や場内トイレの洗浄水に使われています。

プラスチックカップの回収・リサイクル

2012年から球場内で使用後のポリエステル製ビール用プラスチックカップを帝人フロンティア㈱と共同でリサイクルする取組みを行ってきました。球場内に設置した専用回収カート又は場内売り子が回収したカップは、帝人フロンティア㈱のマテリアルリサイクル技術によって新たなポリエステル繊維（エコペット®）として球場スタッフユニフォームの素材として、または樹脂製のビアカップホルダーを開発し、球場イベントで配布されるノベルティなどにリサイクルしています。

都市交通事業
不動産事業
スポーツ・エンタテインメント事業
情報・通信事業
ホテル事業
建設・環境事業
魅力あふれる沿線へ
サステナビリティの取組み
資料

甲子園歴史館

●甲子園歴史館～阪神甲子園球場の歴史や舞台裏を体感～

野球文化の振興と野球ファンの裾野拡大を目的に、2024年に開場100周年を迎えた球場の歴史と、球場を舞台として数々のドラマを生んできた春・夏の高校野球、阪神タイガースの歴史を後世に伝えるミュージアム・甲子園歴史館は2022年3月のリニューアルを経て、展示内容はもちろん、お子さまから大人まで楽しめるコンテンツが充実し、2023年8月、開業以来の入館者が150万人を突破しました。

スタジアムツアー

3塁ベンチやブルペンなど、普段の観戦では見ることができない阪神甲子園球場の裏側を、ガイドによる解説を聞きながら見学できるスタジアムツアーを催行しています。タイガースOBが参加するツアーや、公式戦の試合開催日には練習を見学できるコースを用意するなど、多彩なコースがあります。

※案内場所は状況によって変更となります。

多彩な企画展を開催

高校野球特別展や阪神タイガース特別展など、シーズンに応じた企画展を行っており、リピーターを飽きさせない内容となっています。

センバツ企画展2025

企画展「阪神タイガース90年のあゆみ」

体験！タッチスタジアム

阪神甲子園球場ならではの360度映像が体感できる「VR（バーチャル・リアリティ）コーナー」や、セ・パ12球団からドラフト指名を受けた気分を体験できる「ドラフト体験コーナー」のほか、阪神タイガースの選手が実際に使用した野球用具に触れる展示など、体験型のコンテンツが集結。お子さまから大人までお楽しみいただけるコーナーです。

AR KOSHIEN Experience（不定期開催）

貸出のタブレットを使用して、3塁ベンチ前の人工芝エリア又はスタンドでAR（拡張現実）コンテンツをお楽しみいただけます。タブレットでは、阪神タイガースの選手が動画で登場するARフォトフレームを使用しての記念撮影や、グラウンドに現れるCGの巨大トラッキーをお楽しみいただけます。

© 阪神タイガース

甲子園歴史館施設概要

1　開 館 日　2010年3月14日　※2022年3月3日にリニューアルオープン

2　場　　所　甲子園プラス2階、阪神甲子園球場外野レフトスタンド2階

3　面　　積　約1,500㎡
（内訳）　外野レフトスタンド2階…約900㎡（球場エリア）
甲子園プラス2階…約600㎡（PLUSエリア）

4　営業時間　10時～18時（3～10月）
10時～17時（11～2月）
※入館は閉館の30分前まで。ただし、高校野球開催時等、催し物による変更あり。
※最新の営業情報はホームページをご確認ください。

5　休 館 日　月曜日（試合開催日、祝日を除く。）、年末年始
※その他、メンテナンス等のため、休館の場合あり。

6　料　　金

		入館料	スタジアムツアー料金	AR KOSHIEN Experience料金
一般料金	おとな	900円	2,000円	1,500円
	高校生	700円	1,800円	1,300円
	こども（4歳～中学生）	500円	1,400円	1,000円

※ スタジアムツアー・AR KOSHIEN Experienceの料金には甲子園歴史館の入館料を含みます。
※ 団体・歴史館倶楽部会員については各種割引があります。
※ 高校生、割引料金の適用には証明書の提示が必要です。

●BE-STADIUM KOSHIEN

日本初！阪神甲子園球場を完全再現したバーチャルバッティングセンターが甲子園歴史館に併設。正面の大型スクリーンに向かってバッティングやピッチングをすると、CGで完全再現された阪神甲子園球場が映る映像に打球・投球が反映され、まるで甲子園で野球をしているような気分を味わえます。

営業時間　10時～19時（3月～10月）　10時～18時（11月～2月）
※受付は営業終了時間の20分前まで

休 業 日　月曜日（試合開催日、祝日を除く。）、年末年始

料　　金

3種セット券（バッティング、トスバッティング、ピッチングを各1回）	1,200円
2種セット券（バッティング1回＋トスバッティング又はピッチング1回）	900円
トスバッティング券、ピッチング券	各400円

※ 長期休暇など繁忙期は3種セット券（特別料金1,500円）のみ販売

ゼロカーボンベースボールパーク～環境への取組み～

●ゼロカーボンベースボールパークでの環境への取組み

2025年3月1日に開業したゼロカーボンベースボールパークでは、「未来をずっと青空にする球場、尼崎から。」というキャッチフレーズを掲げ、脱炭素先行地域として環境に優しい様々な取組みを行い、脱炭素社会や循環型社会に資する新しい野球場、公園を目指しています。

日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎

阪神タイガースのファーム本拠地で、方角やグラウンドの形状・仕様は阪神甲子園球場と同様に作られ、グラウンドは阪神園芸により整備されています。バックスクリーン表側にはLEDビジョン、裏側には太陽光パネルを搭載しています。また、Low-E複層ガラス、高効率空調機等の採用や、それらの電力消費量を「見える化」するエネルギーマネジメントシステムの導入により、野球施設としては初めて「ZEB Oriented」※1認証を取得しました。

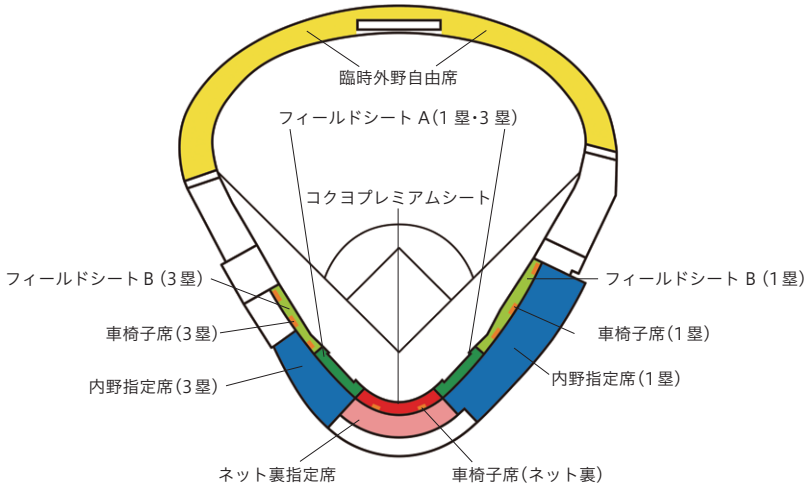
室内練習場

阪神甲子園球場室内練習場の約1.5倍の面積で、天井高は約3m、日本有数の広さを誇る室内練習場が完成しました。ボール自動収集機能付きの打撃練習場や、最新鋭の分析機器を搭載したブルペン等が備わっています。また、壁や屋根には日鉄鋼板社製の高性能断熱素材「SGL」を使用し、快適な室内環境を保ちながら、電力使用量の削減が可能になりました。室内練習場は、野球施設として全国で初めて「Nearly ZEB」※2認証を取得しました。

※1：延べ面積が10,000平方メートル以上の建物で、基準一次エネルギー消費量から40%または30%（建物用途による）以上のエネルギー消費量削減に適合した建築物
※2：基準一次エネルギー消費量から75%以上のエネルギー消費量削減に適合した建築物に与えられる認証

ゼロカーボンベースボールパーク～施設概要～

●日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎 平面図



	席種		カテゴリー A	カテゴリー B	シーズンシート
阪神タイガース 日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎 開催試合入場料（2025シーズン）	コクヨプレミアムシート		4,000円	3,500円	230,000円
	フィールドシートA(1塁・3塁)		3,500円	3,000円	200,000円
	フィールドシートB(1塁・3塁)		2,700円	2,200円	－
	ネット裏指定席		3,000円	2,500円	－
	内野指定席(1塁・3塁)	おとな	2,000円	1,700円	－
		こども	500円	400円	－
	臨時外野自由席 ※1	おとな	1,000円	700円	－
		こども	100円	100円	－
	〈以上の席種にはファンクラブ割引料金あり〉				
	車椅子席	ネット裏	2,400円	2,100円	
	介助者席	1塁・3塁	1,700円	1,400円	－

※1 発売対象試合は都度決定し発表。
※　こどもは4歳～中学生。※1を除き、全試合全席指定。
・主な前売券発売場所 甲チケ(但し臨時外野自由席前売券販売はローソンチケット)
※　発売場所は変更となる場合がございます。詳細は都度、発売概要をご確認ください。

所在地	〒660-0822　尼崎市杭瀬南新町3丁目3番1号
開業	2025（令和7）年3月1日
規模	面 積：地上3階建て。建築面積　7,120㎡（延べ床面積　10,918㎡）
	ホームプレートからの距離：レフト・ライト　95m　センター　118m
	スタンド：約3,600席（車いす席：20席（介助者席同数））
	臨時外野席は800人収容可能（座席は無）
	設 備：LEDナイター照明6基（光漏対策は環境省ガイドラインに適合） 放送席・スピーカー設置（遮音ボックス設置等により騒音は環境基準に適合）
	バックスクリーン：LEDビジョン（19.2m × 7m）。ビジョン裏には太陽光パネル。
ショップ	内野コンコース内に飲食売店、1階「タイガースグッズショップ」を設置。
防災	平均40cm程度のかさ上げ実施、主要電気設備を2階へ設置、非常用発電機、非常用防火水槽設置。観客席は津波等一時避難場所（非常用発電機から電源供給されるコンセントの設置）。

甲子園テニスクラブ

●スポーツの聖地甲子園で楽しむテニスライフ

阪神甲子園球場に隣接する甲子園テニスクラブは、13面のコートを有します。インドアコート3面で開校しているテニススクールは、天候に左右されずにレッスンを受講いただけます。

甲子園テニスクラブ施設概要

所　在　地	〒663-8151　西宮市甲子園洲鳥町5番50号　☎(0798) 41-0282
開　　設	1926（大正15）年5月5日
総　面　積	約10,000㎡
施　　設	屋外オムニコート10面、インドアオムニコート3面、壁打コート1面、クラブハウス2棟

●甲子園地域の施設案内

六甲山

●都会の喧騒を離れた六甲山上のレジャー施設（運営：六甲山観光株式会社）

六甲山開発

六甲山は明治時代、居留外国人によってレジャーの山として開発が始まりました。当社は、昭和初期の1927年から六甲山の開発に取り組んでおり、山上に展望台やオルゴールミュージアム、人工スキー場などのレジャー施設を開設し、大阪・神戸から手近なレジャースポットとして親しまれてきました。

現在、これらのレジャー施設は、グループ会社の六甲山観光㈱に賃貸し、同社が運営を行っています。

六甲ガーデンテラス

神戸六甲ミーツ・アート

当社と六甲山観光㈱では、六甲山上を舞台とした現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート（旧六甲ミーツ・アート 芸術散歩）」を、2010年から毎年開催しています。16回目となる今年は、前年に引き続き神戸市や阪急阪神ホールディングス㈱のサポートの下、「神戸六甲ミーツ・アート2025 beyond」として開催。開放的な自然や眺望などの六甲山の環境の中で海外でも活躍しているアーティストを含む60組以上が参加し、山上ならではの風景とともに作品を鑑賞いただける芸術祭として、“新しい六甲山の魅力”をお届けしています。

神戸六甲ミーツ・アート2025 beyond
Artwork:©Yoshitomo Nara

自然体感展望台 六甲枝垂れ

現代におけるグリーンアーキテクトの第一人者である、建築家・三分一博志氏が設計を担当し、2010年7月に誕生した展望台です。芸術作品のような展望台には、自然をアートとして体感してもらえるよう工夫が施されています。2022年から毎年開催しているイベント「シダレミュージアム」では、大人から子どもまで、幅広く体験型アート作品をお楽しみいただけます。

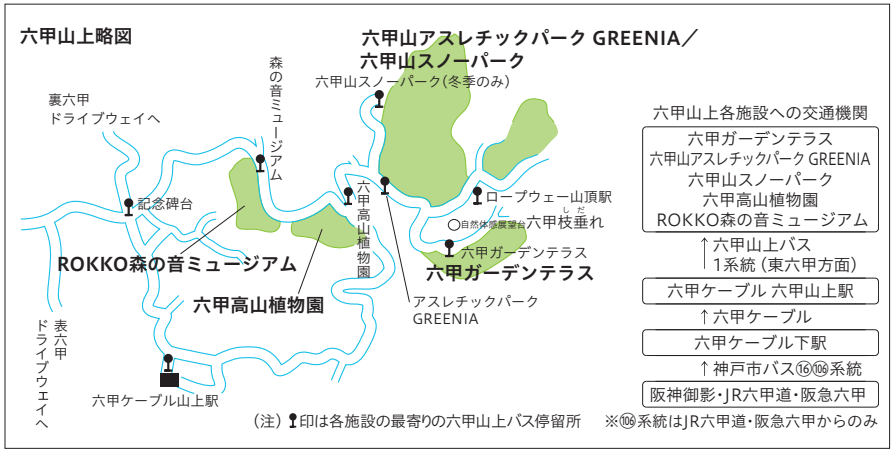
六甲枝垂れ

六甲山アスレチックパーク GREENIA

六甲山アスレチックパークGREENIAのテーマは「山、空、水辺。すべてが舞台の冒険王国。」です。約23万㎡（阪神甲子園球場約6個分）の広大なフィールドに、陸上・空中・水上と様々な種類のアスレチック（計203ポイント）があり、一日中楽しめる日本最大級のアスレチックパークです。合計155ポイントのアスレチックを人気動画クリエイター「フィッシャーズ」が監修しており、大人も楽しめる遊び心溢れるアスレチックが満載です。

アスレチック

六甲山上地区の施設案内図



六甲山上施設概要

施設名	施設概要	開　設	総面積
六甲ガーデンテラス	自然体感展望台 六甲枝垂れ、飲食店、物販店など	2003（平成15）年4月18日	約41,000㎡
	〒657-0101 神戸市灘区六甲山町五介山1877番地の9　☎(078) 894-2281		
六甲山アスレチックパーク GREENIA	アスレチック、芝すべり、トランポリン、バーベキュー場など	2021（令和 3）年4月3日	約230,000㎡
	〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512番地の98　☎(078) 891-0366		
六甲山スノーパーク	六甲山アスレチックパーク GREENIA内の斜面を生かした人工スキー場、リフト3基など	1964（昭和39）年1月22日	約36,000㎡（六甲山アスレチックパーク GREENIA内）
	〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512番地の98　☎(078) 891-0366		
六甲高山植物園	世界の高山植物や寒冷地植物など約1,500種を栽培、展示	1933（昭和 8）年5月1日	約50,000㎡
	〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512番地の150　☎(078) 891-1247		
ROKKO森の音ミュージアム	自動演奏楽器をはじめとした音の展示、体験や六甲山の自然を活かした庭、カフェなど	1994（平成 6）年7月21日	約48,000㎡
	〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512番地の145　☎(078) 891-1284		

主なグループ会社

●株式会社阪神タイガース

阪神タイガース

2025年に創設90周年を迎えた歴史と伝統を誇る人気球団「阪神タイガース」を経営。2023年に18年振りのリーグ優勝、38年振りの日本シリーズ制覇を成し遂げるなど、チーム・選手の活躍は観客を大いに魅了するとともに、日本の野球界発展に寄与し続けています。

●株式会社阪神コンテンツリンク

音楽エンタテインメント・スポーツ関連イベントなどのコンテンツ事業を自ら行い、ノウハウを蓄積・駆使してその価値を高めるとともに、阪神甲子園球場・阪神タイガースをはじめ様々なブランドを活かしたサービス・メディアにそのノウハウを付加することで、新しい商品・サービスをデザインし、総合的・機動的にお客さまに提案しています。

ビルボード事業

ビルボードライブ大阪

ビルボードブランドの日本における独占的マスターライセンシーとして、東京・横浜・大阪におけるビルボードライブやビルボードクラシックス、ニュースサイト「Billboard JAPAN.com」の運営、複合チャート「Billboard JAPAN Hot 100」の公表など、様々な分野でブランド開発・展開を行っています。

インバウンド事業

日楽座

「日本の新たな楽しみ方を世界に！」というスローガンの下、自然、文化、風習、食など日本の魅力を新たな視点で深堀りし、WEB・SNSで発信しているほか、2024年5月からはインバウンド向け相撲エンタテインメントショーホール「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA」の運営を行っています。

商品事業

阪神電車グッズ

阪神タイガース関連、鉄道関連など様々な分野のコンテンツについて、企画から開発、制作、商品化、権利処理そして販売まで、事業のトータルプロデュースを実現しています。また、「Shop. Merchan.jp（ショップドットマーチャンドットジェイピー）」「鉄道甲子園」のECショップの運営も行っています。

ベースボール関連事業

当社グループの広告代理店として、阪神甲子園球場の広告媒体の販売や、イベント・キャンペーンなどの立案・運営を行っています。また、プロ野球球団「阪神タイガース」とのタイアップや鉄道、不動産、各レジャー施設を活用した企画など“阪神”ならではのコンテンツを生かした企画はご好評をいただいています。

SD事業

サイン・デザインのプロフェッショナルとして、豊富な知識と経験をもとに、コンセプトワークから設計、施工、メンテナンスまで、ワンストップでサービスを提供しています。

●株式会社ウエルネス阪神

フィットネス事業を通じて、地域の皆さまの心と身体の健康づくりに貢献するほか、スタジアム事業及びディッピンドッツ・アイス事業を通じて、多くの人々に夢や感動を与えるスポーツ・エンタテインメントをより楽しんでいただくためのフードサービスを提供しています。

フィットネス事業

甲子園駅前において、24時間利用可能なジムスペースをはじめ、スタジオやプールを有する総合型フィットネスクラブ「タイガースフィットネスクラブ　ラフィット」を経営しています。

また、阪急阪神沿線における健康増進イベント等を通じて「健康寿命の延びる沿線」の実現の一端を担っています。

スタジアム事業

多くの人々に夢や感動を与えるスポーツ・エンタテインメント。そのスタジアムにお越しのお客さまに、より一層スポーツ観戦を楽しんでいただけるよう、スタジアム内でしか味わえないグルメや観戦時に欠かせないグッズなどを豊富に取り揃えています。

ディッピンドッツ・アイス事業

マイナス196℃の瞬間冷凍技術により、つぶつぶ・さらさらの新食感を実現し、おいしさをギュッと閉じ込めたアメリカ生まれのスイーツ「ディッピンドッツ・アイスクリーム」。多くの国で愛されている同商品の日本国内での輸入販売総代理店として、全国の遊園地やテーマパーク等に同商品を提供しています。

●株式会社ピーアンドピー浜松

学生のスポーツ大会を中心に各種イベントへプロカメラマンを派遣し、集合写真や競技風景の撮影を行い、撮影したデータをもとに、大型パネル写真をはじめとする各種写真製品や大会関連グッズ等のオリジナルグッズの製作・販売を行っています。一生の思い出となる記念品をお届けすることで、全国のお客さまに喜んでいただいています。

情報・通信事業

情報・通信事業では、ビルのセキュリティシステムや、
交通関連システムの開発・提供のほか、ケーブルテレビ放送・
インターネット・電話、あんしんサービス、ロボットプログラミング教室など、
日々の暮らしをサポートする様々なサービスを提供しています。

情報サービス事業

情報サービス事業では、交通システム・エンタープライズソリューション・インターネットソリューション・医療システム・ビルシステムの事業を展開しています。

●アイテック阪急阪神株式会社

交通・スマートビルなどの社会インフラに関するシステム、EC サイトの構築・運営やWEBサイト制作をはじめとするインターネット関連サービス、臨床検査・健診などの医療システムに加え、企業向けシステムの開発・運用やAIなどの最新技術を活用したソリューションを提供することで、お客さまのDXを幅広く推進しています。

交通システム

安全な鉄道運行や、ダイヤ乱れの迅速な回復、阪神甲子園球場での催事に対応した臨時停車・増発をサポートする「列車運行管理システム」、運行状況を表示・放送してお客さまへの案内をスムーズに行う「旅客案内システム」、列車内のセキュリティ向上を目的とした「AI搭載・ネットワーク対応型車内防犯カメラ」、列車モニタリングサービス「トレもに」など、安心で快適なシステムを開発・提供しています。

車内防犯カメラ　運用イメージ図

エンタープライズソリューション

多様な業種・業態からの期待に応えてきた実績を活かし、お客さまのITパートナーとしてあらゆる課題を解決するソリューションを提供します。データ統合によるデジタルマーケティングの確立、業務システムのクラウド化、ワークスタイル変革対応など、DX 推進を支援しています。

インターネットソリューション

インターネット上で商品を販売するECサイトの構築・運営をはじめ、WEBサイト制作や、サーバ構築・運用・管理、インターネット接続サービス「Tigers-net.com」などを展開し、高度情報化社会のビジネスをサポートしています。

WEBサイト制作例

医療システム

臨床検査・健診・感染制御支援など、医療現場の医師や患者サービスに役立つシステムのほか、企業の健康経営を支援するシステムなど、医療の質の向上と健康を守る様々なサービスを提供しています。

スマートビルシステム

ビルや施設のあらゆる設備情報を一元的に監視・制御できるビル管理システムを中心に、様々な管理業務やサービスと連携し、効率的にビルの運営・管理を行うことができる統合的な管理システムを開発・提供しています。クラウド対応により、ライフサイクルコストの低減を実現するとともに、BCP 対策にも効果的です。

あんしん・教育事業

あんしん・教育事業では、登下校メールサービス「登下校ミマモルメ」や、ロボットプログラミング教室「プログラボ」など、日々の暮らしを安心・快適にするサービスを提供しています。

●株式会社ミマモルメ

阪神あんしんサービス「登下校ミマモルメ」

2011年4月、関西地区の小・中・高等学校を中心にサービスを開始し、現在は全国で30万名以上の方を見守っています。学校以外では学童保育施設などへの導入が増加しているほか、自宅の出入りの通知にも対応しています。また、登下校中の子どもの現在地が分かる「ミマモルメ GPS サービス」も提供し、保護者の方に更なる安心をお届けしています。

子どもや高齢者の見守りサービス「まちなかミマモルメ」

「登下校ミマモルメ」の仕組みを応用して2016年3月から展開している「まちなかミマモルメ」は、街の様々なところに受信機を取り付けて、発信器を持った子どもや高齢者がその付近を通過すると、家族や保護者の方にアプリを通じて通過時間などをお知らせするサービスです。兵庫県伊丹市のほか、兵庫県加古川市、京都府長岡京市、大阪府大東市、奈良県三郷町、三重県木曽岬町、埼玉県戸田市などでもサービスを提供し、子どもの校門通過だけでなく登下校ルートの通過情報や高齢者の移動状況、家庭用受信機の設置により自宅の出入りも分かると好評を得ています。更に、独自のアプリケーションと連動し、ボランティア登録している方々に捜索協力の依頼ができるサービスも展開し、街全体での見守り体制の構築に貢献しています。

ロボットプログラミング教育事業「プログラボ」

「プログラボ」は、当社と讀賣テレビ放送㈱との共同事業として、「プログラボ教育事業運営委員会」を組成し、2016年4月からロボットプログラミング教育事業を展開しています。ロボットプログラミング教育を通じて、日本の未来を担う子どもたちが、筋道を立てて考える力や物事を深く考える力、目標に向かい最後までやり抜く力を育むことで、将来、自身の夢を実現し、世界に羽ばたき活躍してほしいとの考えの下、現在、直営校・フランチャイズ展開・校内教室を合わせて80校以上を開校しています。

「フランチャイズ展開」では、全国各地の鉄道会社や学校法人、音楽教室など、地域に根差し、その地域の価値創造や次世代育成に取り組んでいる企業と、積極的に提携を進めています。

また、「校内教室」では、放課後の学校内で在校生を対象にプログラボのカリキュラムを用いて授業を行っています。更に、「プログラボ」の講師が学校に出向き授業を行う「出張授業」などにも取り組んでいます。

STEAM教育の実践

プログラボでは、単科に閉じた習熟に留まらず、実社会の課題に紐づけながら教科横断的に学ぶ教育であるSTEAM教育を実践しています。

また、理科の実験装置から手作りする「サイエンス講座」、ICT機器を使ったモノづくり講座「プログラボクリエイターズ」、新聞記者が教える「ロジカルリーディング・ライティング講座」など、普段の講義以外でもSTEAM教育を届けられるよう、カリキュラムの拡充に取り組んでいます。

※STEAMは「Science：科学」、「Technology：技術」、「Engineering：工学」、「Art：教養・芸術」、「Mathematics：数学」の頭文字を取った言葉。
STEAM教育：変化の激しい今後、ますます必要となる「新たな価値を生み出せる人材」を育てるために有効だと、いま世界中で取り入れられています。

プログラミング教育導入支援・研修事業

2020年以降の教育現場におけるプログラミング教育必修化対応を支援するサービスです。大阪府交野市では、年間指導計画の立案と、それに沿ったプログラミング学習の支援を行っています。また、2022年度からは子どものみならず、企業を対象とした研修事業も実施するなど、事業の対象者を拡大しています。

放送・通信事業

放送・通信事業では、地域密着の情報メディアであるケーブルテレビ放送に加え、有線及び無線のインターネットサービスなどを提供しています。

●株式会社ベイ・コミュニケーションズ

大阪市西部と兵庫県尼崎市、西宮市、伊丹市で視聴可能な935,200世帯（2025年3月末現在）に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の三つのサービスに加え、無線インターネットサービス「Baycom LTE」を提供しています。このほか、日常生活をサポートする様々なサービスも提供しています。

●姫路ケーブルテレビ株式会社

兵庫県姫路市、太子町、播磨科学公園都市、宍粟市、佐用町、上郡町、神河町で視聴可能な136,055世帯（2025年3月末現在）に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の三つのサービスを提供しています。このほか地域密着のサービスとして地域BWAの設備を利用した姫路城LIVE 映像のネット配信や、コミュニティチャンネル「ひめチャン」では、播州秋祭り、姫路お城まつりなど、地域密着のコンテンツを放送しています。また、夢前町では災害・防災情報や自治会情報などを音声で届ける告知放送サービスを提供しています。

●BAN-BANネットワークス株式会社

兵庫県加古川市、高砂市、稲美町、播磨町で視聴可能な60,267世帯（2025年3月末現在）に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の3サービスに加え、地域BWAサービス「BAN-NET Air」を提供しています。また、コミュニティチャンネルやコミュニティFMも放送しています。

●阪神ケーブルエンジニアリング株式会社

ケーブルテレビの調査・設計・施工・保守、鉄道設備、防犯カメラなどの電気通信工事を実施しています。また、電気通信事業者や一般企業向けに鉄道軌道沿いの光ファイバーを貸し出す光賃貸事業、高速無線インターネット接続サービス「Hai connect」を提供する地域BWA事業などで、地域の情報通信ネットワークを支えています。

地域 BWA 事業

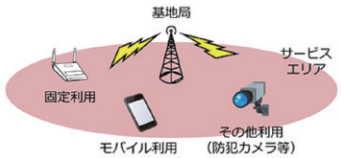
2015年9月に阪神ケーブルエンジニアリング㈱が免許取得し、2016年3月以降、同社及び㈱ベイ・コミュニケーションズ、姫路ケーブルテレビ㈱、BAN-BANネットワークス㈱、アイテック阪急阪神㈱がLTE 方式での地域BWA サービスの運用を開始しました。

基地局

地域 BWA（Broadband Wireless Access）とは

情報格差（デジタル・デバイド）の解消や公共の福祉などの地域に密着したサービスの実現を目的とした2.5GHz帯の電波を用いた電気通信業務の無線システムです。

当社グループでは、コア設備や複数の基地局を設置し、地域の様々な情報通信網として活用しています。



地域 BWA を活用した無線インターネットサービス

㈱ベイ・コミュニケーションズ、BAN-BANネットワークス㈱、阪神ケーブルエンジニアリング㈱では、京都市から大阪市、加古川市に至る23の自治体において、地域限定型の無線インターネットサービスを提供しています。

また、地域BWAのコア設備を全国約60社のケーブルテレビ事業者へクラウド提供しており、各社の無線インターネットサービスを支えています。

ホームタイプ

モバイルタイプ

Hai connect 端末例

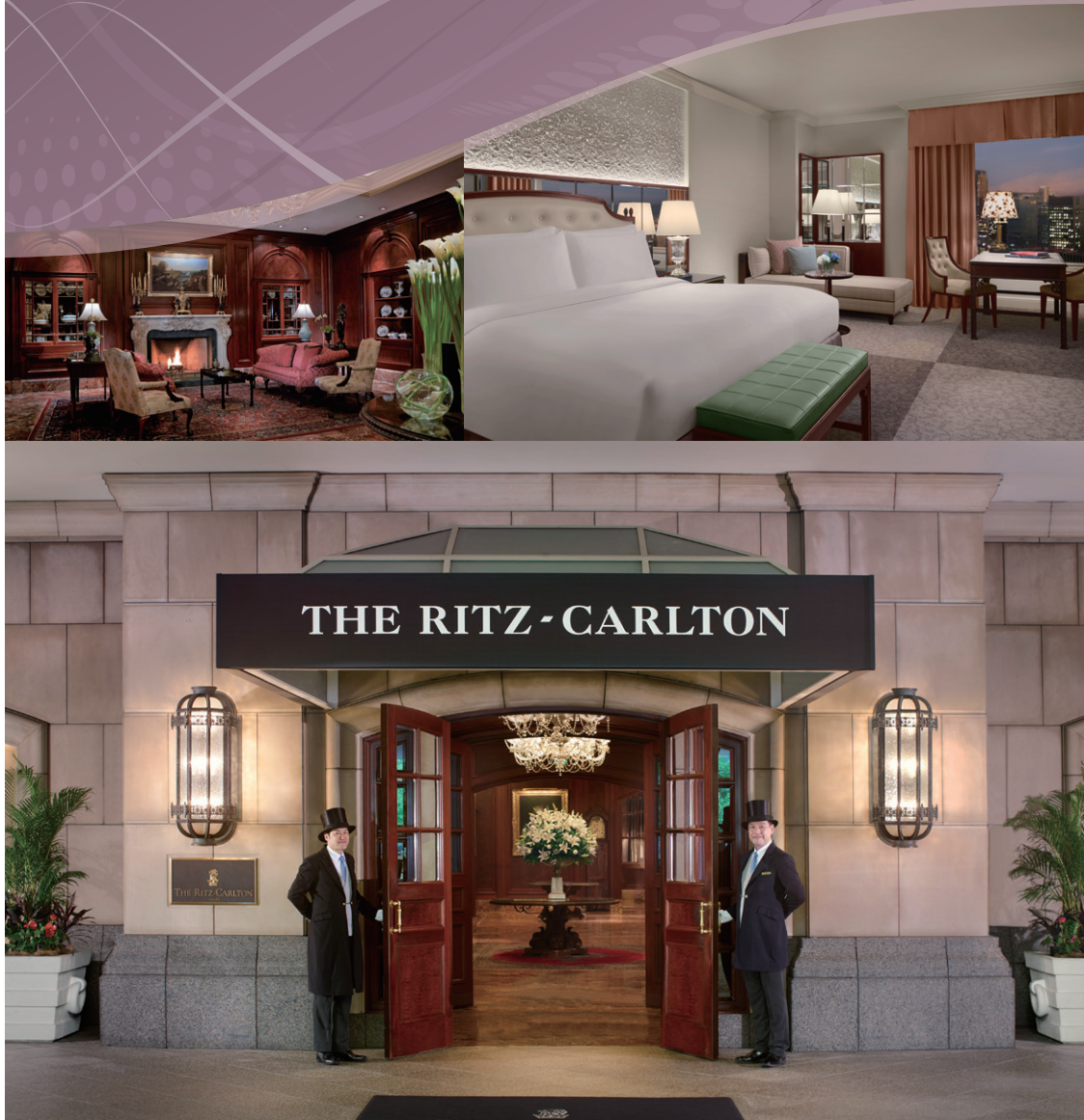
地域 BWA を活用した自治体向けサービス

地域BWAの通信網を活用し、地方自治体による地域の安心を守るサービスも提供しています。兵庫県伊丹市が実施している「安全・安心見守りネットワーク事業」や兵庫県西宮市、東京都足立区、杉並区の防犯カメラ設置事業で活用され、小学校の通学路・公園・道路・河川などに設置した監視カメラと市役所などを結ぶことにより、町全体の子どもの安全や犯罪の抑止、事件・事故の早期解決、大雨等災害発生時の河川監視などの災害対策に役立っています。

カメラ設置例（伊丹市）

ホテル事業

ホテル事業では、ラグジュアリーホテル
「ザ・リッツ・カールトン大阪」の経営を行っています。

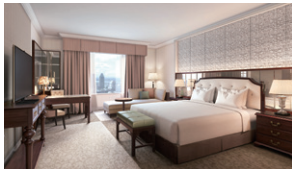


ホテル事業

●株式会社阪神ホテルシステムズ

米国本拠のザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.が運営するラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」を経営しています。同ホテルは、ザ・リッツ・カールトンの日本第一号として1997年に開業し、「フォーブス・トラベルガイド」2025年の「ホテル部門」において、大阪のホテルで“唯一”となる5つ星を3年連続で獲得しました。

客室



贅沢なインテリアとアメニティを備えた291室の客室の中には、専属のコンシェルジュによるパーソナルなおもてなしをご提供する「ホテルの中のホテル」ともいわれるザ・リッツ・カールトン・クラブレベルも用意しています。大阪の美しい街並みやスカイビューが一望できる特別な空間で、優雅なご滞在をお楽しみいただけます。

レストラン

「ミシュランガイド京都・大阪2025」に一つ星として掲載されているフランス料理「ラ・ベ」のほか、天ぷらなどの日本料理から広東料理にモダンなエッセンスを加えた中国料理、イタリア料理まで贅を尽くした格別のお料理を各種用意しています。

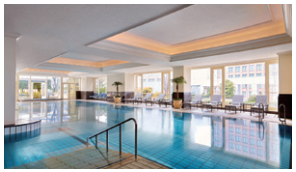
宴会＆会議

最大1,500名収容できるザ・グランド・ボールルームなど、10種の宴会場や会議室があります。18世紀の貴族の邸宅を思わせる気品ある空間、至福のお料理、心のこもったおもてなしで、思い出に残る特別なひと時をお過ごしいただけます。

ウエディング

教会式と神前式のウエディングを行うことができます。また、フォトスタジオ、ビューティーサロン、フラワーブティック、国内ブランドや海外からの多数のブランドを揃えたコスチュームサロンなどをホテル内に完備しています。

スパ＆フィットネス

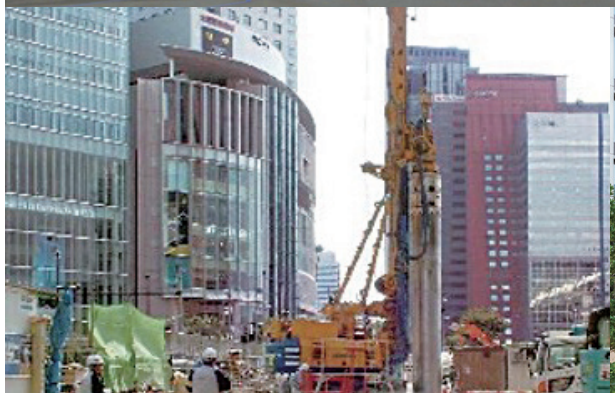


屋内プール、屋外ジャグジー、スチームルームやサウナなどをお楽しみいただけます。

スパのメニューでは、英国生まれのスパブランド「ESPA」やスイス発のラグジュアリーブランド「La Prairie」のプロダクトを使用した、様々なトリートメントを体験いただけます。

建設・環境事業

建設・環境事業では、
公共施設から民間施設にわたる社会・生活インフラの建設工事のほか、
阪神甲子園球場の芝生管理・グラウンド整備なども行っています。



●株式会社ハンシン建設

長年の豊富な経験を基に、総合建設業あるいは専門工事業として、土木、基礎・推進、建築、リニューアルの各事業を展開しています。

土木事業本部

基盤整備・河川・道路・鉄道施設・橋梁などの土木工事について官庁工事、各種公共工事から民間工事まで、豊富な経験と高い技術力を活かし、環境と調和する豊かで快適な暮らしの基盤をつくります。

大阪モノレール下部工事

基礎・推進事業本部

地盤や地質ほか様々な条件に対応可能な工法及び機械を用い、低騒音・低振動・リサイクル率の向上など、環境に配慮した基礎工事、地中障害撤去工事や推進工事を行っています。

梅田３丁目障害撤去工事

建築事業本部

マンション・物流倉庫・学校などあらゆる用途の建物や、太陽光発電施設まで、豊富な施工実績と質の高い技術で、お客さまのご要望に合わせプランニングから施工までワンストップで承ります。

大安亀岡工場新築工事

リニューアル事業本部

当社グループの施設などの改修工事や、既存ビル・マンションなどの大規模修繕、オフィス・商業施設などの入退去・リニューアル工事を行っています。

マンション大規模修繕

●中央電設株式会社

総合設備工事会社として、オフィスビルや商業施設のほか、鉄道施設・野球場などの電気設備工事、空調・衛生設備工事、化学プラントの計装工事も行っています。また、省エネルギー化や再生可能エネルギー導入などのサポートにも取り組んでいます。

内線工事部門

オフィスビルや商業施設、野球場、物流倉庫など建物の電気設備工事を行っています。新築工事、リニューアル・改修工事に対応し、受変電、動力、照明、通信、防災、自動制御といった設備の設計と施工、アフターフォローまでワンストップで提供しています。

阪神甲子園球場

鉄道電気工事部門

当社をはじめ大阪市高速電気軌道㈱、山陽電気鉄道㈱などの鉄道会社における、電車線、信号・通信設備、変電所、駅舎内の鉄道電気設備などの新設・更新・補修を行っています。鉄道における輸送の安全・安定性、お客さまの快適・利便性向上に寄与しています。

甲子園駅

設備工事部門

建物における空調・衛生・給排水・昇降機などの工事を行っています。オフィスビル、商業施設、駅などのリニューアル・改修工事が中心で、工事の際は電車の運行や一般のお客さまに影響がないよう配慮し、お客さまへ安全かつ快適な空間を提供しています。

大阪梅田駅

計装工事部門

プラントにおける計装工事を行っており、新設時は水、空気、ガスなどの流量や圧力・温度・液位・制御弁などの自動計測制御するために必要な計測機器の取付けなどを行っています。また、コンビナート内に常駐し、化学プラント計装の効果が十二分に発揮できるよう、お客さまをサポートしています。

鹿島コンビナート

エネルギーソリューション事業

「省エネ･環境対策のワンストップサービス」として、「調査」「診断」「運用改善」「設備更新」「効果検証」「最適運用」まで、一連のサービスをワンストップで提供し、省エネ化の実現をサポートしています。より豊かな未来の創造に向け、お客さまのエネルギーソリューションを通して持続可能な社会の実現に貢献しています。

兵庫三田太陽光発電所

●阪神園芸株式会社

公園、庭園、修景施設などの造園工事、樹木や花壇などを維持、改善する緑地管理、室内の緑化空間を演出する緑化装飾、阪神甲子園球場をはじめとするグラウンドの整備などを行っています。

造園工事

公園、街路樹、庭園、建物外構といった植栽工事を行います。施設・地域の特性やお客さまのニーズに応じて、デザイン、設計から手がけ、施設の価値を高めます。屋上緑化、壁面緑化といった特殊緑化にも対応します。

大阪梅田ツインタワーズ・サウス

緑地管理、緑化装飾

植栽を適切に維持して美しさを長期間保つとともに、状況に応じた改良でみどり空間の魅力向上を図ります。屋内緑化については、家庭や職場、商業施設などに植栽を導入することで、リラックスできる快適な生活環境を提供します。

阪急西宮ガーデンズ

スポーツ施設整備

阪神甲子園球場において質の高い試合環境を提供することはもとより、ここで得られた経験を基にしたグラウンド整備により、競技場、学校、企業グラウンド、地域のスポーツ広場など、様々なスポーツシーンを創出します。

阪神甲子園球場

FM（ファシリティ・マネジメント）事業

公園をはじめとした人々が集う施設について、施設を適切に管理するとともに、情報発信やイベントなどを通じて利用価値を高め、行政・諸団体・市民の方々と協働して地域の活性化に貢献します。

尼崎駅前 中央公園

魅力あふれる沿線へ

都会の利便性と下町のあたたかさが共存する阪神沿線。
自然・文化・娯楽と、エリアごとに表情の異なるこのまちで、
誰もが「わたしらしさ」を“たいせつ”にしてほしい。
これからも変わらぬあたたかさをそのままに、
ひとりひとりに寄り添った沿線活性化の
取組みを広げていきます。

沿線活性化の取組み

尼崎エリア・甲子園エリアの活性化の取組み

魅力あふれる沿線の実現のため、尼崎や甲子園エリアを「重点取組エリア」とし、地域の関係者(自治体、企業、大学など)と一緒に、阪神沿線の魅力を向上・発信する活動を行っています。

＜尼崎エリア＞

当社は、尼崎市と協定に基づく官民連携のまちづくりを推進しており、2023年から当社を代表とする共同企業体が、中央公園や尼崎城など、尼崎駅周辺公共施設の管理や運営を担い、エリアの賑わいづくりに取り組んでいるほか、2025年3月には、尼崎市と当社が阪急阪神不動産㈱とともに尼崎駅前の中央公園をリニューアルし、公園を中心とした地域の新たな魅力創出を進めています。

そのほか、尼崎信用金庫と共同で、2017年から「てらまちプロジェクト」を展開しており、2024年には、尼崎市役所開明庁舎に地域活性化やまちの新たな魅力づくりに取り組む方へ向けたシェアスペース「AMA-NEST(アマネスト)」を開設し、地域の担い手育成などにも取り組んでいます。

シェアスペース「AMA-NEST」

＜甲子園エリア＞

甲子園駅周辺から甲子園海浜にかけたエリアの特色である、スポーツやレジャーを日常的に楽しめる豊かな環境を生かし、交流・定住人口増加を目指す活動を行っています。西宮市や地域事業者・団体との連携により、「甲子園エリアのPR」、「賑わい創出イベントの実施」などに取り組んでいます。

また、次世代における地域公共交通の確保・維持のため、自動運転の実用化に向けた取組みを推進しており、2022年11月に私有地・公園内での実証実験を、更に2024年4月には甲子園エリアにおいて初となる公道での実証実験を行いました。

自動運転実証実験の様子

UR都市機構との連携

当社は、独立行政法人都市再生機構と地域の交流、暮らし、健康などの分野で相互に協力し、阪神沿線のUR賃貸住宅団地を中心とした地域の活性化に資することを目的とする包括連携協定を2020年3月に締結しました。

当社がこれまで取り組んできた子育て支援やウォーキングなどのイベントをUR賃貸住宅団地と協力して実施しているほか、譲渡した引退車両「赤胴車」が2021年7月にUR武庫川団地内に設置され、交流イベントやマルシェなど、地域のコミュニティ拠点として活用されています。

また、2024年2月には、UR武庫川団地内に「青胴車」の車輪・車軸などの鉄道備品を活用した「阪神電車メモリアルルート」が整備されました。

赤胴車マルシェの様子

「灘の酒蔵」活性化プロジェクト

「灘五郷」は、阪神沿線の神戸から西宮にかけて、西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の五つの地域から成る日本を代表する酒どころです。「灘五郷」の酒蔵や日本酒の魅力を多くの方に発信し、足を運んでいただくことを目的として、2017年から、灘五郷酒造組合、神戸市及び西宮市と連携し、『「灘の酒蔵」活性化プロジェクト』に取り組んでいます。

ラッピングトレインの運行や酒蔵の最寄り駅の装飾、旅行博への出展、各種イベントの開催など、「灘五郷」地域を盛り上げるための取組みを行っています。

旅行博への出展の様子

沿線医療機関との連携

阪神沿線は医療機関が充実し、安心して暮らせる沿線であるということを多くの方に知っていただくとともに、沿線住民の健康意識を高めるための取組みを兵庫医科大学をはじめとする多くの沿線医療機関と連携して推進しています。

2015年3月から、健康増進に役立つ情報を提供する「阪神沿線健康講座」を定期的に開催しているほか、2016年8月からは、お子さまからシニアまでの幅広い世代が最新の医療や健康について楽しく学べる体験型イベント「なるほど医学体験！HANSHIN健康メッセ」を開催しています。

HANSHIN健康メッセの様子

はんしん子育て沿線 tetotte(てとって)

子どもやママ・パパ、子育てを見守る皆さんに寄り添い、まるごと笑顔でいられる沿線を目指して、「はんしん子育て沿線tetotte」を2024年4月からスタートしました。

0～2歳児の親子の交流イベント「チアフル親子カフェ」や沿線の公園を遊具・設備など様々な条件で検索できる「公園ガイド」など、子育て層に向けた取組みを展開しています。

「阪神間」ブランド発信のための取組み

2017年から、沿線の自治体と連携し、「阪神間連携ブランド発信事業」を行っています。これは、明治から昭和にかけて阪神間で生まれた、先進的で上質な文化や生活様式「阪神間モダニズム」を受け継ぐ地域の魅力を発信し、地域の活性化と都市ブランドの向上を図るための取組みです。

その一環として、実際に街を巡って現代の阪神間モダニズム文化を楽しむことができる「阪神間お散歩マップ」の発行や「阪神間モダニズム」に関する情報発信などを行っており、今後も継続して魅力発信に取り組んでいきます。

阪神間お散歩マップの発行

武庫川女子大学との連携

鳴尾・武庫川女子大前駅高架下空間の有効活用策の検討を機に、当社と武庫川女子大学は、包括連携協定を2018年12月に締結し、経営学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、社会情報学部などと産学連携の取組みを実施しているほか、鳴尾・甲子園エリアを中心とする沿線での「地域と共生するまちづくり」を目指し、ミニコミ誌「なるお通信」の発行や「鳴尾ふれあいイベント」の開催など、駅周辺地域のエリアマネジメント活動に連携して取り組んでいます。この取組みが評価され、2022年のグッドデザイン賞((公財)日本デザイン振興会)を受賞しました。

鳴尾ふれあいイベント

WEBやSNSによる取組み・沿線情報の発信

沿線の価値向上に向けた様々な取組みに関する情報発信と、新たな連携先の発掘を目的に、WEBサイト「エンカチ」(https://hanshin-enkachi.com/)を2023年3月に開設しました。沿線価値創造推進室が関わるイベント情報や各取組みの概要、各取組みで制作した冊子のデジタルアーカイブ、阪神沿線が大好きな一般ライターが沿線のオススメを取材・紹介するコラムなどを掲載しています。

また、LINE公式アカウント「阪神沿線【エンカチNEWS】」を2024年4月に開設し、沿線の旬なイベントやお出かけ、グルメなどの情報を定期的に発信しています。

サステナビリティの取組み

当社は、経営理念である「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客さまの喜びを実現し、社会に貢献するために、当社グループのありたい姿として、「沿線」・「会社」・「社員」の姿や、これらが達成された先の「社会」の姿を掲げています。これらのありたい姿の実現に向けた取組みを推進することにより、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境保全活動

当社では、企業行動指針に盛り込まれた環境保全への積極的な取組みを実行するための行動原則である「環境方針」を定め、環境の保全や資源の保護に配慮した事業活動を推進しています。

環境方針

当社は、企業行動指針に基づき、環境に配慮した事業活動を推進し、持続的に発展可能な社会の構築に寄与するため、次のとおり環境方針を定める。

5700系

(1) エネルギー効率の高い交通機関である鉄道の事業者として、安全で快適な輸送を提供するとともに、その利用促進に努めます。

(2) 環境に関連する法規制や当社が様々な関係者との間で取り決めた事項を遵守するとともに、必要に応じ自主基準を策定して環境保全に努めます。

(3) 事業活動による環境への影響を認識し、環境の保全に関する目標の設定と達成に向けた取組み及びデータに基づいた効果の検証を行い、環境保全活動の継続的改善を図ります。

(4) 省資源・省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルを図り、また、環境汚染物質の発生の抑制、適正な管理・処分を行い、環境負荷の低減や資源の保護に努めます。

(5) 社員に対する環境教育や啓発活動により、社員自らが自主的に環境保全活動を遂行できるよう、社員一人ひとりの環境問題に対する意識の向上に努めます。

(6) 地域社会を構成する一員として環境保全活動の取組みを推進し、地域社会に貢献します。

(注) 各事業における環境への具体的な取組みにつきましては、それぞれの事業のページでご紹介しています(都市交通P.38、不動産P.60、スポーツ・エンタテインメントP.71・P.74)。

子ども向けの取組み

下敷きの贈呈

2008年春から毎年、沿線の小学校に通う新一年生に、沿線のイラストマップなどをデザインした阪神電車オリジナル下敷きを贈呈し、次世代を担う子どもたちのファンを作り、将来の鉄道利用の促進につなげています。

2025年度の下敷きデザイン

「ぼくとわたしの阪神電車」絵画募集

開業100周年を記念して、2005年から「ぼくとわたしの阪神電車」をテーマとした絵画コンクールを行っています。毎年、子どもらしい想像力豊かな阪神電車の絵が多数集まり、その中から、大賞に選ばれたお子さまに、1日駅長を体験いただいています。

2024年度大賞受賞作品

キッザニア甲子園への出展

2009年開業の子ども向け職業・社会体験施設「キッザニア甲子園」に、阪急阪神ホールディングス㈱と連携して、電車パビリオンを出展しています。運転士・車掌の業務を体験していただくことを通じて、安心で快適な生活の足を提供する当社の仕事や、その大切さを子どもたちに伝えています。

「キッザニア甲子園」の電車パビリオン

社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の推進

阪急阪神ホールディングスグループは、100年以上の長きにわたり、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に育まれ、信頼関係を築いてきました。これからの100年も、この地域社会の一員として歩んでいくために、2009年4月から、当社でも社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。

阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト

私たちは、未来へつなぐ
「地域環境づくり」と「次世代の育成」に
貢献します。

基本方針

阪急阪神沿線を中心に、私たち一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指します。

重点領域

地域環境づくり
地域コミュニティが安全・安心かつ文化的で、環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくりに取り組みます。

次世代の育成
未来の地域社会を担う人材である子どもたちが、夢を持って健やかに成長する機会を創出します。

①企業での協働
グループ各社の社会貢献活動の推進

②地域社会との協働
資金や広報協力を通じた市民団体の支援

③従業員との協働
従業員・OBの社会貢献活動の促進

健康経営の取組み

当社では、「健康経営」という視点から、従業員やその家族の健康に対する認識を明確にすることにより、一人ひとりの健康意識の向上と働きやすい職場の実現を推進するために、2018年6月に「健康宣言」を制定しています。

●健康宣言

阪神電気鉄道では、従業員やその家族の心身の「健康」が、幸せの源泉であるとともに、会社の豊かな未来の礎であると考えています。

また、お客様に「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けするためには、みんなが健康で多様な個性や能力を最大限に発揮することが何よりも大切です。

これを実現するために、私たちは自らの健康に高い意識を持ち、職場の仲間や家族とともに健康づくりに取り組みます。

ここに阪神電気鉄道は、会社と健康保険組合が一体となって、「阪急阪神Wellnessチャレンジ」をスローガンに、一人ひとりの健康づくりを積極的に支援するとともに、生き活きと働くことができる職場環境づくりに努めることを宣言します。

阪神電気鉄道株式会社
代表取締役社長 健康経営推進責任者
久須 勇介

健康経営の推進体制は、経営トップ(社長)が健康経営推進責任者に就き、責任者が委嘱する取締役を委員長とする「健康経営推進委員会」を設置して、具体的な施策を検討・実施しています。また、人事部が推進役として、委員会の運営や従業員への施策の展開などを行っています。

このほか、当社では、「生活習慣病」、「喫煙による健康障害」、「がん」、「精神系疾患」、「長時間労働による健康障害」の5つの健康課題に対して、それぞれ健康投資を行っています。

●2024年度の主な取組み

・野菜摂取強化イベント(本社及び現場食堂における野菜摂取量測定、野菜摂取強化メニュー提供など)の開催
・ヘルスリテラシー向上のためのe-ラーニング・がんに関する健康セミナーの実施など

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門 ホワイト500

これらの取組みが評価され、2025年3月10日、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2025(大規模法人部門(ホワイト500))」に認定されました。当社が認定されるのは6回目となります。

健康経営優良法人2025認定グループ会社一覧

大規模法人部門(ホワイト500)	大規模法人部門	中小規模法人部門
アイテック阪急阪神㈱	㈱ウエルネス阪神 ㈱ベイ・コミュニケーションズ	阪神車両メンテナンス㈱ 阪神ケーブルエンジニアリング㈱ ㈱ハンシン建設 中央電設㈱ 阪神園芸㈱

コンプライアンス

当社が社会の一員として活動し、ステークホルダー（利害関係者）との良好な関係を維持しながら持続的に成長・発展していくためには、コンプライアンスに対する感度を高め、組織的にコンプライアンス遵守の徹底を図っていく必要があります。

当社では、「企業行動指針」の下、「コンプライアンスに関する役職員の行動基準」を制定し、役職員がコンプライアンスを実践するうえでの指針とするほか、「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンスの推進体制を構築しています。また、同規程の中で、コンプライアンスを「法令、会社の定める諸規程その他企業倫理に則って誠実に行動することにより、株主、取引先、社員、地域住民その他の利害関係者の期待に応えること」と定義し、コンプライアンスの推進に積極的に取り組んでいます。

教育・啓発

階層別にコンプライアンス研修を実施するほか、阪急阪神ホールディングス㈱と連携して各種法令等に関する法務セミナーを開催しています。また、阪神グループ コミュニケーションマガジン「HANSHIN」を活用して定期的にコンプライアンス情報を発信することにより、コンプライアンス意識の浸透に努めています。

更に、毎年11月を「コンプライアンス強化月間」と定め、コンプライアンス推進に関する各種施策を集中的に実施するなど、コンプライアンス遵守に対する取組みの強化を図っています。

コンプライアンス相談制度

役員、社員、アルバイト、派遣社員等、雇用形態を問わず、グループ会社を含む全ての役職員（退職後1年以内の役職員及び取引先関係者も含みます。）が利用できるコンプライアンス相談窓口を設置しています。また、役職員が相談窓口を利用しやすいよう、電話やメール、面談等、複数の利用方法を設け、コンプライアンス上の問題を早期に把握し、違反を防止又は是正する体制を整備しています。

「阪神グループ カスタマーハラスメントに対する基本方針」の策定

当社グループでは、お客様からのお申出やお問合せについては、常に誠実かつ公正に対応し、サービスの質の向上を目指しています。一方で、当社グループが引き続き質の高いサービスを提供していくためには、従業員が心身ともに安心して働くことができる職場環境を整えることも重要であると考えています。そこで「阪神グループ カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定し、カスタマーハラスメントに該当する行為に毅然と対応することを明確にしています。

リスク管理

当社では、「リスク管理規程」に従い、リスクの現実化の未然の防止及びリスクが現実化したときの損失の最小化を図るため、グループ全体を対象として、定期的にリスク調査を実施しています。

また、当社及びグループ会社のリスクに関する情報の共有やリスク現実化時における対応策等の協議を行うため、定期的にリスク管理委員会を開催し、現実化したリスクを含め、取締役会に重大なものについて報告しています。

資　料

会社の概要等

会社概要・社章

●会社の概要

会　社　名	阪神電気鉄道株式会社 （HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.）
設　　立	1899（明治32）年6月12日
営業開始	1905（明治38）年4月12日
本　　社	大阪市福島区海老江1丁目1番24号（〒553-8553）
東京事務所	東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル17階（〒100-0006）
資　本　金	29,384,485,857円
主な事業内容	1 鉄道事業（電気鉄道業48.9㎞） 2 不動産事業（賃貸業など） 3 スポーツ・レジャー事業（野球場などの経営）
営業収益	86,780百万円（2024年度）
従　業　員	1,547人（出向受入者、出向などの休職者を含む。2025年4月1日現在）
U　R　L	https://www.hanshin.co.jp/

社章の由来

レールの断面を稲妻で囲み、電気鉄道の意味を簡明に象徴しています。

1905（明治38）年に大阪～神戸間の鉄道営業を開始したころの同業者は、京都、名古屋、大師の各電鉄のほか、1903（明治36）年に電車に代わった東京の馬車鉄道と大阪の築港～花園橋間に走った魚釣り電車しかなく、いずれも小型の市内電車で、本格的な広軌高速による都市間大型電車の運行は、当社が最初でした。

したがって、電気鉄道であることを表す以外に、他社との識別の必要がなかった当時の特色が、よくうかがわれます。

役員

	氏　名	担当又は主な職業
代表取締役 取締役会長	秦（しん）　雅夫（まさお）	㈱阪神タイガース代表取締役・取締役会長 山陽電気鉄道㈱取締役
代表取締役 社　長	久須（くす）　勇介（ゆうすけ）	阪急阪神ホールディングス㈱代表取締役・副社長
代表取締役 副社長	佐々木（ささき）　浩（ひろし）	社務総括並びに総務部、人事部、 建設・環境統括部及び東京事務所担当
常務取締役	森永（もりなが）　純（じゅん）	不動産事業本部担当 阪急阪神不動産㈱代表取締役・専務執行役員
常務取締役	谷本（たにもと）　修（おさむ）	経営企画室担当
常務取締役	巽（たつみ）　清和（きよかず）	情報・通信事業本部及び デジタル経営推進室（正）担当
常務取締役	上戸（じょうと）　健司（けんじ）	スポーツ・エンタテインメント事業本部担当
常務取締役	原田（はらだ）　大（ひろし）	都市交通事業本部（正）担当 神戸高速鉄道㈱代表取締役・社長 西大阪高速鉄道㈱代表取締役・社長
取締役	村田（むらた）　豊喜（とよき）	沿線価値創造推進室及びブランド経営推進室 並びに都市交通事業本部（副）担当
取締役	柚木（ゆのき）　邦夫（くにお）	㈱阪神ホテルシステムズ代表取締役・社長
取締役	粟井（あわい）　一夫（かずお）	㈱阪神タイガース代表取締役・社長
取締役	川村（かわむら）　嘉則（よしのり）	
取締役	嶋田（しまだ）　泰夫（やすお）	阪急阪神ホールディングス㈱代表取締役・社長 グループCEO、阪急電鉄㈱代表取締役・社長
常任監査役	橋本（はしもと）　一範（かずのり）	阪急阪神ホールディングス㈱ 取締役監査等委員（常勤）
常任監査役 （常勤）	西野（にしの）　暁（さとる）	
監査役 （常勤）	上田（うえだ）　晋也（しんや）	
監査役	濵岡（はまおか）　峰也（みねや）	弁護士（清和法律事務所）
監査役	石井（いしい）　淳蔵（じゅんぞう）	
執行役員	福浦（ふくうら）　秀哉（ひでや）	都市交通事業本部（副）担当
執行役員	山本（やまもと）　隆弘（たかひろ）	デジタル経営推進室（副）担当
執行役員	信本（のぶもと）　秀夫（ひでお）	

取締役会長
秦　雅夫

社　長
久須　勇介

副社長
佐々木　浩

常務取締役
森永　純

常務取締役
谷本　修

常務取締役
巽　清和

常務取締役
上戸　健司

常務取締役
原田　大

取締役
村田　豊喜

執行役員
福浦　秀哉

執行役員
山本　隆弘

執行役員
信本　秀夫

（2025年7月1日現在）

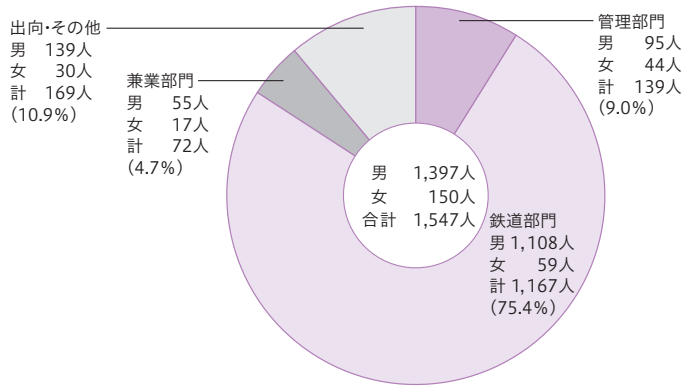
組織図

- 取締役会
- 社長
- 経営会議
- 監査役
  - 監査役協議会
- 経営企画室
- 沿線価値創造推進室
- ブランド経営推進室
- デジタル経営推進室
- 総務部
- 人事部
- 都市交通事業本部
  - 都市交通計画部
  - 運輸部
    - 営業課
    - 運転課
    - 教習所
      - 東部列車所
      - 西部列車所
      - 梅田駅
      - 尼崎駅
      - 甲子園駅
      - 御影駅
      - 神戸駅
      - 新開地駅
  - 電気部
    - 技術課
    - 電力課
    - 通信課
  - 車両部
    - 車両課
    - 検車課
  - 工務部
    - 技術課
    - 施設課
    - 保線課
- 不動産事業本部
  - 不動産事業部
- スポーツ・エンタテインメント事業本部
  - スポーツ・エンタテインメント統括部
  - 甲子園事業部
- 情報・通信事業本部
  - 情報・通信統括部
- 建設・環境統括部
- 東京事務所
- 内部監査部
- 監査役スタッフ

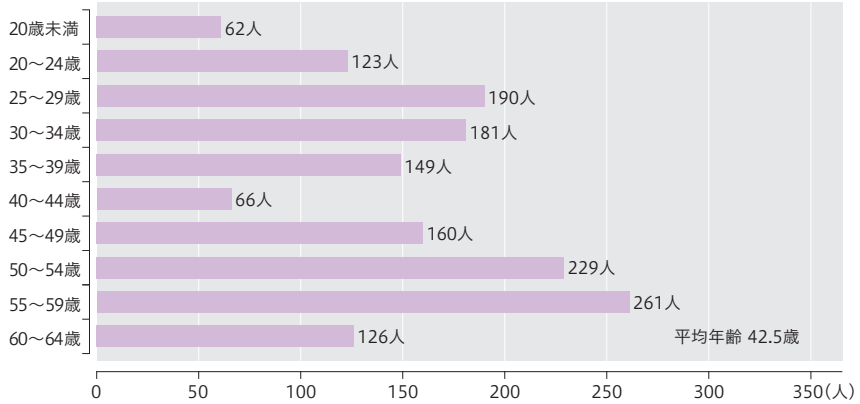
（2025年7月1日現在）

従業員

●部門別労務構成



●年齢別人員構成



（注）上記には、出向受入者、出向などの休職者を含んでいます。

（2025年4月1日現在）

財務諸表

●貸借対照表

（百万円未満切捨て）

科目 ＼ 年度	2025年 3月31日現在	2024年 3月31日現在
（資産の部）	百万円	百万円
流動資産	**20,795**	**20,625**
現金及び預金	637	810
預け金	5,065	7,729
未収運賃	3,558	3,279
未収金	5,348	5,143
未収消費税等	907	-
販売土地及び建物	791	791
貯蔵品	1,197	1,192
前払費用	309	364
その他の流動資産	2,978	1,314
固定資産	**386,629**	**367,666**
鉄道事業固定資産	84,090	82,007
兼業固定資産	206,816	194,421
各事業関連固定資産	1,436	1,436
建設仮勘定	7,172	6,890
投資その他の資産	87,112	82,909
関係会社株式	24,189	24,144
投資有価証券	47,851	43,304
長期貸付金	0	1
長期前払費用	4,422	4,602
その他の投資等	10,652	10,860
貸倒引当金	△3	△3
資産合計	**407,424**	**388,292**

科目 ＼ 年度	2025年 3月31日現在	2024年 3月31日現在
（負債の部）	百万円	百万円
流動負債	**58,435**	**53,453**
短期借入金	6,764	6,464
未払金	16,819	15,003
未払費用	586	726
未払消費税等	-	748
未払法人税等	3,171	2,327
預り連絡運賃	1,219	1,141
預り金	24,367	21,633
前受運賃	1,908	1,827
前受金	2,317	2,270
賞与引当金	743	718
その他の流動負債	536	592
固定負債	**191,498**	**183,032**
長期借入金	145,723	138,848
繰延税金負債	8,382	6,696
退職給付引当金	5,634	5,934
その他の固定負債	31,758	31,552
負債計	**249,933**	**236,485**
（純資産の部）		
株主資本	**137,096**	**134,335**
資本金	29,384	29,384
資本剰余金	19,497	19,497
資本準備金	19,495	19,495
その他資本剰余金	2	2
利益剰余金	88,214	85,453
利益準備金	4,640	4,640
その他利益剰余金	83,574	80,813
固定資産圧縮積立金	1,016	1,016
別途積立金	4,635	4,635
繰越利益剰余金	77,921	75,160
評価・換算差額等	**20,394**	**17,470**
その他有価証券評価差額金	20,394	17,470
純資産計	**157,490**	**151,806**
負債・純資産合計	**407,424**	**388,292**

（参考）自己資本比率（$\frac{自己資本}{使用総資本}$ × 100）　2024年度末 38.7%　2023年度末 39.1%

●損益計算書

（百万円未満切捨て）

科目 ＼ 年度		2024年4月 1日から 2025年3月31日まで	2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	比較増減額
		百万円	百万円	百万円
鉄道事業	営業収益	38,183	36,937	1,245
	営業費	31,271	29,964	1,307
	営業利益	6,911	6,973	△62
兼業	営業収益	48,597	47,386	1,211
	営業費	37,991	35,989	2,002
	営業利益	10,605	11,396	△790
全事業	営業収益	86,780	84,323	2,457
	営業費	69,263	65,953	3,310
	営業利益	17,517	18,370	△853
営業外収益		4,047	3,016	1,031
営業外費用		2,283	2,173	109
経常利益		19,281	19,212	68
特別利益		2,811	632	2,179
特別損失		4,489	1,897	2,591
税引前当期純利益		17,603	17,946	△343
法人税、住民税及び事業税		4,318	4,613	△294
法人税等調整額		39	229	△189
当期純利益		13,244	13,104	140

●連結貸借対照表

（百万円未満切捨て）

科目 ＼ 年度	2025年 3月31日現在	2024年 3月31日現在
（資産の部）	百万円	百万円
流動資産	**124,371**	**121,670**
現金及び預金	9,184	10,973
預け金	56,426	52,250
受取手形及び売掛金	42,647	44,971
販売土地及び建物	779	778
商品及び製品	2,121	1,871
仕掛品	2,182	1,692
原材料及び貯蔵品	2,650	2,404
その他	8,649	6,997
貸倒引当金	△270	△268
固定資産	**411,407**	**391,733**
有形固定資産	312,082	306,139
建物及び構築物	192,596	190,525
機械装置及び運搬具	13,505	11,421
土地	87,648	87,615
建設仮勘定	7,669	7,667
その他	10,661	8,909
無形固定資産	13,971	5,036
投資その他の資産	85,353	80,557
投資有価証券	57,874	53,071
繰延税金資産	7,068	6,773
退職給付に係る資産	1,993	2,024
その他	18,432	18,710
貸倒引当金	△15	△21
資産合計	**535,779**	**513,403**

科目 ＼ 年度	2025年 3月31日現在	2024年 3月31日現在
（負債の部）	百万円	百万円
流動負債	**81,804**	**80,373**
支払手形及び買掛金	14,967	14,828
短期借入金	6,873	6,864
未払金	18,159	19,312
未払法人税等	6,384	5,738
賞与引当金	2,751	2,473
その他	32,668	31,155
固定負債	**205,001**	**197,828**
長期借入金	148,523	142,998
繰延税金負債	8,522	6,956
退職給付に係る負債	14,049	14,857
長期預り敷金	27,145	26,712
その他	6,761	6,302
負債計	**286,806**	**278,201**
（純資産の部）		
株主資本	**201,376**	**192,307**
資本金	29,384	29,384
資本剰余金	21,441	21,444
利益剰余金	150,551	141,478
その他の包括利益累計額	**21,500**	**18,666**
その他有価証券評価差額金	20,586	17,692
繰延ヘッジ損益	△12	22
退職給付に係る調整累計額	926	951
非支配株主持分	**26,095**	**24,227**
純資産計	**248,973**	**235,201**
負債・純資産合計	**535,779**	**513,403**

●連結損益計算書

（百万円未満切捨て）

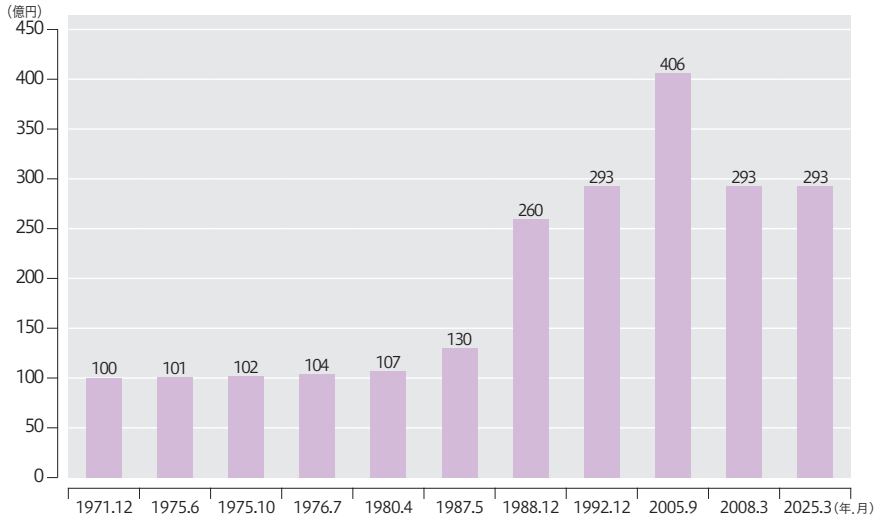
科目 ＼ 年度	2024年4月 1日から 2025年3月31日まで	2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	比較増減額
	百万円	百万円	百万円
営業収益	239,725	232,881	6,844
営業費	207,151	198,958	8,193
運輸業等営業費及び売上原価	193,126	185,801	7,324
販売費及び一般管理費	14,025	13,156	868
営業利益	32,573	33,923	△1,349
営業外収益	2,142	1,625	517
営業外費用	2,501	2,295	205
経常利益	32,215	33,253	△1,037
特別利益	2,939	829	2,109
特別損失	4,722	2,367	2,354
税金等調整前当期純利益	30,432	31,715	△1,283
法人税、住民税及び事業税	9,276	9,754	△478
法人税等調整額	△463	321	△785
当期純利益	21,618	21,639	△20
非支配株主に帰属する当期純利益	2,059	1,902	156
親会社株主に帰属する当期純利益	19,559	19,737	△177

●連結子会社（2024年度。27社）

神戸六甲鉄道㈱	㈱日本プロテック
阪神バス㈱	ユミルリンク㈱
阪神タクシー㈱	㈱ROC
㈱ハックス阪神	㈱アールワークス
大阪阪神タクシー㈱	㈱ミマモルメ
㈱阪神ステーションネット	姫路ケーブルテレビ㈱
阪神車両メンテナンス㈱	㈱ベイ・コミュニケーションズ
㈱阪神タイガース	BAN-BANネットワークス㈱
㈱阪神コンテンツリンク	阪神ケーブルエンジニアリング㈱
㈱ピーアンドピー浜松	㈱阪神ホテルシステムズ
㈱ウエルネス阪神	㈱ハンシン建設
六甲山観光㈱	中央電設㈱
アイテック阪急阪神㈱	阪神園芸㈱
㈱システム技研	

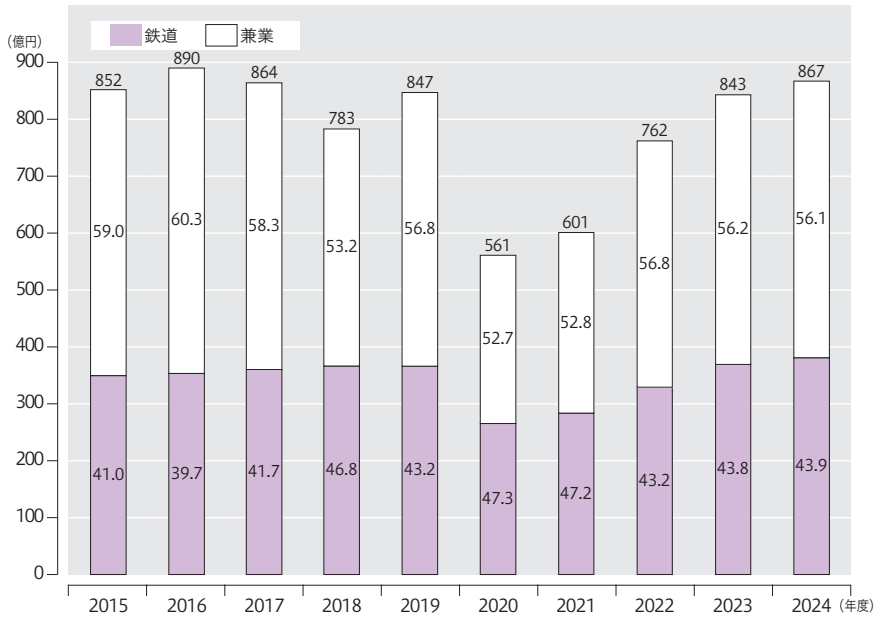
資本金・営業収益の推移

●資本金の推移



●営業収益の推移

グラフ内の数字は構成比(%)



資　料

沿革・歴代社長・年譜

沿革

当社は、1899年6月12日に資本金150万円で設立されました。設立当初の社名は、摂津電気鉄道株式会社でしたが、同年7月に現在の社名に変更しました。

設立後、当社は、1905年4月に鉄道事業を、1909年9月に不動産事業を、それぞれ開始するなど次第に事業を拡大していきました。

その後、当社は、2006年10月1日に株式交換により阪急ホールディングス株式会社(同日、商号を「阪急阪神ホールディングス株式会社」に変更)と経営統合し、同社の完全子会社となりました。2025年4月12日には開業120周年を迎えました。

各事業部門別の沿革は、次のとおりです。

都市交通事業

1905年4月12日、現在の本線である大阪(出入橋) ～神戸(三宮)間の営業を開始しました。その後、大阪側は梅田まで、神戸側は元町まで路線を延長するとともに、大正から昭和の初めにかけて、北大阪線、伝法線、甲子園線、国道線、尼崎海岸線及び武庫川線を建設しましたが、1975年までに併用軌道線等を廃止し、営業路線は、本線、西大阪線(伝法線を改称)及び武庫川線の3路線となりました。

1968年4月には、神戸高速線の開通を機に、山陽電気鉄道株式会社との相互直通運転(大石～山陽須磨浦公園間)を開始し、1998年2月には、相互直通運転区間を梅田～山陽姫路間に延長しました(この間、鉄道事業法の制定・施行に伴い、1988年4月に神戸高速線(元町～西代間)が第二種鉄道事業路線となりました。)。

2009年3月には、阪神なんば線西九条～大阪難波間を開業(従前の西大阪線尼崎～西九条間も阪神なんば線に改称)し、近畿日本鉄道株式会社との相互直通運転(神戸三宮～近鉄奈良間)を開始しました。

2010年10月には、神戸高速線(元町～西代間)を当社が主体となり、運営する体制に変更しました。

施設面においては、1960年代から線路の立体化に着手(現在の立体化率は本線95%・阪神なんば線90%)するとともに、PTCや駅務管理システムの導入等により駅や運転施設を自動化し、大幅な省力化を実現しました。また、ATSの設置や車両の冷房化、エスカレーター・エレベーターや待合室の設置、ホームドアの設置など駅の改良等を行い、運転保安と旅客サービスの両面で高いレベルの輸送体制を確立しています。

なお、2024年4月、六甲山事業の再編に伴い、六甲ケーブルの資産を承継し、同ケーブルの第三種鉄道事業者となりました(神戸六甲鉄道株式会社が第二種鉄道事業者として運行・設備管理を行う上下分離方式を導入しています。)。

不動産事業

1909年9月に貸家経営を開始した後、1933年9月の三宮阪神ビルディングの竣工、1963年6月の大阪神ビルディングの竣工を経て西梅田開発事業に着手し、1997年3月に梅田阪神第1ビルディング(愛称「ハービスOSAKA」)を、2004年11月に梅田阪神第2ビルディング(愛称「ハービスENT」)を、それぞれ開業するなど、事業規模を拡大してきました。また、2015年7月からは、阪神百貨店(阪神梅田本店)が入居する大阪神ビルディングと、隣接する新阪急ビルの建替計画「梅田1丁目1番地計画」に着手し、2022年2月に竣工(ビル名称は「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」)、同年3月に開業しました(阪神梅田本店のグランドオープンは同年4月)。

これらの開発事業・賃貸事業に加え、関西圏や首都圏における「ハピア」ブランドの住宅分譲などの販売業を営んでいましたが、2018年4月1日付けで阪急阪神不動産株式会社に事業を移管しました。なお、引き続き、梅田を初めとする沿線の賃貸・開発用不動産については、当社が保有しています。

スポーツ・エンタテインメント事業

甲子園地区において、1924年8月に「野球の聖地」として、また、阪神タイガースの本拠地として全国的に有名な甲子園球場(現 阪神甲子園球場)を、1926年5月に甲子園庭球場を、それぞれ開設しました。阪神甲子園球場については、2007年10月から3期にわたり全面的なリニューアル工事を進め、2010年3月、甲子園歴史館の新設を含む第Ⅲ期工事が完了し、全てのリニューアル工事が完了しました。更に、2022年3月には、商業施設「甲子園プラス」に「甲子園歴史館」の展示エリアを一部移転・拡張しました。なお、2024年8月、阪神甲子園球場が開場100周年を迎えました。

尼崎地区においては、2025年2月に阪神タイガース新ファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」を開設しました。

また、六甲山地区においては、六甲高山植物園(1933年5月開設)、六甲山カンツリーハウス(1937年6月開設。現 六甲山アスレチックパークGREENIA(グリーニア))、六甲山〈人工〉スキー場(1964年1月開設。現 六甲山スノーパーク)を初めとする施設を相次いで開設しました。なお、2013年4月、これらの事業(各施設は引き続き当社が所有)を阪神総合レジャー株式会社に譲渡しました(現在は六甲山観光株式会社が運営)。

また、情報サービスや放送・通信を営む情報・通信事業を、当社グループのフロー型ビジネスの中核と位置付け、更なる成長を図っていくこととし、それに向けた体制を整備するため、2019年4月1日に情報・通信事業本部を新設しました。

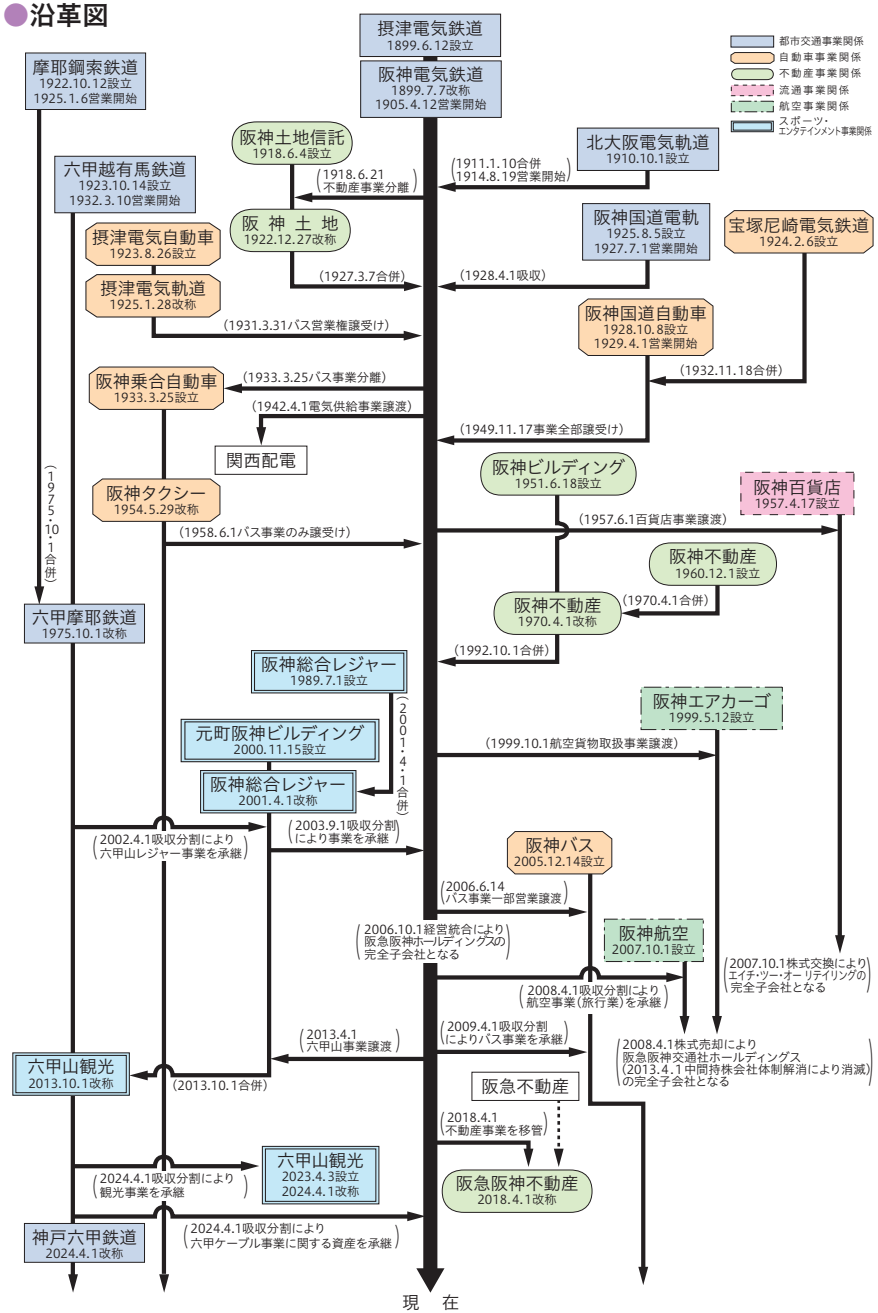
なお、1929年に開始(その後、1933年に分離し、1949年に阪神国道自動車株式会社の営業全部を譲り受けて再開)した自動車事業(バス事業)は、2009年4月、会社分割により阪神バス株式会社に完全分社化しました。また、1948年11月に航空代理店業を開始して以来、直営で行ってきた航空事業(旅行業)は、2008年4月、会社分割により阪神航空株式会社に承継し、1999年10月に阪神エアカーゴ株式会社に譲渡した航空貨物取扱事業と共に、阪急阪神ホールディングスグループの事業再編として、株式会社阪急阪神交通社ホールディングス(現 株式会社阪急交通社・株式会社阪急阪神エクスプレス)に経営を移管しました。

このほか、株式会社阪神タイガースを初め多くのグループ会社を設立して、経営を多角化しているほか、阪急阪神ホールディングスグループの中核会社として、他の中核会社と共に、グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立を図り、企業価値の向上に取り組んでいます。

また、当社グループは2006年11月からコア事業管理体制に移行し、都市交通事業、不動産事業、スポーツ・エンタテインメント事業、情報・通信事業等の事業分野ごとに当社内の管理担当部が管理することにより、意思決定と管理体制の明確化や経営効率の向上を図っています。

そして、2024年1月以降、当社グループでは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、阪神らしさを表す3つの提供価値(あたたかさ・ほんまもん・先進性)を各事業を通じて実体化し、「阪神ブランド」としてお客さまにお届けするブランド価値経営を推進しています。

●沿革図



歴代社長

	氏　名	就　任　年　月
初代	外山脩造（とやましゅうぞう）	1899（明治 32）年　6月
2	㊐ 杉村正太郎（すぎむらしょうたろう）	1905（明治 38）年 12月
3	㊐ 今西林三郎（いまにしりんざぶろう）	1907（明治 40）年　5月
4	片岡直輝（かたおかなおてる）	1917（大正　6）年 11月
5	㊀ 三崎省三（みさきせいぞう）	1922（大正 11）年　4月
6	小曽根喜一郎（おぞねきいちろう）	1927（昭和　2）年　5月
7	島徳蔵（しまとくぞう）	1927（昭和　2）年 10月
8	堀啓次郎（ほりけいじろう）	1931（昭和　6）年 10月
9	今西与三郎（いまにしよさぶろう）	1935（昭和 10）年　4月
10	小曽根貞松（おぞねたけまつ）	1946（昭和 21）年 10月
11	成瀬達（なるせたつ）	1950（昭和 25）年　4月
12	野田誠三（のだせいぞう）	1951（昭和 26）年　8月
13	福西清（ふくにしきよし）	1967（昭和 42）年 11月
14	野田忠二郎（のだちゅうじろう）	1968（昭和 43）年　1月
15	田中隆造（たなかたかぞう）	1978（昭和 53）年　6月
16	久万俊二郎（くましゅんじろう）	1982（昭和 57）年　6月
17	手塚昌利（てづかまさとし）	1992（平成　4）年 12月
18	西川恭爾（にしかわきょうじ）	2004（平成 16）年　6月
19	坂井信也（さかいしんや）	2006（平成 18）年　6月
20	藤原崇起（ふじわらたかおき）	2011（平成 23）年　4月
21	秦雅夫（しんまさお）	2017（平成 29）年　4月
22	久須勇介（くすゆうすけ）	2023（令和　5）年　4月

（注）㊐は専務取締役、㊀は代表取締役が、それぞれ正式の役名であったことを示します。

年譜

1893(明治 26)	12. 27	神阪電気鉄道株式会社(1894.3.22摂津電気鉄道株式会社に商号変更)を設立発起
1899(明治 32)	6. 12	摂津電気鉄道株式会社の設立免許(資本金150万円)
	7. 7	阪神電気鉄道株式会社に商号変更
	10. 18	創立登記
1905(明治 38)	4. 12	神戸(三宮) ～大阪(出入橋)間の営業開始(大型ボギー8輪車20両を使用、運転時間90分、12分間隔) 出入橋付近を走る旧1号車両
	5. 29	運転時間を80分に短縮(10分間隔)
	7.	打出海水浴場を開設(関西初、1907.7.18香櫨園浜に移設(1965.6.29廃止))
1906(明治 39)	12. 21	出入橋～梅田間の仮線(単線)の営業開始
1907(明治 40)	4. 1	香櫨園遊園地を開設(1913.9廃止)
1908(明治 41)	10. 5	電灯電力供給事業の営業開始 開業当初の尼崎発電所
1909(明治 42)	9. 30	西宮停留場前に貸家30戸が完成(土地建物賃貸業を開始)
1910(明治 43)	10. 1	北大阪電気軌道株式会社を設立
1911(明治 44)	1. 10	北大阪電気軌道株式会社を合併
1912(大正 元)	11. 1	神戸市内延長線(三宮～滝道間)の営業開始
1914(大正 3)	6. 12	本線出入橋以東の変更線(複線)の営業開始
	8. 19	北大阪線(野田～天神橋筋六丁目間)の営業開始
	12. 25	貨物運輸営業を開始(1931.8.1廃止)
1916(大正 5)	3.	鳴尾運動場を開設(1924.8.1閉鎖)
1918(大正 7)	6. 4	阪神土地信託株式会社(1922.12.27阪神土地株式会社に商号変更)を設立
1921(大正 10)	11. 1	家庭電気供給を開始
	11. 7	本線急行運転及び2両連結運転開始 (2両連結は電鉄界初、運転時間急行56分、普通63分、6分間隔で交互に発車)
1922(大正 11)	11. 8	本線急行の追越運転を開始(西宮で追越し)
1924(大正 13)	1. 20	伝法線大物～伝法間の営業開始
	2. 6	宝塚尼崎電気鉄道株式会社を設立
	8. 1	伝法線伝法～千鳥橋間の営業開始
	8. 1	甲子園球場(1964.2.14阪神甲子園球場と改称)を開設、鳴尾運動場を閉鎖 阪神甲子園球場
	8. 13	甲子園球場において朝日新聞社主催第10回全国中等学校優勝野球大会を開催(以後、現在まで開催)

1925(大正 14)	3. 31	甲子園球場において毎日新聞社主催第2回全国選抜中等学校野球大会を開催(以後、現在まで開催)
	8. 5	阪神国道電軌株式会社を設立
1926(大正 15)	5. 5	甲子園庭球場を開設
	7. 16	甲子園線甲子園～甲子園浜(同年9.18浜甲子園に改称)間の営業開始
1927(昭和 2)	3. 7	阪神土地株式会社を合併
	3. 24	土地建物売買賃貸業を開始(経営地は北大阪線沿線)
	5. 26	兵庫県有馬郡有野村唐櫃(六甲山)の共有山林を買収
	7. 1	阪神国道電軌株式会社、西野田～東神戸間(買収後国道線)の営業開始
1928(昭和 3)	4. 1	阪神国道電軌株式会社を買収
	7. 11	甲子園線甲子園～上甲子園間の営業開始
	10. 8	阪神国道自動車株式会社を設立
	12. 28	伝法線尼崎～大物間の営業開始
1929(昭和 4)	4. 1	阪神国道自動車株式会社が営業開始
	4. 14	今津出屋敷線のうち出屋敷～東浜間(尼崎海岸線)の営業開始
	7. 6	甲子園娯楽場を開設(1932.9阪神パークと改称、1943.4.12閉鎖)
	7. 27	本線大石～住吉間改良線(一部高架線)が開通
	12. 26	本線3両連結運転を開始
1930(昭和 5)	7. 9	今津出屋敷線のうち浜甲子園～中津浜間の営業開始
1932(昭和 7)	3. 4	甲子園住宅経営地に浄水供給を開始(1979.1.1西宮市へ譲渡)
	3. 10	六甲越有馬鉄道株式会社(1975.10.1六甲摩耶鉄道株式会社に商号変更)が、六甲ケーブルの営業を開始 開業当時の現・六甲山上駅
	11. 18	阪神国道自動車株式会社が宝塚尼崎電気鉄道株式会社を合併
	11. 25	阪神国道自動車株式会社の西大島～宝塚歌劇場前間自動車専用道路(関西初)が開通(1942.4.2廃止、県道に強制編入)
1933(昭和 8)	3. 29	梅田停留場に阪神マートを開業(1939.8.12西阪神マートと改称、1941.9.20閉鎖)
	5. 1	六甲高山植物園を開設
	6. 17	本線神戸～岩屋間改良線(地下線)が開通 本線特急の運転を開始、運転時間を短縮(特急35分、急行45分、普通55分、8分間隔で交互に発車) 地下開業時の三宮駅
	9. 24	三宮阪神ビルが完成(神戸そごうに賃貸) 三宮阪神ビル
1934(昭和 9)	9. 21	関西地方大風水害(室戸台風)発生

1935(昭和 10)	12. 10	株式会社大阪野球倶楽部(大阪タイガース)を設立 (1961.4.1 株式会社阪神タイガースに社名変更) 当時のポスター
1936(昭和 11)	3. 18	本線神戸市内地下延長線(三宮～元町間)の営業開始
1937(昭和 12)	6. 30	六甲山カンツリーハウスを開設(2021.4.3 ～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーニア)」として営業)
	8. 10	本線特急の5両連結運転を開始(軌道法における5両連結は日本初)
1938(昭和 13)	7. 5	阪神地方大風水害発生(本線、国道線とも不通。同年8.16本線全線、9.11国道線が復旧)
1939(昭和 14)	3. 21	本線大阪駅前地下延長線(梅田～曽根崎間)の営業開始(梅田停留場を移設) 東阪神マート(梅田停留場)を開業(1940.5.26閉鎖) 地下開業時の梅田駅
1940(昭和 15)	5.26	阪神マート(大阪駅前地下)を開業
1941(昭和 16)	4. 23	梅田阪神ビル第1期工事が完成(1961.1.18大阪神ビルディングと改称、1963.6.27全体完成)
1942(昭和 17)	3. 16	本線特急の6両連結運転を開始(軌道法における6両連結は日本初)
	4. 1	電気供給事業関係業務及び従業員を関西配電株式会社(現在の関西電力株式会社)へ引継ぎ完了
1943(昭和 18)	11. 21	武庫川線武庫川～洲先間の営業開始
1944(昭和 19)	8. 17	武庫川線武庫川～武庫大橋間の営業開始
	9. 17	関西地方風水害のため、梅田駅構内に浸水(列車6日間不通)
1945(昭和 20)	1. 6	今津出屋敷線浜甲子園～中津浜間の営業休止(1973.9.26営業廃止)
	3. 13	空襲により、尼崎本社事務所焼失(この日から終戦まで全線にわたり車両、停留場、車庫、倉庫、変電所、事務所などを焼失破壊される。)
	3. 28	本線三宮～元町間の営業休止(1945.11.3に下り線が、1946.3.1に上り線が営業再開)
	6. 25	本線の戦時臨時運転を実施(急行運転中止、普通だけ運転)
	12. 30	本線の急行運転を再開(戦後電鉄界では日本初)
1946(昭和 21)	1. 6	武庫川線武庫大橋～洲先間の営業休止
	3. 1	本線梅田～元町間直通運転を再開
1947(昭和 22)	3. 30	本線急行の5両連結運転を再開
1948(昭和 23)	10. 10	武庫川線武庫川～洲先間の営業再開
	11. 1	航空代理店業を開始
1949(昭和 24)	11. 17	阪神国道自動車株式会社の営業全部を譲り受け、自動車事業を直営で再開(戦前も自動車事業を直営していたが、1933.3.25阪神乗合自動車株式会社に譲渡)
1950(昭和 25)	4. 25	阪神パークを再開(1997.3.22「阪神パーク 甲子園住宅遊園」としてリニューアル・オープン、2003.3.30閉園)

1950(昭和 25)	9. 3	ジェーン台風来襲(尼崎車庫及び線路上において車両浸水134両、同年11.15運転支障復旧) ジェーン台風
1951(昭和 26)	11. 1	阪神マートを阪神百貨店と改称し、売場を拡張
1953(昭和 28)	3. 30	新阪神ビルが完成
1954(昭和 29)	9. 15	本線梅田～元町間新造大型車両による特急運転を開始(梅田～三宮間ノンストップ25分)
1957(昭和 32)	1. 21	本線急行の6両連結運転を開始
	6. 1	百貨店営業を株式会社阪神百貨店に譲渡
1958(昭和 33)	3. 13	梅田阪神ビル第1期増築工事が完成(地下2階、地上8階)、株式会社阪神百貨店に賃貸(1961.1.18大阪神ビルディングと改称、1963.6.27全体完成)
	7. 24	普通用大型高性能車両(ジェット・カー)、本線で営業運転を開始 加速度抜群のジェット・カー
	10. 29	急行用大型高性能車両、本線で営業運転を開始 大型輸送の急行用車両
1959(昭和 34)	2. 23	千鳥橋～難波間の特許を取得
	6. 5	一般旅行あっせん業を登録
1960(昭和 35)	4. 15	尼崎海岸線(高洲～東浜間)の営業廃止(1951.7.19営業休止)
	6. 6	難波延伸への第Ⅰ期工事として千鳥橋～西九条間(1.2km)の建設工事を開始
1961(昭和 36)	12. 8	本線野田高架線建設工事が完成(同年11.22開通)
1962(昭和 37)	11. 10	梅田駅に初めて自動券売機を設置
	12. 1	尼崎海岸線(出屋敷～高洲間)の営業廃止
1964(昭和 39)	1. 22	六甲山〈人工〉スキー場を開設(2013.12.7 ～「六甲山スノーパーク」として営業)
	4. 10	本線尼崎駅付近立体交差事業が完成(同年2.1開通)
	5. 20	伝法線を西大阪線と改称
	5. 21	西大阪線千鳥橋～西九条間(難波延長線第Ⅰ期工事)の営業開始
	6. 7	甲子園阪神パークにデラックスプールを開設(1995.8.1「甲子園ビーチプール」としてリニューアル・オープン)
1966(昭和 41)	3. 20	新設軌道用車両の大型化が完了
1967(昭和 42)	4. 24	西阪神ビルが完成(1967.4.25ホテル阪神が営業開始)
	8. 10	難波延伸への第Ⅱ期工事として、西九条～九条間(1.6km)の建設工事を開始
	9.	難波延伸第Ⅱ期工事中断
	11. 12	新設軌道線の電車線電圧を600Vから1,500Vに昇圧

1968(昭和 43)	3. 17	本線、西大阪線の全線、全車両に自動列車停止装置(ATS)を設置、使用開始(武庫川線は1984.3.18設置)
	4. 7	神戸高速鉄道が開通、山陽電気鉄道との相互乗入運転を開始 神戸高速鉄道開通式典
	4. 15	本線西灘～石屋川間の軌道移設及び高架化工事が完成(1967.7.2開通)
	4. 18	石屋川車庫が完成(日本初の検車庫付き高架車庫)
1969(昭和 44)	3. 31	本線淀川橋梁工事が完成(1967.12.3開通)
	12. 14	国道線西灘～東神戸間の営業廃止
1970(昭和 45)	7. 1	日本初のサイリスタ・チョッパ制御装置採用の急行用車両(冷房車としても当社で最初)の営業運転を開始
	7. 20	普通用冷房車の営業運転を開始
	9. 21	本線武庫川～尼崎センタープール前間立体交差化工事が完成(同年5.24開通)
	11. 24	本線特急、急行の一部6両連結運転を開始
1971(昭和 46)	1. 4	不動産鑑定業務を開始
	4. 1	本線、西大阪線の全線、全車両に列車種類選別装置を設置、使用開始(同年8.3同装置による全踏切道の制御が完了)
	6. 7	本線、西大阪線の全踏切道の自動化が完了
	6. 23	梅田駅と三宮駅を冷房化(1986.6.15元町駅も実施)
	8. 3	本線、西大阪線全駅の出札業務の自動化が完了(券売機、光学式乗車券印刷発行機を設置)
	10. 25	電子計算機による列車運行制御システム(PTC)を開発、石屋川信号扱所で三宮～元町間の制御を開始(1972.11.27青木～元町間に拡張、1986.10.1新PTCシステムに切替え、全線の制御を開始)
	11. 27	甲子園阪神パークにアイススケートリンクを開設(2000.3.5営業終了)
1972(昭和 47)	7. 10	西宮変電所を最後に全変電所の無人化が完了
	10. 5	尼崎駅に初めて自動改札機(11台)を設置
	10. 10	本線、西大阪線の全踏切道(車両通行禁止の11か所を除く73か所)に踏切障害物検知装置の設置が完了
1973(昭和 48)	10. 18	梅田駅と尼崎駅に初めての定期券印刷発行機を設置、使用開始
	11. 26	本線特急、急行の全列車6両連結運転を開始(夜間急行を除く。)
1974(昭和 49)	3. 17	国道線上甲子園～西灘間の営業廃止
	4. 20	甲子園大プール(1937.8.1開設)のテニスコートへの改造工事が完成
	7. 27	阪神グリーンビルが完成(東京京橋)
	12. 28	大阪神ビルディング改造工事が完成(同年11.21阪神百貨店の売場を拡張)
1975(昭和 50)	5. 6	国道線、甲子園線及び北大阪線の併用軌道全線の営業廃止 路面電車営業最終の様子
	12. 20	急行用全車両(220両)の冷房化が完了

1977(昭和 52)	12. 27	軌道法から地方鉄道法への変更が許可
1978(昭和 53)	4. 28	六甲山フィールド・アスレチックを開設(2021.4.3～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーニア)」として営業)
	6. 10	本線大物～姫島間高架化工事が完成(千船～姫島間1977.2.27、大物～千船間1977.4.29開通)
1980(昭和 55)	5. 27	電力回生チョッパ車(普通専用車)の営業運転を開始(急行車での営業運転開始は1983.11.21)
	11. 1	本線全駅に列車接近放送装置又は自動案内放送装置の設置が完了
1981(昭和 56)	5. 1	甲子園阪神パーク内に甲子園スイミングスクールを開校(1995.1.17閉鎖)
	11. 10	阪神塩屋とびお台住宅地造成工事が完成
1982(昭和 57)	2. 28	改集札業務の自動化が完了
	3. 19	武庫川線全踏切道の自動化が完了(全線全踏切道が第1種甲となる。)
	3. 31	西大阪線左門殿川～神崎川間高架化工事が完成(1982.1.31開通)
	4. 1	変電所自動集中監視制御装置(CSC)の使用開始
1983(昭和 58)	3. 7	利用航空運送事業(単独混載業務)を開始
	4. 30	全車両の冷房化が完了(大手民鉄界初)
1984(昭和 59)	3. 6	阪神甲子園球場の新(電光式)スコアボードが完成
	3. 24	武庫川線の全踏切道(車両通行禁止の5か所を除く5か所)に踏切障害物検知装置の設置が完了
	3. 31	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち、久寿川～甲子園間高架化工事が完成(1983.1.15開通)
	4. 3	武庫川線洲先～武庫川団地前間の営業開始(同年3.24武庫川線延伸・整備工事が完成)
1985(昭和 60)	3. 28	阪神グループ総合案内所を三宮駅に開設(1986.4.25梅田駅にも開設・駅長室のオープンカウンター化により駅長室内に統合　梅田…1995.4 三宮…1997.3)
	4. 13	武庫川線武庫川～武庫大橋間の営業廃止(1946.1.6から営業休止) 阪神タイガース 日本シリーズ優勝記念乗車券
	5. 9	8000系急行用車両の営業運転を開始
	6. 14	大阪市西梅田土地区画整理組合の設立認可
	6. 28	登記上の本店を尼崎市から大阪市北区に移転
1986(昭和 61)	4. 25	播磨美原台住宅地造成工事が完成(198区画)
	6. 30	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち久寿川駅付近の立体交差化が完成
	10. 1	新PTC(列車運行管理システム)が完成、稼働開始(2006.2更新)
1987(昭和 62)	1. 1	全駅で禁煙タイム実施(梅田駅・三宮駅は1983.4.20から、春日野道駅・元町駅は1985.6.20から、それぞれ実施。1988.9.1この地下4駅で終日禁煙実施)
	3. 31	本線・西大阪線の全駅・全改札口に他社線への連絡乗車券も発行できる券売機と改札機の設置を完了
	5. 15	元町阪神ビルが完成
	10. 31	駅務管理システム新設工事が完成(同年11.1稼働開始)
	12. 4	福島阪神ビルが完成
1988(昭和 63)	3. 26	プリペイドカード「ハープカード」の発売開始(1996.3.19まで発売)
	4. 1	元町駅～西代駅間5.0km(神戸高速線)で第2種鉄道事業を開始
	4. 27	ハープカード対応の券売機を本線、西大阪線の全駅に設置完了
	11. 18	高額紙幣対応の券売機を導入(関西民鉄界初)

1989(平成 元)	4. 29	冷房車両に弱冷車を導入
	6. 1	御影駅に初めてLED（発光ダイオード）表示の「列車案内表示器」及び「列車接近表示器」を設置
	12. 31	大みそか終夜運転を初めて実施
1990(平成 2)	5. 31	魚崎駅の橋上化工事が完成(六甲ライナーとの連絡通路は同年5.21完成)
	7. 26	株式会社阪神ブルーノートが、大阪桜橋でジャズクラブ＆レストラン「大阪ブルーノート」の営業開始(2004.11ハービスENT内に移転、2007.8～「ビルボードライブ大阪」として営業)
	9. 1	電車の発車、到着及び通過の合図を甲子園駅と西宮駅で初めてシンセサイザーのメロディーに変更(1991.3.29全駅で変更終了、2009.1全駅で更新)
1991(平成 3)	3. 28	甲子園駅前東複合商業施設「アルカス」が完成
	4. 8	8000系車両に初めてLED表示の車内案内表示装置を設置
	10. 1	都市型CATV局チャンネルウェーブあまがさき(CWA)が開局
	12. 5	阪神甲子園球場のラッキーゾーンを撤去
1992(平成 4)	2. 27	西梅田開発全体構想及び第Ⅰ期基本計画を決定
	4. 20	野田阪神ビルと阪神星光ビルが完成
	5. 18	本社及び本店を大阪市福島区に移転
	5. 26	梅田駅に初めて自動定期券発売機を設置
	6. 9	ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.と提携(同年5.29にホテル運営会社株式会社阪神ホテルシステムズを設立)
	10. 1	阪神不動産株式会社と合併
	10. 4	株式会社鳴尾ウォーターワールドが鳴尾浜臨海公園内に「リゾ鳴尾浜」をオープン(2020.11.30営業終了)
	10. 27	岡山県邑久郡牛窓町(現 瀬戸内市牛窓町)の前島別荘地開発工事が完成
1993(平成 5)	2. 28	阪神甲子園球場のカラーボードが完成
	9. 5	本線野田～梅田間地下新線が開通
	12. 9	西梅田開発第Ⅰ期事業の工事に着手
1994(平成 6)	4. 8	「神戸・花山手住宅地」造成工事が完成
	5. 16	全駅で終日禁煙実施(地上駅のホームには喫煙コーナーを設置)
	7. 21	オルゴールミュージアム「ホール・オブ・ホールズ六甲」を開設(2012.3.25～「六甲オルゴールミュージアム」、2021.7.16～「ROKKO森の音ミュージアム」として営業)
	10. 7	阪神鳴尾浜球場が完成(2025.2閉場)
1995(平成 7)	1. 17	阪神・淡路大震災発生(同年6.25まで鉄道の一部区間が不通になる。) 被災した石屋川車庫
	4. 26	大阪ダイヤモンド地下街株式会社を設立(ディアモール大阪は同年10.12に開業)
	6. 7	「タイガースゴルフクラブ」の営業開始(開場日は同年6.4)
	9. 1	時差回数券と土・休日割引回数券の発売を開始(1998.12.26両回数券の適用日拡大。2022.9.30まで販売)
	11. 1	5500系普通用車両(当社初のVVVF車)の営業運転を開始

1996(平成 8)	3. 20	全ての鉄道施設の震災復旧工事が完成 9000系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始 ストアードフェアシステムを導入(「スルッとKANSAI」を導入)、同システム対応のプリペイドカード「らくやんカード」の発売を開始(2017.3.31まで発売)
	3. 31	本線武庫川駅東方～尼崎駅間高架化工事が完成(1994.1.23開通)
	5. 29	インターネットに当社グループホームページを開設
	9. 10	コミュニティFM放送の事業会社 株式会社エフエム・キタを設立(1997.3.3に「Be Happy!789」の放送開始)
	10. 1	梅田～三宮間及び三宮～高速神戸間で、阪急電鉄との通勤定期券の相互利用を開始
	11. 12	兵庫県教育委員会がホール・オブ・ホールズ六甲を博物館相当施設に指定
1997(平成 9)	3. 14	梅田阪神第1ビル「ハービスOSAKA」が完成(同年3.19開業)
	3. 22	「阪神パーク甲子園住宅遊園」がオープン(甲子園阪神パークを1996.11.5から1997.3.21まで休園し、リニューアル)
	5. 22	六甲高山植物園がカナダのデボニアン植物園と姉妹提携
	5. 23	ハービスOSAKAに「ザ・リッツ・カールトン大阪」が開業(2023.2.15「フォーブス・トラベルガイド」ホテル部門において、大阪のホテルで“初”そして“唯一”の五つ星を獲得)
	10. 1	社内パソコンネットワーク「阪神情報ネットワーク(Hi-Net)」の運用開始
	10. 7	本線住吉～芦屋間連続立体交差化工事に着手
1998(平成 10)	2. 15	山陽電気鉄道との相互乗入区間を梅田～山陽姫路間に延長し、同区間の直通特急運転開始。本線の昼間時の運転間隔を12分から10分に短縮 尼崎駅に止まる山陽電車車両
	3. 31	阪神産経桜橋ビルが完成
	4. 10	阪神甲子園球場と株式会社阪神タイガースが映像制作事業を開始
	5. 30	西宮駅に全面LCD（液晶ディスプレー）を使用した列車案内表示器を設置(日本の鉄道界初)
	9. 28	西大阪線の昼間時の運転間隔を12分から10分に短縮
1999(平成 11)	2. 17	阪神野田センタービルが完成
	3. 10	阪神杉村ビル、ラグザ大阪・レジデンス(定期借地権(地上権)付き分譲マンション)が完成
	4. 14	ラグザ大阪(新 ホテル阪神・ラグザスクエア)が開業
	5. 12	住友商事株式会社との合弁により、阪神エアカーゴ株式会社を設立(同年10.1当社の航空貨物取扱事業を譲渡し、営業開始)
	7. 28	山陽電気鉄道株式会社の株式を買増しし、同社の単独筆頭株主に(保有割合16.94%)
	8. 27	岩屋駅改良工事に着手(鉄道駅総合改善事業費補助(運輸省〈現 国土交通省〉創設)の適用を受けての工事着手は全国初。2001.8.31新駅舎が完成、2002.3.19全体完成)
	9. 30	西大阪線神崎川・左門殿川橋梁扛上(こうじょう)工事及び大和田立体交差化工事のうち大物～福駅間の高架化工事が完成(1998.9.26開通)
	10. 1	当社、阪急電鉄、山陽電気鉄道、神戸電鉄、神戸高速鉄道の5社で共通の不正乗車防止システム「フェアライドシステム」を導入

2000(平成 12)	4. 1	株式会社チャンネルウェーブあまがさき、株式会社ケーブルビジョン西宮と、住友電気工業株式会社などが出資している伊丹市の株式会社ケーブルビジョンアイの3社が合併し、阪神シティケーブル株式会社として事業開始
	7. 18	当社、阪急電鉄株式会社、大阪市交通局などが出資し、株式会社スルッとカンサイ(現 株式会社スルッとKANSAI)を設立
	10. 1	武庫川線のワンマン運転を開始
2001(平成 13)	3. 10	セミ・クロスシート車両を採用した9300系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始
	7. 10	西大阪高速鉄道株式会社を設立(同年9.18大阪府、大阪市の出資を得て第3セクター化)
	10. 24	岩屋駅ホームに転落防止柵を設置
	11. 6	春日野道駅改良工事に着手(2004.9.25上下線別プラットホーム及び西改札口を新設・併用開始、2006.3.27全体完成)
	11. 16	西大阪延伸線の第二種鉄道事業許可を取得(西大阪高速鉄道株式会社は同線の第三種鉄道事業許可を取得)
	12. 6	西梅田開発第Ⅱ期事業の工事に着手
2002(平成 14)	1. 11	特定認定鉄道事業者に認定
	3. 12	阪神甲子園球場の座席改修工事が完成し、使用開始(収容人員は55,000人から53,000人に)
	6. 12	尼崎車両基地において、ISO14001の認証を取得
	11. 9	本線住吉～芦屋間連続立体交差化工事のうち、住吉駅東方～魚崎駅間が開通(上り高架線は2001.2.17開通)
	12. 20	西大阪線難波延伸事業が都市計画決定される
2003(平成 15)	1. 23	西大阪高速鉄道株式会社が国土交通大臣から西九条～近鉄難波(現 大阪難波)間の工事の施行認可を受ける
	3. 6	商業施設「ディアモール フィオレ」を開業(2023.1閉館)
	3. 7	本線(甲子園駅～武庫川駅西方間)連続立体交差事業が都市計画決定される
	3. 9	阪神甲子園球場のスタンド内を全面禁煙化
	3. 18	阪神百貨店西宮店を核テナントとする西宮駅商業施設「エビスタ西宮」を開業
	3. 24	平日の上り区間特急に女性専用車両を試験導入(同年9.1から正式導入)
	3. 30	「阪神パーク 甲子園住宅遊園」を閉園 閉園日の様子
	4. 18	東六甲凌雲台地区に「六甲ガーデンテラス」を開業 六甲ガーデンテラス
	9. 1	レジャー事業の再編により、阪神総合レジャー株式会社の事業を承継
2004(平成 16)	3. 2	阪神タイガース新室内練習場が完成
	3. 31	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち、西宮市・芦屋市境～久寿川駅間高架化工事が完成(2001.3.3開通、同年3.2限りで西宮東口駅を廃止、同年3.3から「香枦園」の駅名を「香櫨園」に変更)
	10. 1	阪神シティケーブル株式会社と株式会社シティウェーブおおさかが合併し、商号を株式会社ベイ・コミュニケーションズに変更
	11. 5	梅田阪神第2ビル「ハービスENT」が完成(同年11.9開業、大阪四季劇場は2005.1.9開場)

2005(平成 17)	4. 12	開業100周年
	4. 26	阪神間エリア情報サイト「hanshinNOW!(阪神ナウ!)」を開設
	8. 7	春日野道駅のバリアフリー化が完了(同日から供用開始)
	10. 1	株式会社阪神百貨店(現 株式会社阪急阪神百貨店)を完全子会社化
	12. 14	阪神バス株式会社を設立(2006.6.14当社の自動車事業の一部を譲渡し、営業開始)
2006(平成 18)	2. 1	ポストペイサービスによるICカードシステム(PiTaPa)を導入、同システム対応のICカード「CoCoNetPiTaPa」の発行を開始(同年7.1IC定期乗車券サービスを開始)
	5. 29	阪急ホールディングス株式会社との経営統合に合意し、同社との間で、同年10月1日を効力発生日とする株式交換契約を締結
	8. 24	株式会社阪神コンテンツリンクVNU Business Media,Inc.と「ビルボード」マスターライセンス契約を締結
	9. 22	株式会社阪神百貨店が株式会社阪急百貨店と包括的業務提携契約を締結
	9. 29	株式会社ホテル阪神の株式の全部を株式会社阪急ホテルマネジメント(現 株式会社阪急阪神ホテルズ)に譲渡(株式会社ホテル阪神及び株式会社ホテル阪神レストランシステムズは同社の子会社となる。)
	10. 1	阪急阪神ホールディングス株式会社が誕生
	11. 1	コア事業管理体制に移行
	11. 11	尼崎駅～大物駅間における本線下り線と西大阪線の立体交差化工事の一部が完了
2007(平成 19)	2. 19	阪神タイガースクラブハウスが完成
	3. 12	「タイガースショップ アルプス」が甲子園駅前に開業
	3. 17	尼崎駅新上りホーム、北改札口の供用を開始
	4. 1	阪急電鉄株式会社との相互サービスを開始(IC連絡定期券及び阪神・阪急バス共通カードの発売、阪神・阪急回数券の引換えサービスを開始)
	4. 1	打出駅のバリアフリー化工事完了(同日から供用開始)
	8. 31	緊急地震速報システムを全線で導入
	9. 1	「IC連絡定期券」のエリアを拡大
	10. 1	阪急・阪神共通の新グループカード「STACIA」の発行を開始
	10. 1	阪急阪神ビルマネジメント株式会社が発足
	10. 1	アイテック阪急阪神株式会社が発足
	10. 5	1000系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始
	10. 19	香櫨園駅商業施設「香櫨館」が開業
2008(平成 20)	2. 2	西大阪線の尼崎駅新プラットホームが完成(同日から供用開始)
	3. 11	阪神甲子園球場の第Ⅰ期リニューアル工事が完了
	3. 13	今津駅商業施設「エキーマ今津」が開業
	3. 20	御影駅前商業施設「御影クラッセ」が開業
	4. 1	淀川駅・芦屋駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	4. 1	航空事業を阪神航空株式会社に承継 阪神航空株式会社及び阪神エアカーゴ株式会社の全株式を、株式会社阪急阪神交通社ホールディングス(現 株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神エクスプレス)に譲渡し、両事業の経営を移管
	6. 28	六甲高山植物園がスイスのシーニゲプラッテ高山植物園と姉妹提携

2009(平成 21)	3. 12	阪神甲子園球場の第Ⅱ期リニューアル工事が完了
	3. 14	元町駅改札階のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	3. 18	大物駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	3. 20	阪神なんば線西九条～大阪難波間の営業を開始 尼崎～西九条間の路線名を西大阪線から阪神なんば線に変更 近畿日本鉄道との相互直通運転(三宮・近鉄奈良間)を開始 近鉄奈良線を走る1000系車両
	3. 20	「ハピアガーデン東加古川」の販売を開始
	4. 1	自動車事業を阪神バス株式会社に完全移管し、分社化
	4. 1	神戸高速鉄道株式会社の株式を取得し、関連会社化
	5. 20	本線鳴尾駅付近連続立体交差化工事に着手
	10. 14	阪神なんば線が「第8回日本鉄道賞」を受賞
2010(平成 22)	3. 12	阪神甲子園球場のリニューアル工事が完了
	3. 14	甲子園歴史館オープン(2021.9.6から2022.3.2まで休館し、「甲子園プラス」に展示エリアを一部移転・拡張して2022.3.3リニューアル)
	3. 27	元町駅・伝法駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	7.	「ハピアガーデン四季のまち」の販売を開始
	7. 13	自然体感展望台 六甲枝垂(しだ)れ の営業を開始 六甲枝垂れ
	9. 18	六甲ミーツ・アート 芸術散歩 (2024年より「神戸六甲ミーツ・アート」として開催)を初開催
	10. 1	神戸高速線の運営形態を変更(元町～西代間の施設保守管理、運行管理及び駅業務を担当)
2011(平成 23)	4. 1	阪神あんしんサービス「登下校 ミマモルメ」サービス開始
	5. 13	山陽自動車運送株式会社の株式の一部を譲渡(2014.3.26保有全株式を売却し、外部化)
	9. 1	全ての駅の終日全面禁煙化を実施
	11. 24	甲子園駅改良工事に着手
	11. 30	御影駅改良工事(改札口整備工事及びバリアフリー化)が完了
	12. 1	出屋敷駅高架下に商業施設「出屋敷アマトラ横丁」を開業
2012(平成 24)	2. 17	姫路ケーブルテレビ株式会社の株式を取得し、子会社化
	3. 20	三宮駅東改札口の新設工事が完了・供用開始
	3. 23	オルゴールミュージアム「ホール・オブ・ホールズ六甲」をリニューアルし、「六甲オルゴールミュージアム」を開設(2021.7.16～「ROKKO森の音ミュージアム」として営業)
	4. 1	阪急バス・阪神バス・阪急田園バスの共通ICカード乗車券「hanica」導入
	4. 2	「タイガースゴルフクラブ」の事業を当社と阪神総合レジャー株式会社の共同新設分割により新会社に承継、同社株式の譲渡により外部化
	5. 7	首都圏営業所を開設(住宅事業)
	9. 14	ハピアガーデン田園調布の分譲を開始(首都圏で初の戸建住宅分譲)

2013(平成 25)	3. 20	三宮駅改良工事が完了(駅ナカ商業施設「スクラ三宮」開業・駅サービス拠点「阪神電車サービスセンター」開設) 三宮駅改良工事が完了
	3. 27	「梅田1丁目1番地計画」を発表
	4. 1	六甲山事業を阪神総合レジャー株式会社(現 六甲山観光株式会社)に譲渡
	4. 18	尼崎駅高架下に商業施設「AMASTA AMASEN (アマスタ アマセン)」グランドオープン
	5. 1	株式会社阪神コンテンツリンクが株式会社ピーアンドピー浜松を子会社化
	5. 29	マイクロ投資を活用した住民参加型の高架下店舗支援事業プロジェクト「ソダッテ阪神沿線新在家編」の店舗がオープン
	7. 1	沿線活性化プロモーションを開始
	10. 1	六甲摩耶鉄道株式会社が阪神総合レジャー株式会社を合併し、商号を六甲山観光株式会社に変更
	10. 14	「はんしんいきいきデイサービス」1号店「西宮店」をオープン
	12. 7	六甲山観光株式会社が「六甲山〈人工〉スキー場」をリニューアルし、「六甲山スノーパーク」をオープン
2014(平成 26)	3.	尼崎センタープール前駅高架下に「阪神野菜栽培所」完成(2012.1.16から、大物・杭瀬駅間で試験栽培を実施)
	3. 28	久寿川駅のバリアフリー化工事完了(同日から供用開始)
	4. 1	「三宮駅」を「神戸三宮駅」に改称 駅ナンバリングを実施 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神が関連会社化
	5. 9	杭瀬駅高架下に商業施設「Yotte杭瀬」がリニューアルオープン
2015(平成 27)	2. 18	「梅田1丁目1番地計画」において、大阪神ビルディング東側の解体工事に着手(2018.6.1西側の解体工事に着手。新阪急ビルの解体工事については、2014.10.1に着手)
	2. 21	甲子園駅上りホームを拡幅
	3. 3	梅田駅改良工事に着手
	3. 14	甲子園駅下りホームを拡幅 本線甲子園・武庫川間連続立体交差化工事の下り線を高架化 鳴尾駅下りホームを高架化
	4. 12	開業110周年を記念して、「阪神電車まなび基地」を開設
	7. 21	梅田1丁目1番地計画、Ⅰ期部分の新築工事に着手
	8. 24	普通用車両5700系(ジェット・シルバー5700)運用開始(2016.10.2鉄道友の会の選定する「2016年ブルーリボン賞」を受賞) 5700系
	8. 28	主要駅に「情報案内ディスプレイ」導入
	12. 12	本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事の下り線を高架化 深江駅・青木駅下りホームを高架化
2016(平成 28)	3. 20	阪神バス株式会社が尼崎市営バスの全路線の運行を開始
	3. 30	西宮駅商業施設「エビスタ西宮」がリニューアルオープン
	4. 6	ロボット・プログラミング事業「プログラボ」の1号校「夙川校」を開校

2017(平成 29)	3. 18	本線甲子園・武庫川間連続立体交差化工事の上り線を高架化 鳴尾駅上りホームを高架化
	4. 5	姫島駅高架下商業施設のリニューアルが完了(阪急オアシスが出店)
	8. 8	株式会社ミマモルメを設立(2017.10.1当社のあんしん事業(「登下校ミマモルメ」等)と教育事業(「プログラボ」)を移管)
	9.	甲子園駅改良工事が完了
2018(平成 30)	3. 17	「阪神アプリ」の配信を開始
	4. 1	不動産事業の再編 阪急阪神ホールディングスの中核会社として阪急阪神不動産株式会社を設立し、当社及び阪急電鉄の不動産事業を移管
	4. 7	「ハービスPLAZA」「ハービスPLAZA ENT」のリニューアルが完了
	4. 27	梅田1丁目1番地計画Ⅰ期棟が竣工 (同年6.1阪神百貨店が部分開業、2022.2.25全体竣工)
	7. 1	阪神トラック株式会社の株式の全部を譲渡し、外部化
	7. 26	「甲子園歴史館」来館者数100万人を達成
	8. 5	第100回全国高等学校野球選手権記念大会が開幕
	10. 29	エビスタ西宮増床リニューアルオープン
	12. 9	阪神なんば線淀川橋梁改築工事に着手
	12. 10	武庫川女子大学と包括連携協定を締結
	12. 13	アイテック阪急阪神株式会社が日本プロテックを子会社化
2019(平成 31)	1. 21	台湾の桃園メトロと相互連携協定を締結
	3. 9	阪神甲子園球場のメインビジョンのリニューアルが完了
	4. 13	六甲山観光株式会社が「フォレストアドベンチャー・神戸六甲山」を開設 (2021.4.3 ～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーニア)」として営業)
	4. 15	JR西日本と共同開発した福島阪神NK共同ビルが竣工 (2019.5.15に「ホテル阪神アネックス大阪」、「阪急オアシス」等が開業)
2019(令和 元)	6. 1	梅田1丁目1番地計画第Ⅱ期工事に着手
	10. 1	「梅田駅」を「大阪梅田駅」に、「鳴尾駅」を「鳴尾・武庫川女子大前駅」にそれぞれ改称
	11. 30	本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事の上り線を高架化 深江駅・青木駅上りホームを高架化
	12. 18	BAN-BANネットワークス株式会社を子会社化
2020(令和 2)	3.	甲子園駅前広場の整備事業が竣工
	3. 14	全線のダイヤ改正を実施　土休日ダイヤにおける快速急行の8両編成での運行を開始
	3. 16	UR都市機構と包括連携協定を締結
	4.	海老江1丁目開発計画が完了(分譲マンション(阪急阪神不動産株式会社等との共同事業)「ジオ福島野田TheMarks」、商業施設等が開業)
	4. 28	「#ほっとはんしん プロジェクト　～こころに寄り添い　こころでつながる～」を開始(2023年度をもって終了)
	6.	傘のシェアリングサービス「アイカサ」を導入(2025.7.2全線に拡大)
	6. 3	武庫川線において赤胴車が運行を終了し、新デザインの車両4編成が運行開始
	9. 16	鳴尾・武庫川女子大前駅北側に商業施設オープン
	10. 29	野田駅前商業施設「野田阪神ウイステ」がリニューアルオープン
	12.	西九条駅西口高架下商業施設がリニューアルオープン

2021(令和 3)	2. 11	神戸三宮駅(1・3番線)に当社初のホームドアを設置・供用開始 (2022.3.27同駅全てのホームへの設置完了)
	3.	武庫川団地前駅前に商業施設「ムコダンモール」オープン
	3. 13	本線のダイヤ改正を実施　最終列車の時刻を繰上げ
	4. 3	六甲山観光株式会社が「六甲山カンツリーハウス」「六甲山フィールド・アスレチック」「フォレストアドベンチャー・神戸六甲山」を統合し、「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーニア)」を開設
	7. 16	六甲山観光株式会社が「六甲オルゴールミュージアム」をリニューアルし、「ROKKO森の音ミュージアム」を開設
	9. 7	梅田1丁目1番地計画Ⅱ期棟が竣工(同年10.8阪神百貨店が先行開業、2022.2.25全体竣工)
	10. 3	大阪梅田駅新1番線の供用開始(2023.1.28新2番線、5.27新3番線の供用開始)
	12. 9	阪神甲子園球場において、環境保全プロジェクト『KOSHIEN “eco” Challenge』を宣言
	12. 22	尼崎市とのまちづくりの推進に関する協定を締結
2022(令和 4)	2. 25	梅田1丁目1番地計画が全体竣工(ビル名称「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」。同年3.24オフィスゾーンが開業、4.6阪神百貨店(阪神梅田本店)がグランドオープン) 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
	3.	阪神甲子園球場のスタジアム照明をLED化
	3. 3	商業施設「甲子園プラス」開業、「甲子園歴史館」の展示エリアを一部移転・拡張し、リニューアルオープン 甲子園歴史館
	4. 26	環境省が実施した第1回脱炭素先行地域に尼崎市と当社の共同提案事業「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」が選定(2023.2.22日鉄鋼板株式会社が阪神タイガースファーム施設(2軍本拠地)となる野球場のネーミングライツを取得し、球場名を「日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎」に決定)
	5. 26	「ラグザスクエア」リニューアル工事完了
	7. 31	磁気定期券の発売終了
	9. 1	ICOCAでの当社線利用に対する「阪神電車ポイント還元サービス」を開始 (2023.3.1山陽電車、4.1阪急電車・能勢電車のポイント還元サービスと連携)
	12. 17	全線のダイヤ改正を実施　最終列車の時刻を繰上げ、平日夕ラッシュダイヤにおける快速急行の編成両数増加等
	12. 23	夜間有料臨時列車(らくやんライナー)を期間限定で運行(～2023.1.20(計4日間))
2023(令和 5)	3. 18	当社及び阪急阪神不動産株式会社が阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業によって新たに誕生した高架下空間(東灘高架下)に新店舗オープン
	4. 1	「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した料金収受を開始
	4. 1	当社を代表企業とするグループが尼崎市の「阪神尼崎駅周辺公共施設指定管理者及び維持管理業務受託者」に選定
	9.	車内防犯カメラの設置を順次開始(2025.3代替更新予定の8000系を除く全営業車両240両への設置完了)
	9. 5	国内初の鉄道事業者連携による広域型MaaSアプリ「KANSAI MaaS」をリリース 阪神タイガース日本一記念ラッピングトレイン

2024（令和　6）	1．1	阪神グループのブランド価値経営が本格始動
	3.16	大阪梅田駅の改良工事が完了
	3.29	トイレの洋式化が全駅で完了(関西大手私鉄では初)
	4．1	本社内に安全啓発施設「安全繋心(けいしん)室」を開設
	4．1	六甲山観光株式会社(同日、神戸六甲鉄道株式会社に商号変更)から六甲ケーブル事業に関する資産を承継し、同社を第二種鉄道事業者、当社を第三種鉄道事業者とする上下分離方式を導入。また、同社の観光事業を六甲山観光分割準備株式会社(同日、六甲山観光株式会社に商号変更)に承継
	5.30	株式会社阪神コンテンツリンクがインバウンド向け相撲エンタテインメントショーホール「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA(ザ・スモウホール　ヒラクザ　オオサカ)」を開業
	6．1	神戸須磨シーワールド・神戸須磨シーワールドホテル・須磨海浜公園がグランドオープン(当社は共同事業体の構成員として須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業に参画)
	6.17	QRコード※を活用したデジタル乗車券サービスを開始
	6.27	千船駅高架下商業施設「アバリーナ千船」がリニューアルオープン
	8．1	阪神甲子園球場開場100周年
	8．2	阪神甲子園球場 銀傘の拡張計画を発表(2028.3竣工予定)
	9．2	ユミルリンク株式会社が株式会社ROCを子会社化
	10.29	クレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスを開始
2025（令和　7）	2.10	青胴車(普通用車両5001形)が運行を終了
	2.20	阪神タイガース新ファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」が竣工、「日鉄鋼板 SGLスタジアム尼崎」は同年3.1開業 ゼロカーボンベースボールパーク
	3.29	尼崎市、当社、阪急阪神不動産株式会社が、都市公園リノベーション協定制度を活用し、尼崎駅前の中央公園をリニューアルオープン
	4．1	当社、阪急電鉄株式会社の鉄道全線でCO_2排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル運行」を開始 ラッピング列車
	4．1	阪神園芸株式会社が株式会社里と水辺研究所を子会社化
	4.12	開業120周年
	5.22	急行用8000系車両「赤胴車」デザイン営業運転開始

※「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

資　料

事業所一覧・グループ会社等

事業所一覧

●運輸部

運輸部教習所	〒660-0082 尼崎市水明町373番地6	
	☎(06) 6412 − 3432	——
東部列車所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地	
	☎(06) 6481 − 0589	——
西部列車所	〒662-0973 西宮市田中町1番16号	
	☎(0798) 22 − 1070	——
大阪梅田駅	〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目大阪駅前地下街6号	
	☎(06) 6457 − 2267	——
尼崎駅	〒660-0000 尼崎市東御園町93番地	
	☎(06) 6411 − 0281	——
甲子園駅	〒663-8177 西宮市甲子園七番町1番1号	
	☎(0798) 48 − 1500	——
御影駅	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町4丁目12番4号	
	☎(078) 851 − 2816	——
神戸三宮駅	〒651-0088 神戸市中央区小野柄通8丁目1番8号	
	☎(078) 221 − 1254	——
新開地駅	〒652-0811 神戸市兵庫区新開地2丁目3番Bの1号	
	☎(078) 575 − 5061	——

●電気部

電力管理事務所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地	
	☎(06) 6489 − 2010	FAX. (06) 6482 − 3293
通信管理事務所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地	
	☎(06) 6489 − 2161	FAX. (06) 6401 − 3687

●車両部

尼崎車庫	〒660-0826 尼崎市北城内116番地	
	☎(06) 6489 − 2020	FAX. (06) 6482 − 1667

●工務部

淀川工事事務所	〒555-0034 大阪市西淀川区福町2丁目2番34号	
	☎(06) 6472 − 1370	FAX. (06) 6472 − 1372
尼崎駅県道拡幅工事事務所	〒660-0861 尼崎市御園町4番地1	
	☎(06) 6418 − 6166	FAX. (06) 6418 − 6169

●甲子園事業部

阪神甲子園球場	〒663-8152 西宮市甲子園町1番82号	
	☎(0798) 47 − 1041	FAX. (0798) 40 − 3122
甲子園テニスクラブ	〒663-8151 西宮市甲子園洲鳥町5番50号	
	☎(0798) 41 − 0282	FAX. (0798) 47 − 6573

※ 不動産事業部に関しては、阪急阪神不動産㈱にご連絡ください。

グループ会社

都市交通

（2025年6月30日現在）

神戸六甲鉄道㈱	本社：〒657-0101 神戸市灘区六甲山町一ケ谷1番32号 六甲山上駅2階	代表者：川邉 直哉 設　立：1923（T12）.10.14
	TEL: (078) 894-2071	資本金：80,976千円
	FAX: (078) 894-2088	従業員：56名
	事業内容：運輸事業（六甲ケーブル事業（第二種鉄道事業）、自動車事業、受託事業等）	
神戸高速鉄道㈱	本社：〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番9号	代表者：原田 大 設　立：1958（S33）.10.2
	TEL: (078) 351-0881	資本金：100,000千円
	FAX: (078) 351-1607	従業員：12名
	事業内容：第三種鉄道事業　（神戸高速線 7.6km） 新開地～高速神戸間の地下街「メトロこうべ」の管理、運営	
㈱阪急阪神電気システム	本社：〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3丁目7番11号	代表者：中谷 健史 設　立：2000（H12）.1.28
	TEL: (06) 4805-6605	資本金：60,000千円
	FAX: (06) 4805-6607	従業員：177名
	事業内容：鉄道電気設備・駅務機器・情報通信機器の保守・工事施工、電気設備機器工事用資材の購入・販売、昇降機設備の保守管理	
	事務所：〒532-0024　大阪市淀川区十三本町3丁目1番14号 〒662-0918　西宮市六湛寺町11番1号 〒662-0978　西宮市産所町2番24号	
西大阪高速鉄道㈱	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番24号	代表者：原田 大 設　立：2001（H13）.7.10
	TEL: (06) 6345-0655	資本金：17,799,700千円
	FAX: (06) 6345-0656	従業員：5名
	事業内容：第三種鉄道事業　（西九条～大阪難波間 3.8km（営業キロ））	
阪神バス㈱	本社：〒660-0072 尼崎市大庄川田町108番地の1	代表者：城島 和弘 設　立：2005（H17）.12.14
	TEL: (06) 6416-1351	資本金：90,000千円
	FAX: (06) 6416-1511	従業員：500名
	事業内容：路線バス・空港リムジンバス・高速バス・貸切バス	
阪神タクシー㈱	本社：〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目1番地12	代表者：福浦 秀哉 設　立：1933（S8）.3.25
	TEL: (0798) 46-6021・3	資本金：100,000千円
	FAX: (0798) 47-2202	従業員：376名
	事業内容：タクシー業（車両数208両）、不動産の賃貸	
	鳴尾基地：〒663-8142　西宮市鳴尾浜1丁目1番地12 TEL: (0798) 46-6021　FAX: (0798) 47-2202 芦屋営業所：〒659-0064　芦屋市精道町7番1号 TEL: (0797) 32-1855	
㈱ハックス阪神	本社：〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目1番地12	代表者：福浦 秀哉 設　立：1967（S42）.8.10
	TEL: (0798) 49-2214	資本金：10,000千円
	FAX: (0798) 40-0655	従業員：9名
	事業内容：LPオートガスの販売、不動産の賃貸	

大阪阪神タクシー㈱	本社：〒570-0041 守口市東郷通3丁目8番18号	代表者：野口 一行 設　立：1962（S37）.2.15
	TEL：（06）6996-3233	資本金：30,000千円
	FAX：（06）6996-7976	従業員：96名
	事業内容：タクシー業	
㈱阪神ステーションネット	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル5階	代表者：村田 豊喜 設　立：1959（S34）.6.1
	TEL：（06）6347-6603	資本金：93,350千円
	FAX：（06）6347-6605	従業員：58名
	事業内容：定期券販売所、サービスセンター、 宝くじ売場「阪神ドリームプラザ」、駐輪場の運営、旅行業等	
阪神車両メンテナンス㈱	本社：〒660-0826 尼崎市北城内116番地	代表者：谷山 彰紀 設　立：2002（H14）.5.31
	TEL：（06）6481-7793	資本金：30,000千円
	FAX：（06）6481-2909	従業員：36名
	事業内容：鉄道車両の改造・定期検査・補修、鉄道車両及び部品の製作、販売	
㈱エキ・リテール・サービス 阪急阪神	本社：〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号	代表者：小林 啓輔 設　立：1976（S51）.8.24
	TEL：（06）6373-5346	資本金：10,000千円
	FAX：（06）6373-5289	従業員：275名
	事業内容：小売店舗（「成城石井」等）、駅SC事業（「スクラ三宮」等）、賃貸業、 自販機、コインロッカー、イベント企画や運営	
㈱阪急阪神エムテック	本社：〒567-0065 茨木市上郡2丁目14番4号	代表者：廣瀬 一雄 設　立：1995（H7）.10.2
	TEL：（072）641-0311	資本金：99,800千円
	FAX：（072）641-0322	従業員：284名
	事業内容：自動車整備（民間車検場）、自動車及び部品の販売、石油類の販売	

スポーツ・エンタテインメント

㈱阪神タイガース	本社：〒663-8152 西宮市甲子園町2番33号	代表者：粟井 一夫 設　立：1935（S10）.12.10
	TEL：（0798）46-1515（営業は「1818」）	資本金：48,000千円
	FAX：（0798）46-3555（営業は「4333」）	従業員：75名
	事業内容：プロ野球興行	
㈱阪神コンテンツリンク	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル10階	代表者：清水 奨 設　立：1989（H元）.9.1
	TEL：（06）6347-6514	資本金：230,000千円
	FAX：（06）6456-3027	従業員：264名
	事業内容：クラブ＆レストラン「ビルボードライブ」、広告代理店業、 イベント企画・運営、商品企画・制作販売、映像制作、サイン制作	
	東京支店：〒106-0032 東京都港区六本木1丁目8番7号 MFPR六本木麻布台ビル6階 TEL：（03）5544-9800 ロスアンジェルス支店： 11355 W Olympic Blvd, Los Angeles, CA 90064 USA ビルボードライブ東京：〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番4号 東京ミッドタウン ガーデンテラス4階 TEL：（03）3405-5495 ビルボードライブ大阪：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目2番22号 ハービスPLAZA ENT B2階 TEL：（06）6347-5195 ビルボードライブ横浜：〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番2号 KITANAKA BRICK&WHITE 1階 TEL：（0570）05-6565 梅田事務所：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番13号 阪神産経桜橋ビル1102号 TEL：（06）6347-5495 ソウルバードミュージックスクール 大阪本校：〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1番12号 阪神福島駅ビル2階 TEL：（06）6456-1666 大阪事業所（SD事業部・商品事業部）：〒553-0002 大阪市福島区鷺洲1丁目9番2号 TEL：（06）6347-5301（SD事業部）　TEL：（06）6347-4787（商品事業部） 難波事務所：〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1丁目2番11号 マルニビル5階 TEL：（06）6556-9677 THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA：〒556-0001 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号 なんばパークス8階 TEL：（06）6568-9700	
㈱ピーアンドピー浜松	本社：〒435-0038 静岡県浜松市中央区三和町252番地の2	代表者：野田 英明 設　立：1979（S54）.12.3
	TEL：（053）464-5110	資本金：10,000千円
	FAX：（053）463-0201	従業員：32名
	事業内容：スポーツ大会のパネル写真、オリジナルグッズ等の企画・製作・販売	

㈱ウエルネス阪神	本社：〒663-8177 西宮市甲子園七番町17番28号B107	代表者：岡本 直樹 設　立：1990（H2）.9.11
	TEL: (0798) 40-5070	資本金：90,000千円
	FAX: (0798) 43-1004	従業員：66名
	事業内容：スポーツクラブの経営及び運営受託 阪神甲子園球場内飲食売店、タイガースグッズ販売、労働者派遣事業 ディッピンドッツ・アイスクリーム輸入販売	
	フィットネス事務所：〒663-8177　西宮市甲子園七番町1番27号 TEL: (0798) 40-5050　FAX: (0798) 40-5575 スタジアム事務所：〒663-8152 西宮市甲子園町1番82号 阪神甲子園球場内　別棟3階 TEL: (0798) 44-6220　FAX: (0798) 44-6221 東京事務所：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-16 ニュー駿河台ビル4階 TEL: (03) 3401-0877　FAX: (03) 3401-8766	
六甲山観光㈱	本社：〒657-0101 神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1番32号 六甲山上駅2階	代表者：妹尾 昭孝 設　立：2023（R5）.4.3
	TEL: (078) 894-2210	資本金：100,000千円
	FAX: (078) 894-2088	従業員：109名
	事業内容：六甲山上施設の運営	

情報・通信

アイテック阪急阪神㈱	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル	代表者：水本 好信 設　立：1987（S62）.7.1
	TEL: (06) 6456-5200	資本金：200,000千円
	FAX: (06) 6456-5250	従業員：1,336名
	事業内容：交通システム、エンタープライズソリューション、 インターネットソリューション、医療システム、スマートビルシステム、 地域BWA・あんしんサービス、ネットワークインフラソリューション、 システム開発受託、コールセンター	
	東京支社：〒108-6308 東京都港区三田3丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館8階 TEL: (03) 6740-6000　FAX: (03) 6740-6014 中部支社：〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 名古屋三井ビルディング本館 18階 TEL: (052) 589-1306	
㈱システム技研	本社：〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目6番16号 ラグザ大阪ノースオフィス9階	代表者：上西 安明 設　立：1982（S57）.2.10
	TEL: (06) 6344-2875	資本金：50,000千円
	FAX: (06) 6344-2698	従業員：58名
	事業内容：ソリューション事業（生産／販売管理／製造実行システム／ IoT ほか）	
㈱日本プロテック	本社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目6番2号 上野ビルディング7階	代表者：早川 誠 設　立：1982（S57）.12.15
	TEL: (03) 3256-8956	資本金：50,000千円
	FAX: (03) 3252-8156	従業員：96名
	事業内容：ソフトウェア開発	
ユミルリンク㈱	本社：〒151-8583 東京都渋谷区代々木2丁目2番1号 小田急サザンタワー 12階	代表者：清水 亘 設　立：1999（H11）.7.1
	TEL: (03) 6820-0088	資本金：273,853千円
	FAX: (03) 6820-0087	従業員：138名
	事業内容：メッセージングソリューション事業（ASP・SaaS）	
	大阪支店：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号 パシフィックマークス西梅田7階 TEL: (06) 6131-9960　FAX: (06) 6131-9961 北海道オフィス：〒064-0805 北海道札幌市中央区南五条西1丁目1番12号 ヒカリビル5階 TEL: (011) 596-9190	
㈱ROC	本社：〒650-0003 神戸市中央区山本通2丁目 1番22号 北野坂中央ビル4階	代表者：坂本 翔 設　立：2016（H28）.2.2
	TEL: (078) 381-7841	資本金：1,000千円
	FAX: (078) 381-7842	従業員：21名
	事業内容：SNSソリューション事業、SaaS事業	
	東京オフィス：〒151-8583 東京都渋谷区代々木2丁目2番1号 小田急サザンタワー 12階 （ユミルリンク株式会社内） 大阪オフィス：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号 パシフィックマークス西梅田7階 （ユミルリンク株式会社内）	

㈱アールワークス	本社：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4丁目3番18号 東京建物室町ビル3階	代表者：佐藤 淳一
		設　立：2000（H12）.10.18
	TEL: (03) 5946-8400	資本金：425,400千円
	FAX: (03) 4496-4219	従業員：60名
	事業内容：マネージドクラウド事業（システム監視・運用サービス）、ソフトウェア事業（ソフトウェア開発・販売）	
アイテック阪急阪神 イノベーション 投資事業有限責任組合	本社：〒530-0017 大阪市北区角田町8番47号 阪急グランドビル26階 （ハックベンチャーズ㈱内）	代表者：金沢 崇 ハックベンチャーズ㈱
		設　立：2022（R4）.8.26
	TEL: (06) 6105-1395	資本金：500,000千円（出資金上限）
		従業員：ー
	事業内容：アイテック阪急阪神㈱と投資先会社との事業提携を目的とした出資業務	
㈱ミマモルメ	本社：〒553-0003 大阪市福島区福島3丁目14番24号 福島阪神ビルディング5階	代表者：藤井 啓詳
		設　立：2017（H29）.8.8
	TEL: (06) 6734-6880	資本金：100,000千円
	FAX: (06) 6454-0160	従業員：81名
	事業内容：あんしん事業（登下校メールサービス「ミマモルメ」ほか）、教育事業（ロボットプログラミング教室「プログラボ」ほか）	
姫路ケーブルテレビ㈱	本社：〒670-0964 姫路市豊沢町135番地 姫路大同生命ビル7階	代表者：岡久 俊治
		設　立：1989（H元）.4.1
	TEL: (079) 282-2111	資本金：1,560,000千円
	FAX: (079) 224-6633	従業員：67名
	事業内容：一般放送事業、インターネットサービス業、電話事業	
㈱ベイ・コミュニケーションズ	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル4階	代表者：竹間 郁夫
		設　立：1991（H3）.4.1
	TEL: (06) 6450-1173	資本金：4,000,000千円
	FAX: (06) 6450-1181	従業員：272名
	事業内容：一般放送事業、インターネットサービス業、電話事業	
BAN-BAN ネットワークス㈱	本社：〒675-0039 加古川市加古川町粟津26番地の2	代表者：古庄 恵浩
		設　立：2003（H15）.10.1
	TEL: (079) 420-2527	資本金：680,000千円
	FAX: (079) 420-3734	従業員：72名
	事業内容：一般放送事業、インターネットサービス業、電話事業	
阪神ケーブル エンジニアリング㈱	本社：〒663-8186 西宮市上鳴尾町27番11号	代表者：松本 圭司
		設　立：2008（H20）.9.1
	TEL: (0798) 48-1320	資本金：50,000千円
	FAX: (0798) 48-1811	従業員：103名
	事業内容：電気通信工事業、電気工事業、認定電気通信事業（全部認定）、無線局登録検査等事業	
	大阪営業所：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番24号 阪神星光ビル2階 TEL: (06) 6343-7470　FAX: (06) 6343-7471 神戸営業所：〒657-0842　神戸市灘区船寺通3丁目2番8号 TEL: (078) 241-0655　FAX: (078) 262-1235 東京事務所：〒134-0085　東京都江戸川区南葛飾西2丁目1番1号 TEL: (03) 6808-2155　FAX: (03) 6808-2166 加古川事務所：〒675-0066　加古川市加古川町寺家町167番地2 TEL: (079) 455-7464　FAX: (079) 459-0803 加古川事務所の住所は、2025年7月16日から次のとおり変更しています。 加古川事務所：〒675-0064　加古川市加古川町溝之口723番地 ※電話番号、FAX番号の変更はありません。	

㈱エフエム・キタ	本社：〒530-8281 大阪市北区梅田2丁目5番25号 ハービスPLAZA3階	代表者：辻井 浩二
		設　立：1996（H8）.9.10
	TEL: (06) 6343-7890	資本金：160,000千円
	FAX: (06) 6343-7895	従業員：4名
	事業内容：コミュニティ FM ラジオ放送業	

ホテル

㈱阪神ホテルシステムズ	本社：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号	代表者：柚木 邦夫
		設　立：1992（H4）.5.29
	TEL: (06) 6343-7000	資本金：100,000千円
	FAX: (06) 6343-7001	従業員：374名
	事業内容：ホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」（客室291室）	

建設・環境

㈱ハンシン建設	本社：〒555-0001 大阪市西淀川区佃2丁目10番5号	代表者：宮本 和男 設　立：1942（S17）.11.19
	TEL: (06) 6105-3030	資本金：400,000千円
	FAX: (06) 6473-3380	従業員：275名
	事業内容：土木・建築等の建設工事の請負	
	木津川事務所（基礎・推進）：〒557-0063　大阪市西成区南津守5丁目13番37号 TEL: (06) 6652-8191　FAX: (06) 6652-8110 東京支店：〒135-0006　東京都江東区常盤2丁目14番11号 T・CSビル3階 TEL: (03) 3631-3431　FAX: (03) 3631-3440 名古屋支店：〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号 フジオフィスビル7階 TEL: (052) 452-3383　FAX: (052) 452-8059 神戸支店：〒657-0842　神戸市灘区船寺通2丁目2番7号 TEL: (078) 806-2121　FAX: (078) 806-2123 本社及び神戸支店の住所は、2025年9月1日から次のとおり変更となります。 本　　社：〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 ハービスOSAKAオフィスタワー ※電話番号、FAX番号の変更はありません。 神戸支店：〒658-0041　神戸市東灘区住吉南町5丁目7番24号 TEL: (078)806-2121　FAX: (078)862-1886	
中央電設㈱	本社：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービルディング14階	代表者：岡田 康彦 設　立：1948（S23）.1.23
	TEL: (06) 6453-8720	資本金：323,760千円
	FAX: (06) 6453-8740	従業員：263名
	事業内容：内線・鉄道電気・設備・計装の各工事業及びエネルギーソリューション事業	
	本社・本店：〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル14階 TEL: (06) 6453-8720　FAX: (06) 6453-8740 大阪支店 鉄道部：〒555-0025 大阪市西淀川区姫里1丁目21番13号 TEL: (06) 6471-5726　FAX: (06) 6475-9289 大阪支店 設備部：〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1番12号 阪神福島駅ビル3階 TEL: (06) 6453-8726　FAX: (06) 6136-8710 京都営業所：〒612-8085 京都市伏見区京町南7丁目31番地4 TEL: (075) 623-5533　FAX: (075) 623-5530 神戸営業所：〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目3番10号 IPSX EAST12階 TEL: (078) 222-2181　FAX: (078) 222-2182 吹田営業所：〒564-0054　吹田市芳野町8番7号 TEL: (06) 6385-0377　FAX: (06) 6385-0471 東京支店：〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10番18号 日本橋富沢町スクエア4階 TEL: (03) 5645-8471　FAX: (03) 3639-0963 茨城営業所：〒314-0132　茨城県神栖市筒井1422番地221 TEL: (0299) 92-4155　FAX: (0299) 93-1459 名古屋支店：〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目2番2号 名古屋丸紅ビル7階 TEL: (052) 231-4511　FAX: (052) 231-1554 三重営業所：〒510-0845　三重県四日市市海山道町1丁目122番の1 TEL: (059) 345-1155　FAX: (059) -345-1158	

阪神園芸㈱	本社：〒663-8165 西宮市甲子園浦風町16番24号	代表者：植村 弘 設　立：1968（S43）.9.10
	TEL: (0798) 47-3538	資本金：50,000千円
	FAX: (0798) 41-4116	従業員：231名
	事業内容：造園、緑地の管理、運動施設施工・管理、貸植木	
	大阪支店：〒567-0884　茨木市新庄町14番17号 TEL: (072) 630-0161　FAX: (072) 630-0171 東京支店：〒140-0013　東京都品川区南大井6丁目24番14号 TEL: (03) 6404-6236　FAX: (03) 5767-6593	

その他

㈱鳥取砂丘会館	本社：〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町湯山2164番地	代表者：松永 泉 設　立：1962（S37）.2.19
	TEL: (0857) 22-6835	資本金：39,000千円
	FAX: (0857) 27-8090	従業員：31名
	事業内容：ドライブイン「砂丘会館」の運営	

（参考）

阪急電鉄㈱	本社：〒530-8389 大阪市北区芝田1丁目16番1号	TEL: (06) 6373-5085 FAX: (06) 6373-5098
	東京統括室：〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル17階 TEL: (03) 3503-1568	
㈱阪急阪神 ビジネスアソシエイト	本社：〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号 阪急電鉄本社ビル14階	TEL: (06) 6373-5185 FAX: (06) 6373-5190
阪急阪神不動産㈱	本社：〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル	TEL: (06) 6376-4660 FAX: (06) 6376-4645
阪急阪神ビルマネジメント㈱	本社：〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル	TEL: (06) 6372-7900 FAX: (06) 6372-7939

（事業所一覧・グループ会社に関する情報は2025年6月30日現在）　※但し、従業員数は2025年4月1日現在

民鉄 16 社比較

（2024年度）

社名＼項目	資本金（百万円）	営業収益（百万円）	従業員数(人) 全社	従業員数(人) 鉄道	旅客営業キロ（キロ）	在籍客車数（両）	輸送人員（千人）	旅客収入（百万円）	客車走行キロ（千キロ）	営業1キロ1日旅客収入（千円）	客車走行1キロ旅客収入（円）	創立記念日
阪神	29,384	86,780	1,371	1,170	48.9	354	242,547	35,515	44,902	1,989	790	1899（明 32）. 6.12
阪急	100	195,155	3,168	2,949	143.6	1,276	608,987	95,030	165,990	1,817	574	1907（明 40）.10.19
南海	72,983	113,196	2,717	2,286	154.7	700	223,032	59,017	99,499	1,094	621	1885（明 18）.12.27
京阪	100	56,577	1,243	1,215	91.1	669	266,321	46,808	75,472	1,488	655	1906（明 39）.11.19
近鉄	100	162,291	6,655	6,484	501.1	1,873	526,097	135,032	272,816	839	562	1910（明 43）. 9.16
東武	102,135	235,560	3,239	2,890	463.3	1,786	857,582	137,569	261,259	862	558	1897（明 30）.11. 1
東急	100	163,563	3,567	3,399	110.7	1,300	1,083,879	150,173	156,281	3,716	960	1922（大 11）. 9. 2
小田急	60,359	158,757	3,682	2,950	120.5	1,042	698,871	109,160	172,355	2,621	669	1923（大 12）. 5. 1
京王	59,023	135,498	2,411	2,010	84.7	871	593,146	81,499	129,149	2,636	631	1910（明 43）. 9.21
京急	43,738	124,389	2,097	2,445	87.0	796	445,888	81,473	108,323	2,565	752	1898（明 31）. 2.25
京成	36,803	99,257	1,926	1,807	152.3	606	287,436	65,454	102,286	1,345	731	1909（明 42）. 6.30
西武	21,665	124,146	3,563	3,228	176.6	1,221	605,128	93,801	170,407	1,528	578	1912（明 45）. 5. 7
相鉄	100	36,769	1,033	985	42.2	442	221,469	33,644	53,707	2,201	626	1917（大 6）.12.18
東京メトロ	58,100	388,197	9,462	9,380	195.0	2,708	2,495,750	339,366	289,057	4,768	1,174	2004（平 16）. 4. 1
名鉄	101,158	107,406	5,043	3,987	444.2	1,080	366,591	88,956	174,767	567	526	1894（明 27）. 6.25
西鉄	26,157	173,070	4,586	613	106.1	298	103,019	20,779	38,089	536	545	1908（明 41）.12.17

（注）第二種鉄道事業を含む。

沿線人口

●沿線人口

市＼年		1995（平成7年）	2005（平成17年）	2015（平成27年）	2023（令和5年）	2024（令和6年）	2025（令和7年）
大阪（225.34㎢）		人 2,602,421	人 2,628,811	人 2,691,185	人 2,764,876	人 2,785,393	人 2,808,123
大阪市	北区（10.34㎢）	85,487	100,385	123,667	144,441	146,944	149,547
	福島区（4.67㎢）	55,104	60,929	72,484	81,205	82,857	83,661
	西淀川区（14.21㎢）	91,134	95,662	95,490	95,828	96,355	96,594
	此花区（19.30㎢）	68,529	63,809	66,656	64,290	63,827	63,103
	西区（5.21㎢）	58,674	72,591	92,430	109,555	112,296	114,841
	浪速区（4.39㎢）	49,122	54,174	69,766	80,984	84,014	85,803
	中央区（8.87㎢）	52,874	66,818	93,069	112,965	116,091	118,793
尼崎（50.70㎢）		488,586	462,647	452,563	454,767	454,082	453,932
西宮（100.18㎢）		390,389	465,337	487,850	484,108	483,274	481,437
芦屋（18.57㎢）		75,032	90,590	95,350	93,569	92,983	92,181
神戸（556.93㎢）		1,423,792	1,525,393	1,537,272	1,503,763	1,495,439	1,488,568
神戸市	東灘区（34.03㎢）	157,599	206,037	213,634	211,183	210,534	210,217
	灘区（32.65㎢）	97,473	128,050	136,088	136,175	136,060	135,900
	中央区（28.98㎢）	103,711	116,591	135,153	148,834	149,515	150,611
	兵庫区（14.64㎢）	98,856	106,985	106,956	109,608	110,003	110,918
	長田区（11.34㎢）	96,807	103,791	97,912	93,382	92,604	92,255

（注）・国勢調査（各年10月1日）によります。
ただし、2023－2025年は、5月1日現在の推計人口（各市役所調査）です。
・各市・各区の（　）内は、2025年5月1日現在の総面積です。

2025 ハンドブック阪神

2025年7月　編集・発行
阪神電気鉄道株式会社
経営企画室（広報担当）
大阪市福島区海老江1丁目1番24号
☎（06）6457-2130

このハンドブック阪神は、環境に配慮した無塩素漂白で製造された用紙を使用しています。

cover,chapter title page image: Redshinestudio/Shutterstock.com

"たいせつ"がギュッと。

Hanshin Group

阪神電気鉄道株式会社

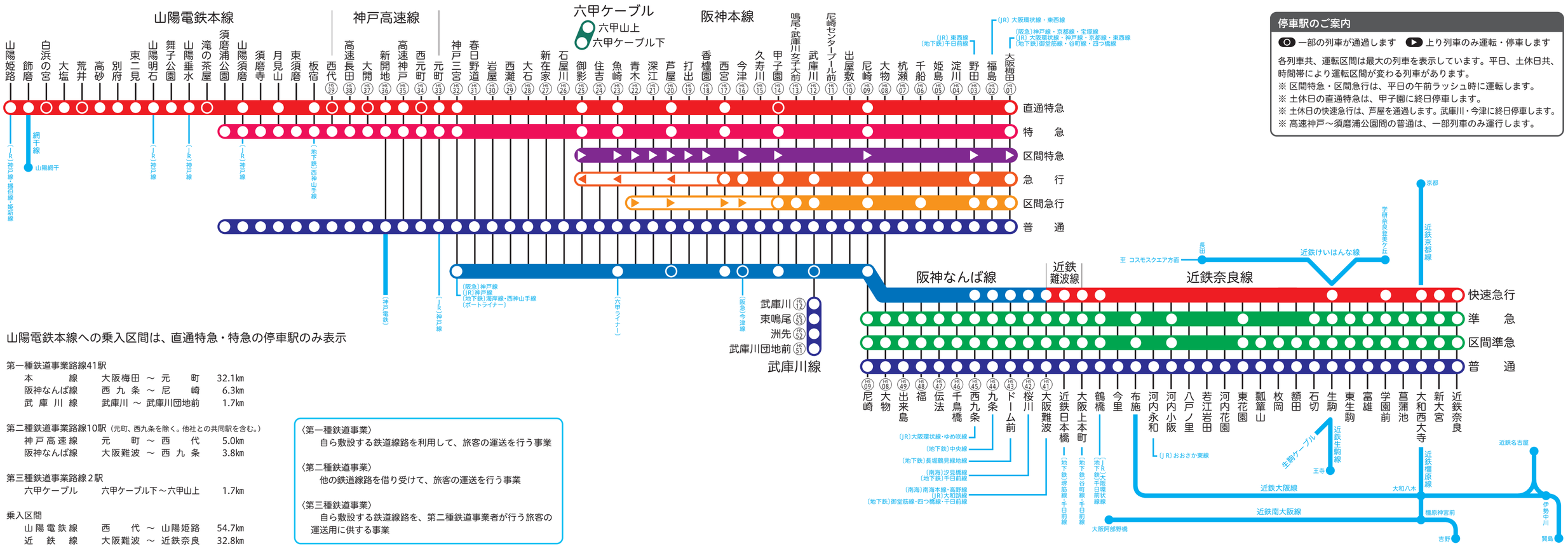
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

営業キロ程表・大人普通旅客運賃表

（単位:キロ）

| | | |

列車種別・停車駅



山陽電鉄本線への乗入区間は、直通特急・特急の停車駅のみ表示

第一種鉄道事業路線41駅

本　線	大阪梅田	～ 元　町	32.1㎞
阪神なんば線	西九条	～ 尼　崎	6.3㎞
武庫川線	武庫川	～ 武庫川団地前	1.7㎞

第二種鉄道事業路線10駅（元町、西九条を除く。他社との共同駅を含む。）

神戸高速線	元　町	～ 西　代	5.0㎞
阪神なんば線	大阪難波	～ 西九条	3.8㎞

第三種鉄道事業路線２駅

六甲ケーブル	六甲ケーブル下～六甲山上	1.7㎞

乗入区間

山陽電鉄線	西　代	～ 山陽姫路	54.7㎞
近鉄線	大阪難波	～ 近鉄奈良	32.8㎞

〈第一種鉄道事業〉
自ら敷設する鉄道線路を利用して、旅客の運送を行う事業

〈第二種鉄道事業〉
他の鉄道線路を借り受けて、旅客の運送を行う事業

〈第三種鉄道事業〉
自ら敷設する鉄道線路を、第二種鉄道事業者が行う旅客の運送用に供する事業

停車駅のご案内

○ 一部の列車が通過します　▶ 上り列車のみ運転・停車します

各列車共、運転区間は最大の列車を表示しています。平日、土休日共、時間帯により運転区間が変わる列車があります。

※ 区間特急・区間急行は、平日の午前ラッシュ時に運転します。
※ 土休日の直通特急は、甲子園に終日停車します。
※ 土休日の快速急行は、芦屋を通過します。武庫川・今津に終日停車します。
※ 高速神戸～須磨浦公園間の普通は、一部列車のみ運行します。